

令和3年度 香川県学習状況調査
報告書

令和4年2月

香川県教育センター

目 次

はじめに	2
I 調査の概要	3
1 調査の概要	4
2 調査結果の概要と改善の視点	6
II 調査結果（概論）	9
全体的な状況	10
正答数・正答率の分布	11
学習内容の定着	13
漢字の読み書き、基本の計算、リスニング	14
平均無解答率	15
教科の平均正答率と関係が見られた児童生徒質問紙調査	16
同一児童生徒の経年比較からうかがえる児童生徒質問紙調査結果	18
Question 1「学習意欲」	19
Question 2「学習状況」	20
Question 3「言語活動」	21
Question 4「自尊意識等」	22
Question 5「規範意識」	23
Question 6「学校生活」	24
Question 7「家庭学習」	25
Question 8「メディアの利用」	26
III 教科に関する調査結果及び分析	27
国語	28
社会	30
算数・数学	32
理科	34
英語	36
「学びの質」を高めるアプローチ	38
IV 質問紙調査結果（児童生徒質問紙・学校質問紙）	39
1 児童生徒質問紙調査結果	40
(1) 質問内容一覧及び児童生徒質問紙と教科における正答率の相関について	40
(2) 令和3年度調査結果	41
健康に配慮した ICT 端末の利用	67
2 学校質問紙調査結果	68
(1) 小学校調査結果一覧	68
(2) 中学校調査結果一覧	70
(3) 質問内容一覧	72
(4) 調査結果経年比較	73

I 調査の概要

II 調査結果（概論）

III 教科に関する
調査結果及び分析

IV 質問紙調査結果
質問内容一覧

IV 児童生徒質問紙調査
調査結果

IV 学校質問紙調査
調査結果・経年比較

はじめに

収束の見通しが立たないコロナ禍により、先行きの見えない不安と、思うような教育活動が展開できない閉塞感が続く中、子どもたちに対する日常的な感染予防や、家庭が不安定になった子どもへの配慮など、いわゆるニューノーマルにおける教育活動の維持・発展にご尽力いただいていることに、まずもって深く感謝申し上げます。

さて、香川県学習状況調査は、平成 14 年度から県内全ての小・中学校で実施しており、今年度で 20 年が経過しました。その過程において、平成 23 年度から実施時期を 4 月から 11 月に変更したり、出題範囲を主として当該年度の学習内容に変更したり、平成 24 年度から調査結果の分析を義務教育課から香川県教育センターに移管したりするなど、いくつかの改変を経てきました。今年度は調査対象学年が小学校第 5 学年と中学校第 2 学年に変更され、今後も、実施方法等の検討が行われるものと受け止めています。

他方、国が実施する全国的な調査のうち、全国学力・学習状況調査は、平成 19 年度の実施から 15 年が経過しました。やむを得ず、平成 23 年度と令和 2 年度の実施は見送られましたが、この調査が実施されることにより、全国的な傾向の中で、本県の児童生徒の学力や学習状況等が把握できるようになりました。また、これまでの教育活動や教育施策の成果と課題についても、より全国的な視点から把握できるようになりました。

この全国学力・学習状況調査についても、これまでに調査教科の充実や、PC 端末の活用など、いくつかの改変が行われてきており、今後も、国際調査や GIGA スクール構想等を踏まえた総合的な検討が図られるものと承知しております。

そういった状況も踏まえ、本報告書の作成に当たっては、**Question** として、これまでの全国学力・学習状況調査と関連する内容も取り上げるなど、各学校が、教育活動の改善・充実等に役立てることができるよう、また、目の前の子どもたちに「アジャスト」した教育活動を推進できるよう、情報提供に努めました。

各市町（学校組合）教育委員会・各学校におかれましては、本報告書と全国学力・学習状況調査報告書を併せてご活用いただき、国や県の動向も注視しながら、市町（学校組合）や自校の現状把握、分析、改善に取り組んでいただきますようお願いいたします。

小・中学校の新学習指導要領が示されて以来 5 年、小学校は昨年度から、中学校は今年度から全面実施となっており、さらに、コロナ禍と GIGA スクール構想の加速化等を踏まえ、「個別最適な学び」「協働的な学び」という学習者像が「令和答申」に示されるなど、新学習指導要領の着実な実施が求められています。

そういった現状において、当センターといたしましては、指導主事等が直接学校等に出席し、状況の分析や改善について一緒に考えるなど、一層の学校支援に努めてまいりますので、どうぞ、ご相談ください。

最後になりましたが、本報告書の作成に関し、ご指導・ご助言を賜りました香川大学教育学部の佐藤 明宏 教授、松島 充 准教授、岡田 涼 准教授、経済学部の横山 佳充 教授に深く感謝の意を表します。

令和 4 年 2 月

香川県教育センター
所長 黒川 統夫

I 調査の概要

1 調査の概要

(1) 調査の目的 児童生徒の学力や学習状況をきめ細かく把握し、指導方法の工夫・改善に役立てるとともに、児童生徒の理解の程度に基づく個に応じた指導などを実施する契機とする。

(2) 調査の時期 令和3年11月1日(月)～11月12日(金)

(3) 調査の対象 県内公立学校の小学校第5学年及び中学校第2学年の全ての児童生徒
・学校数 小学校 153校、中学校 71校
(附属学校及び県立学校を含む)

・児童生徒数 [単位:人]

校種・学年 教科	小学校 第5学年	中学校 第2学年
国語	7,769	7,561
社会	7,900	7,197
算数・数学	7,926	7,572
理科	7,827	7,478
英語		7,477

(4) 調査の内容

① 教科に関する調査

・実施教科 小学校 第5学年 : 国語、社会、算数、理科 (4教科)

中学校 第2学年 : 国語、社会、数学、理科、英語 (5教科)

・出題範囲 前学年までに学習した内容及び当該年度前期(4月～9月末)に学習した内容

・問題の質と量

ア 学習指導要領に則して、基礎的・基本的な「知識及び技能」や、知識及び技能を活用して課題を解決するために必要な「思考力・判断力・表現力等」に関する問題

イ 1教科あたり小学校については40分、中学校については45分で解答できる量

② 児童生徒質問紙調査

調査する学年の児童生徒を対象に、学習や生活の諸側面等に関する調査を質問紙の形式で実施する。

③ 学校質問紙調査

学校における各種の取組や児童生徒の状況等に関する調査を質問紙の形式で実施する。

(5) 調査結果の活用

香川県教育委員会及び各市町（学校組合）教育委員会や学校は、本調査の目的を達成するため、次のような結果を活用した取組に努めることとする。

- 各学校は、自校で編成・実施している教育課程を評価する資料の一つとして調査結果を活用し、学習指導に係る検証改善サイクルを確立するように努める。
 - ・ 当該年度前期までの学習内容の定着状況を確認、教員が自身の指導を振り返り、指導方法の改善を図るとともに、児童生徒の理解の状況に応じて、発展的な学習や補足的な指導などを行う。
 - ・ 質問紙調査の結果から、児童生徒の状況に応じて「授業規律の確立」「学習意欲と学習に向かう態度の育成」「学習方法の指導」等の取組の推進を図るとともに、児童生徒や保護者に対して、よさやつまずきの状況を説明し、生活や学習の状況について、これまでを振り返り、これからの見通しをもつ機会を設ける。
 - ・ 分析・検証の際にまとめられた成果と課題に基づいて、本年度の年間指導計画や校内指導体制等を見直し、次年度計画を作成する。

- 香川県教育委員会及び各市町（学校組合）教育委員会は、教育施策の成果と課題を把握・検証し、教育施策の改善に努めるとともに、それぞれの役割と責任に応じて、学校における取組等に対して必要な支援を行う。

【調査結果の数値について】

表記された数値は、端数処理のため0.1の誤差が生じることがある。

2 調査結果の概要と改善の視点

(1) 調査結果の概要

教科に関する調査

① 平均正答率

- ・ 小学校第5学年では、国語に課題が見られるが、全体として概ね定着している。(p10)
- ・ 中学校第2学年では、理科に課題が見られるが、全体として概ね定着している。(p10)

② 調査内容別平均正答率

- ・ 小学校第5学年では、全体として概ね定着しているが、国語の「知識・技能」「思考・判断・表現」で課題が見られる。(p13)
- ・ 中学校第2学年では、全体として概ね定着しているが、理科の「知識・技能」、数学・理科・英語の「思考・判断・表現」で課題が見られる。(p13)

③ 内容（領域等）平均正答率

- ・ 小学校第5学年では、国語の「読むこと」、社会の「地理的環境と人々の生活」、算数の「データの活用」の正答率が他の内容と比較して高い。国語の「言葉の特徴や使い方に関する事項」「書くこと」、算数の「変化と関係」、理科の「『エネルギー』を柱とした内容」で課題が見られる。(p13)
- ・ 中学校第2学年では、国語の「話すこと・聞くこと」の正答率が他の内容と比較して高い。国語の「我が国の言語文化に関する事項」「書くこと」、理科の「『エネルギーを柱とした内容』『地球』を柱とした内容」で特に課題が見られる。(p13)

④ 平均無解答率

- ・ 小学校第5学年では、平均無解答率がH29年度から増加傾向にある。特に国語の平均無解答率が高く、問題形式別では記述式の割合が高い。(p15)
- ・ 中学校第2学年では、平均無解答率がR1年度から減少している。特に国語と英語の問題形式別における記述式の割合が高い。(p15)

児童生徒質問紙調査

- ・ 「17 普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか。」「18 普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか（携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く）」の質問について、「2時間以上」と回答した児童生徒の割合は小学校第5学年、中学校第2学年ともに昨年度より増加している。(p49)
- ・ 新設質問事項「43/44 あなたは家で、日常的に家族の誰か（父母、祖父母、姉妹兄弟等）の世話をしていますか。」の質問について、「いる」と回答した児童生徒が小学校第5学年は約50%、中学校第2学年では約30%にのぼる。また、「44/45 家で世話をしている家族がいて、勉強や遊びに時間がとれないなど、困っていることがありますか。」の質問について、「よくある」「ある」と答えた児童生徒が小学校第5学年で約10%、中学校第2学年で約5%である。(p62.63)
- ・ 「49/50 学校に行くのは楽しいと思いますか」の質問について、肯定的に回答した児童生徒の割合は小学校第5学年、中学校第2学年ともに昨年度と比較して減少している。特に、中学校第2学年はR元年度から減少傾向にある。(p65)

学校質問紙調査

- ・ 「9 学級活動や児童会・生徒会活動は、児童生徒による自発的・自治的な取組みが推進されるよう指導・支援を行っていますか」の質問について、「よく行っている」と回答した学校の割合は、小学校で55.8%（R2 47.8%）、中学校で64.8%（R2 63.4%）であり、昨年度より増加している。(p74)
- ・ 「10 学校生活の中で、児童生徒一人一人のよさを見付け、児童生徒や保護者に伝えるなど、積極的に評価していますか」の質問について、「よく行っている」と回答した学校の割合は、小学校第5学年で64.3%（R2 58.0%）、中学校第2学年で67.6%（R2 66.2%）であり、昨年度より増加している。(p74)
- ・ 「30 大型提示装置（プロジェクター、電子黒板等）やタブレット端末等のICT機器を活用した授業を行っていますか」の質問について、「よく行っている」と回答した学校の割合は、小学校第5学年で85.7%（R2 74.5%）、中学校第2学年で78.9%（R2 69.0%）であり、昨年度より増加している。(p76)

(2) 改善の視点

教科に関する調査については、平均正答率において、小学校第5学年、中学校第2学年ともに教科によって定着の度合いに大きな差が生じる結果となった。小学校第5学年では社会が概ね定着しており、国語に課題が見られた。中学校第2学年では、国語が概ね定着しており、理科に課題が見られた。一方で「知識・技能」については、小学校第5学年国語(53.6%)、中学校第2学年理科(59.8%)、「思考・判断・表現」については、小学校第5学年国語(60.0%)、中学校第2学年数学(46.8%)、理科(53.1%)、英語(50.9%)と課題が見られた。また、内容(領域等)別に見ると、小学校第5学年国語の「言葉の特徴や使い方に関する事項」(53.6%)「書くこと」(53.4%)、算数の「変化と関係」(57.4%)、理科の「『エネルギー』を柱とした内容」(52.4%)、中学校第2学年国語の「我が国の言語文化に関する事項」(30.8%)、「書くこと」(42.3%)、理科の「『エネルギー』を柱とした内容」(48.4%)、「『地球』を柱とした内容」(49.0%)で課題が見られた。

これらの課題を改善するためには、調査結果データを基に県と各学校の傾向を比較することや、経年の変化を見ること、正答数分布や正答率分布から学力層の分布等を探ること等の分析が必要である。

また、カリキュラム・マネジメントの視点から各学校や学級の教育課題に応じた年間指導計画の作成及び効果的な実施、保護者や地域の人と連携した教育課程の編成等が必要である。

子供の学習状況に応じたきめ細かな指導を

[授業づくりの視点から]

- ・ 目指す児童生徒像等を踏まえ、各教科等の特徴を生かして一単元及び一単位時間のねらいを明確にした授業を構成する。
- ・ 基本的な発問や板書構成、教材の工夫、学習環境の整備等を推進し、どの児童生徒も安心して学習に取り組むとともに、力を発揮して活躍する授業を行う。
- ・ 単元や単位時間についての振り返りを大切にし、指導者からの効果的な声掛け等による価値付けを行うとともに、学習の内容や方法についての振り返りの視点を示すなどして、児童生徒が自らの成長に気付くようにする。
- ・ 一人一人の多様な考えを各自のノートやICT端末を活用する学びを通して可視化し、思考を活性化する。

[学習カリキュラム作成の視点から]

- ・ 各教科等の目標や内容、年間指導計画、児童生徒の実態を踏まえた教材研究等に取り組むとともに、育成する資質・能力に連動する学習過程を工夫する。
- ・ 各教科等の基礎的・基本的な知識及び技能の習得に課題がある場合には、学年に応じた学習過程を設定するとともに、必要に応じて繰り返して学ぶなど確実な習得を図る。
- ・ 各教科等で通常行われている学習活動(言語活動、観察・実験、問題解決的な学習など)の質を向上させるとともに、系統的な指導の効果を上げるような単元構成の工夫をする。

全ての教科において言語活動のさらなる充実を

- ・ 各教科間の関連や学年を越えた系統性を踏まえた計画的な言語活動を充実するため、授業を核として全教職員が協働して実践に取り組む。
- ・ 単元や題材など内容や時間のまとまりの中で、学習を見通し振り返る場面をどこに設定するか、グループなどで対話する場面をどこに設定するか、児童生徒が考える場面と教員が教える場面をどのように組み立てるかを考える。

香川県重点項目に関する質問項目（全国学力・学習状況調査との関連）

重点項目	Q&A (ページ)	R3 児童生徒質問紙 質問項目		全国 関連	基本 計画 指標	R3	R2	R1	H30	H29
		小	中							
学習意欲	19	23	23	勉強は好きですか。	(43 52 61)	○	●	●	●	●
		25	25	授業は楽しいと思いますか。	—	○	○	○	○	○
		27	27	分からない問題があるとき、見方や考え方を変えながら、あきらめずに取り組んでいますか。	(57)	○	○	○	○	○
学習状況	20	22	22	授業では、ノートをていねいに書いていますか。	(59)	○	●	●	●	●
		24	24	私語なく先生や友達の話をしっかり聞くなど、集中して授業を受けていますか。	—	○	○	○	○	○
		28	28	分からないところは先生や友達に質問して解決していますか。	(48)	○	●	●	●	●
		30	30	授業の中で、目標（めあて・ねらい）が示されていると思いますか。	—	○	○	○	○	○
		31	31	授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていると思いますか。	(38)	○	○	○	○	○
言語活動	21	21	21	友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか。	36	○	○	○	○	○
		29	29	授業で、学級やグループの中で自分たちで課題を立て、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して発表する学習活動に取り組んでいますか。	(39)	○	○	○	○	○
		32	32	普通の授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていると思いますか。	—	○	○	○	○	○
		33	33	普通の授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていると思いますか。	—	○	○	○	○	○
		34	34	授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していますか。	32	○	○	○	○	○
		35	35	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを広げたり、深めたりすることができていますか。	37	○	○	○	○	○
自尊意識等	22	4	4	ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがありますか。	—	○	○	○	○	○
		5	5	むずかしいことでも、失敗をおそれないで挑戦していますか。	9	○	○	○	○	○
		6	6	自分には、よいところがあると思いますか。	6	◆	○	●	●	●
		7	7	将来の夢や目標をもっていますか。	7	○	●	●	●	●
規範意識	23	8	8	学校のきまりを守っていますか。	—	○	●	●	●	●
		10	10	人が困っているときは、進んで助けていますか。	10	○	●	●	●	●
		11	11	近所の人に会ったときは、あいさつをしていますか。	—	○	●	●	●	●
		12	12	人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか。	—	◆	○	○	○	○
		13	13	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	11	◆	○	●	●	●
		14	14	人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	12	○	○	○	○	○
学校生活	24	49	50	学校に行くのは楽しいと思いますか。	13	◆	○	○	○	
		50	51	学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか。	—	○	○	○	○	○
		51	52	学級では、安心して自分の意見を言うことができますか。	—	○	○	○	○	○

※ ○…小5・6年、中1・2年(R3は小5年、中2年のみ)

●…小3～6年、中1・2年

※ 全国学力・学習状況調査と同一の質問項目には、質問番号（全国報告書参照）を、類似の質問項目には質問番号に（ ）を付けて、全国関連の欄に表記している。

II 調查結果（概論）

令和3年度香川県学習状況調査

全体的な状況

Point

1. 教科に関する調査結果については、小学校は4教科の平均正答率が66.1%、中学校は5教科の平均正答率が63.5%となっている。
2. 児童生徒質問紙の結果については、「規範意識」に関して肯定的に回答した児童生徒の割合は、昨年度と比較して、小学校で6.7pt、中学校9.0pt増加している。

1 令和3年度教科に関する調査結果:平均正答率

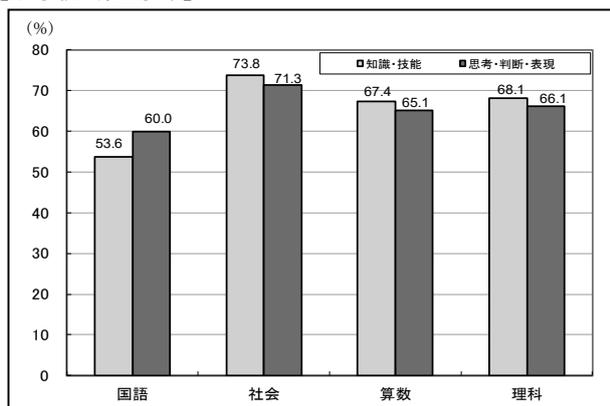
(1) 小・中学校調査結果

[単位：%]

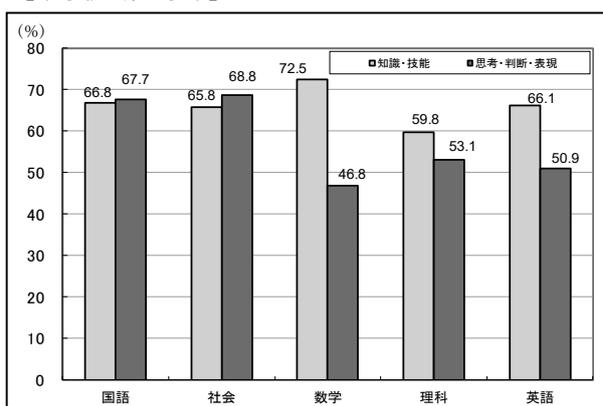
	小学校 第5学年	中学校 第2学年
国語	57.1	67.3
社会	73.0	66.8
算数・数学	66.8	66.2
理科	67.3	56.7
英語		60.4
平均	66.1	63.5

(2) 調査内容別平均正答率

【小学校 第5学年】



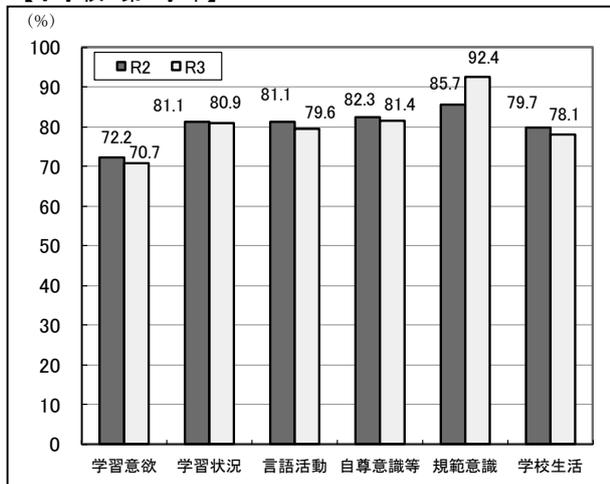
【中学校 第2学年】



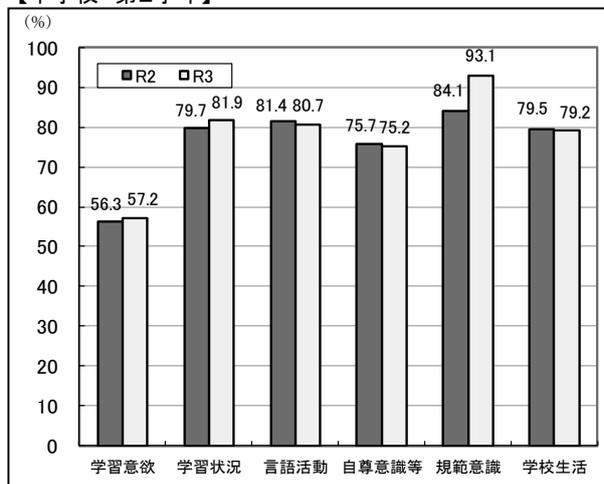
2 令和3年度児童生徒質問紙調査結果(肯定的回答の割合)

※香川県重点項目p8参照

【小学校 第5学年】



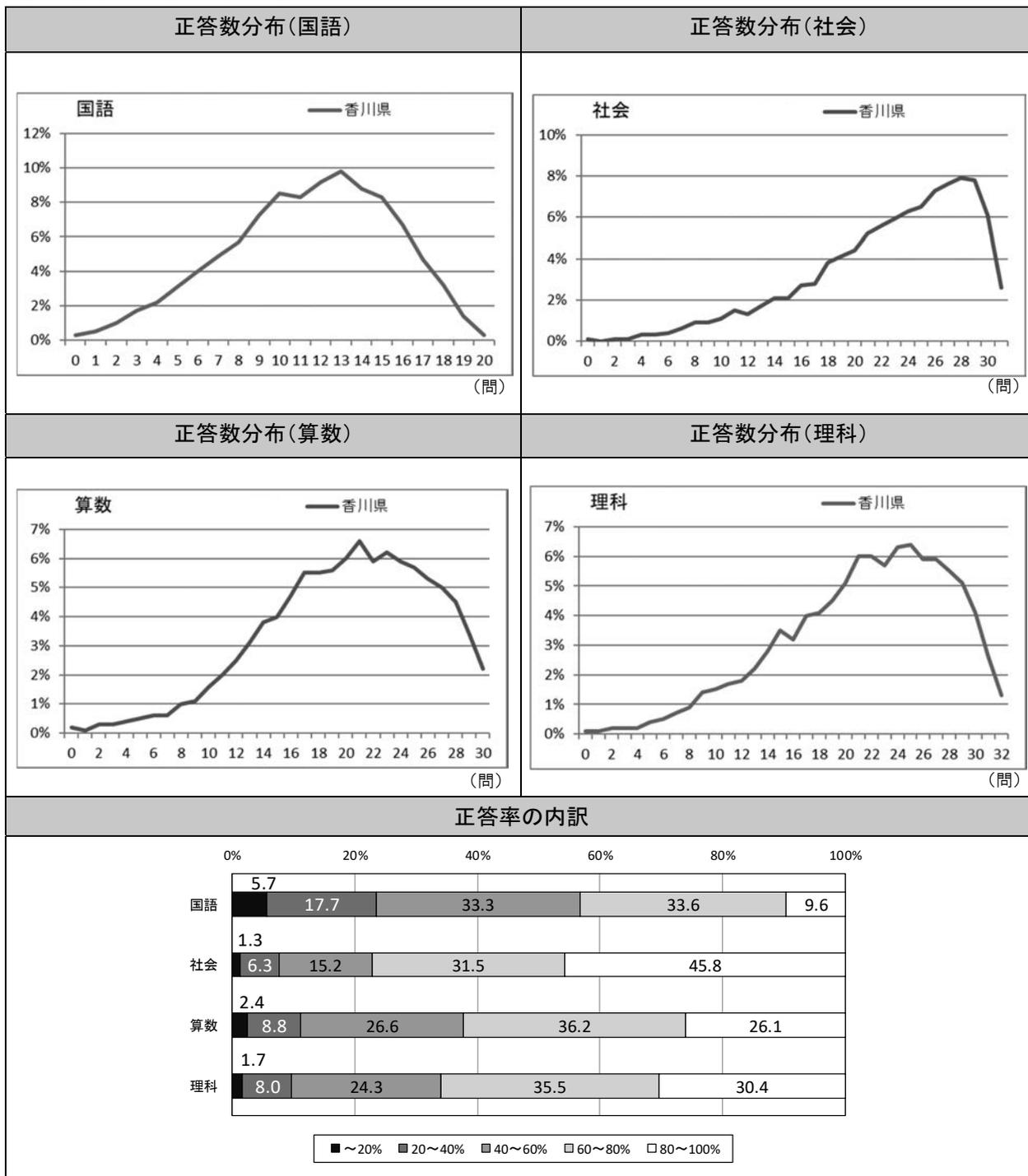
【中学校 第2学年】



令和3年度香川県学習状況調査 正答数・正答率の分布【小学校】

Point 正答率 80%以上の児童の割合は、社会において 40%、理科において 30%より高い。また、正答率 40%未満の児童の割合は、国語において 20%より高い。

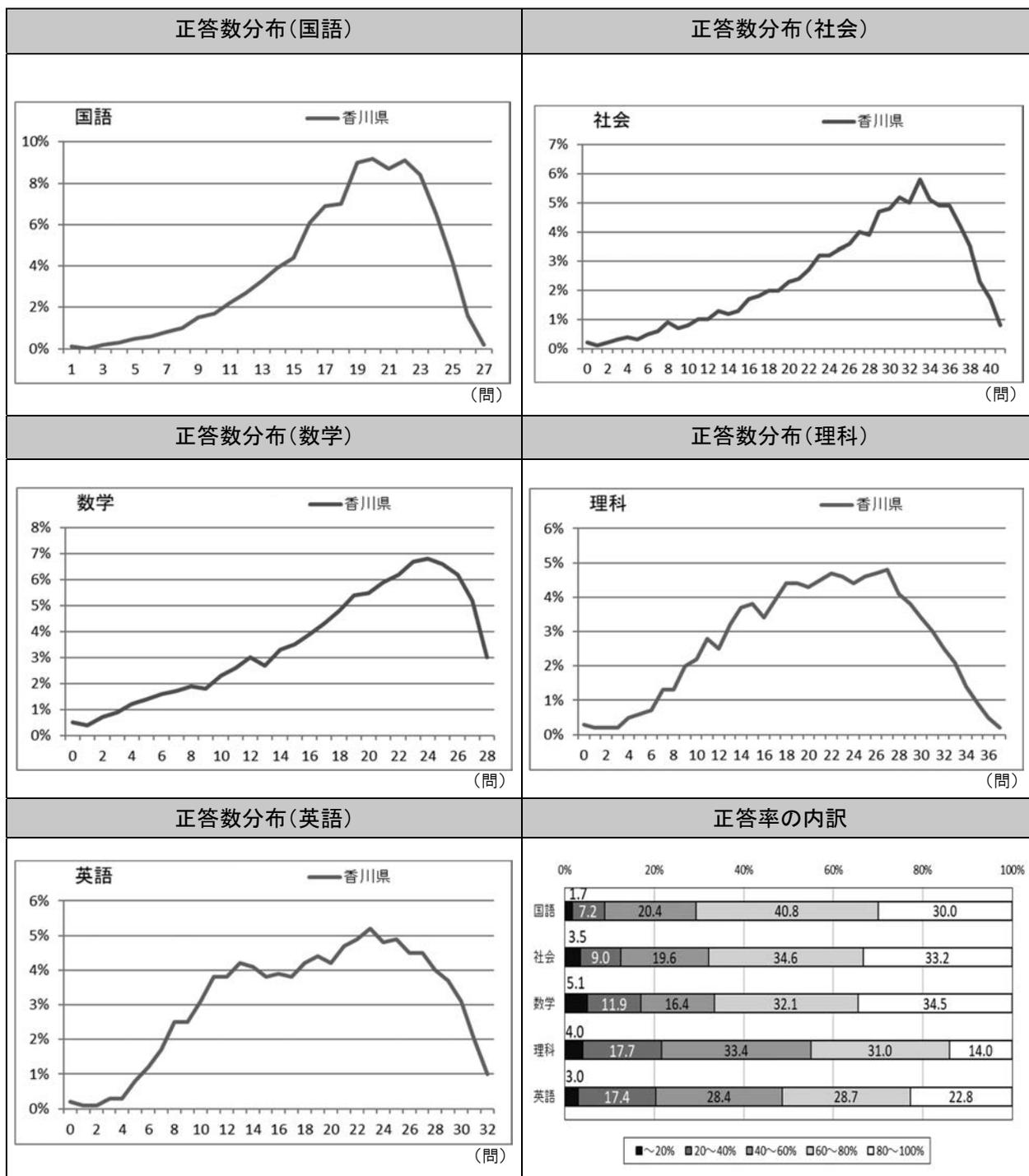
【小学校 第5学年】



令和3年度香川県学習状況調査 正答数・正答率の分布【中学校】

Point 正答率 80%以上の生徒の割合は、国語、社会、数学において 30%より高い。
また、正答率 40%未満の生徒の割合は、理科、英語において 20%より高い。

【中学校 第2学年】



令和3年度香川県学習状況調査

学習内容の定着

- Point** 1. 小学校において、全体の平均正答率は66.1%となっており、そのうち、「知識・技能」は65.7%、「思考・判断・表現」は65.6%となっている。
2. 中学校において、全体の平均正答率は63.5%となっており、そのうち、「知識・技能」は66.2%、「思考・判断・表現」は57.5%となっている。

1 平均正答率・調査内容別平均正答率

	小学校 第5学年			中学校 第2学年		
	平均正答率	調査内容別平均正答率		平均正答率	調査内容別平均正答率	
		知識・技能	思考・判断・表現		知識・技能	思考・判断・表現
国語	57.1	53.6	60.0	67.3	66.8	67.7
社会	73.0	73.8	71.3	66.8	65.8	68.8
算数・数学	66.8	67.4	65.1	66.2	72.5	46.8
理科	67.3	68.1	66.1	56.7	59.8	53.1
英語				60.4	66.1	50.9
平均	66.1	65.7	65.6	63.5	66.2	57.5

2 内容(領域等)平均正答率

	内容(領域等)	小5	内容(領域等)	中2
国語	言葉の特徴や使い方に関する事項	53.6	言葉の特徴や使い方に関する事項	70.1
	情報の扱い方に関する事項		情報の扱い方に関する事項	
	我が国の言語文化に関する事項		我が国の言語文化に関する事項	30.8
	話すこと・聞くこと	61.0	話すこと・聞くこと	82.1
	書くこと	53.4	書くこと	42.3
	読むこと	74.3	読むこと	71.9
社会	地理的環境と人々の生活	74.7	日本の地域構成	66.9
	現代社会の仕組みや働きと人々の生活	73.2	世界と比べた日本の地域的特色	66.1
	歴史と人々の生活	62.6	世界の諸地域	72.7
			歴史のとらえ方	63.6
			中世の日本	59.5
			近世の日本	65.5
算数・数学	数と計算	61.7	数と式	71.3
	図形	72.3	図形	61.0
	変化と関係	57.4	関数	57.7
	データの活用	94.5	データの活用	66.7
理科	「エネルギー」を柱とした内容	52.4	「エネルギー」を柱とした内容	48.8
	「粒子」を柱とした内容	68.1	「粒子」を柱とした内容	59.8
	「生命」を柱とした内容	73.5	「生命」を柱とした内容	62.6
	「地球」を柱とした内容	66.5	「地球」を柱とした内容	49.0
	実験器具等の扱い方に関わる内容	62.0	実験器具等の扱い方に関わる内容	67.1
英語			聞くこと	70.1
			読むこと	56.0
			書くこと	56.0

令和3年度香川県学習状況調査

漢字の読み書き、基本の計算、リスニング

Point

「漢字の読み書き」の平均正答率は、小・中学校ともに80%を下回っており、特に小学校ではR元年度(小3~小6)より23.0pt低くなった。「基本の計算」の平均正答率は中学校で80%より高いが、小学校はR元年度(小3~小6)より11.7pt低い。「英語のリスニング」は、70.1%で、R元年度(中1・中2)より6.9pt低い。

1 全体的な傾向

[単位：%]

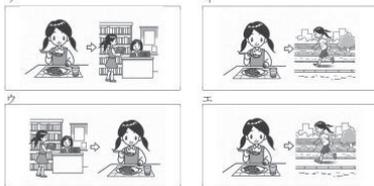
	漢字の読み書き	基本の計算	英語のリスニング
小学校 第5学年	56.2	68.4	70.1
中学校 第2学年	71.5	85.0	

2 課題がうかがわれる問題(抜粋)

学年・教科	問題番号	問題	正答	正答率(%)
小5国	二	(二)① ルールを守り、 <u>せつど</u> ある行動をする。(書き)	節度	26.0
小5国	二	(2)② 食料を <u>ほかん</u> する。(書き)	保管	46.7
小5算	一	(2) $240+60\div 6$	250	48.4
小5算	一	(4) $0.4\div 0.5$	0.8	66.4
中2国	二	(一)③ 自然の <u>恩恵</u> を受ける(読み)	おんけい	49.5
中2国	二	(二)② 試合を <u>エンキ</u> する。(書き)	延期	63.3
中2英	一	(5) リスニング※1	ア	46.5
中2英	二	(1) リスニング※2	ウ	50.4
中2英	二	(2) リスニング※3	ウ	54.0
中2英	二	(3) リスニング※4	ア	41.8
中2英	二	(4) リスニング※5	エ	64.5

※1

- 1 今から話される英語を聞いて、その内容を最も適切に表している絵を、ア~エの中から一つずつ選び、その記号を書きなさい。英文は1回だけ言います。



- 2 マイク(Mike)が家族旅行で博物館を訪れています。次の(1)~(4)の対話では、その最後にチャイムが鳴ります。その部分に当てはまる英語として最も適するものを、ア~エの中から一つずつ選び、その記号を書きなさい。英文は2回ずつ言います。

※2

- (1) (博物館内での親子の会話)

- ア No, it isn't.
- イ You're welcome.
- ウ No, you can't.
- エ Yes, he does.



※3

- (2) (博物館内での親子の会話)

- ア By bus.
- イ It's rainy in the afternoon.
- ウ I saw it in an art textbook.
- エ It's ninety-five years old.



※4

- (3) (博物館の人と子どもの会話)

- ア Yes. It's by the restaurant.
- イ Yes. I like him, too.
- ウ Yes. It's his pen.
- エ Yes. I come here.



※5

- (4) (店員と子どもの会話)

- ア Yes, he is.
- イ Yes, he does.
- ウ Yes, it does.
- エ Yes, it is.



平成3年度香川県学習状況調査

平均無解答率

Point

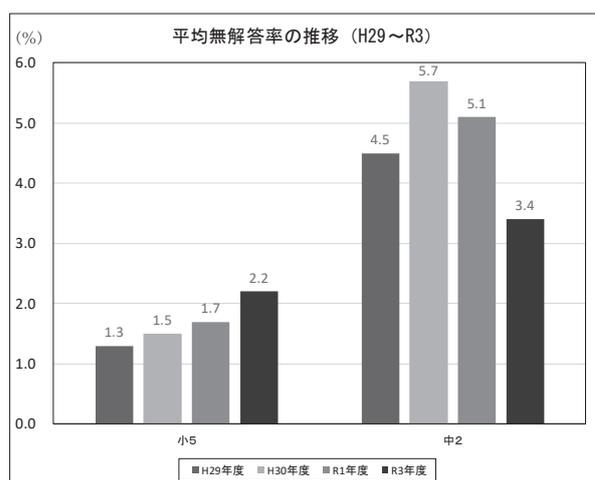
平均無解答率は、小学校第5学年で、H29年度から増加傾向にあり、中学校第2学年では、R元年度から減少している。小学校第5学年では国語の平均無解答率が高く、中学校第2学年は社会の平均無解答率が高い。

1 平均無解答率

[単位：％(R1との差：pt)]

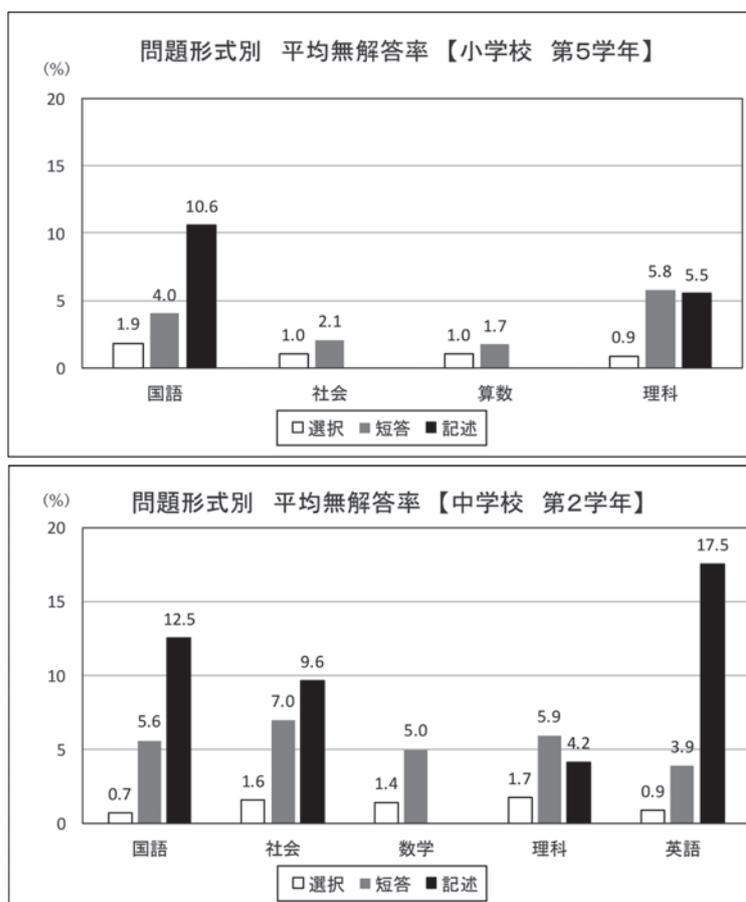
	小学校 第5学年	中学校 第2学年
国語	4.1(+1.6)	3.7(-0.9)
社会	1.2(-0.3)	4.5(-1.2)
算数・数学	1.5(-0.1)	3.1(-0.4)
理科	1.8(+0.8)	2.7(-2.6)
英語		3.0(-3.6)
平均	2.2(+0.5)	3.4(-1.7)

2 平均無解答率の推移



※R2は教科に関する調査を実施していない。

3 問題形式別平均無解答率の割合



※ 小5の社会および算数、中2の数学において記述問題は無い。

Column

小学校第5学年の平均無解答率は増加傾向にあり、問題形式別に見ると国語の記述式の割合が高くなっています。中学校第2学年においては、国語、社会、英語の記述式の割合が高くなっており、小・中学校ともに、記述問題での平均無解答率が最も高くなっていることがわかります。理科については、短答式での平均無解答率が、記述式よりもわずかに高くなっていることが特徴です。

無解答となる原因はいくつか考えられますが、文章の読み取りが不十分であることや、考えがまとまらず書くことをあきらめてしまっていることが要因として挙げられます。

授業においては、文章や図、表などに示されている情報を取捨選択し、目的に応じて自分の考えを整理、表現する活動を取り入れることが大切です。

令和3年度香川県学習状況調査

教科の平均正答率と関係が見られた児童生徒質問紙調査

児童生徒質問紙調査結果の回答別教科平均正答率が、「回答1>回答2>回答3>回答4」の関係が見られたものを教科ごとに取り上げた。

小学校 第5学年

【国語】

pt:[回答1-回答4]*質問番号 26は回答1-5、質問番号41(中学校は43)は回答1-回答6

質問番号	質問内容	pt
26	授業の内容がどの程度分かりますか。	29.1
8	学校のきまりを守っていますか。	19.2
30	授業の中で、目標(めあて・ねらい)が示されていると思いますか。	19.1
21	友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか。	18.6
32	普通の授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていると思いますか。	18.5

【社会】

質問番号	質問内容	pt
26	授業の内容がどの程度分かりますか。	34.5
27	分からない問題があるとき、見方や考え方を変えながら、あきらめずに取り組んでいますか。	22.3
32	普通の授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていると思いますか。	18.3
35	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを広げたり、深めたりすることができますか。	18.1
8	学校のきまりを守っていますか。	17.6

【算数】

質問番号	質問内容	pt
26	授業の内容がどの程度分かりますか。	36.0
41	学校の授業以外に、普段(月～金曜日)、3日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。(宿題や学習塾や家庭教師の時間もふくみます。)	26.4
27	分からない問題があるとき、見方や考え方を変えながら、あきらめずに取り組んでいますか。	23.1
37	家で学校の宿題をしていますか。	20.6
30	授業の中で、目標(めあて・ねらい)が示されていると思いますか。	19.8

【理科】

質問番号	質問内容	pt
26	授業の内容がどの程度分かりますか。	32.4
27	分からない問題があるとき、見方や考え方を変えながら、あきらめずに取り組んでいますか。	18.0
32	普通の授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていると思いますか。	16.7
21	友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか。	16.7
1	朝食を毎日食べていますか。	16.4

中学校 第2学年

【国語】

質問番号	質問内容	pt
26	授業の内容がどの程度分かりますか。	32.0
32	普段の授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていると思いますか。	18.8
27	分からない問題があるとき、見方や考え方を変えながら、あきらめずに取り組んでいますか。	18.8
9	係や委員の仕事など、自分の役割をきちんと果たしていますか。	17.5
8	学校のきまりを守っていますか。	16.9

【社会】

質問番号	質問内容	pt
26	授業の内容がどの程度分かりますか。	41.0
27	分からない問題があるとき、見方や考え方を変えながら、あきらめずに取り組んでいますか。	24.8
9	係や委員の仕事など、自分の役割をきちんと果たしていますか。	24.6
32	普段の授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていると思いますか。	22.5
24	私語なく先生や友達の話をしっかり聞くなど、集中して授業を受けていますか。	20.7

【数学】

質問番号	質問内容	pt
26	授業の内容がどの程度分かりますか。	51.2
27	分からない問題があるとき、見方や考え方を変えながら、あきらめずに取り組んでいますか。	32.6
9	係や委員の仕事など、自分の役割をきちんと果たしていますか。	27.1
32	普段の授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていると思いますか。	26.1
24	私語なく先生や友達の話をしっかり聞くなど、集中して授業を受けていますか。	25.2

【理科】

質問番号	質問内容	pt
26	授業の内容がどの程度分かりますか。	39.5
27	分からない問題があるとき、見方や考え方を変えながら、あきらめずに取り組んでいますか。	23.5
9	係や委員の仕事など、自分の役割をきちんと果たしていますか。	22.4
32	普段の授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていると思いますか。	20.4
24	私語なく先生や友達の話をしっかり聞くなど、集中して授業を受けていますか。	20.2

【英語】

質問番号	質問内容	pt
26	授業の内容がどの程度分かりますか。	42.2
27	分からない問題があるとき、見方や考え方を変えながら、あきらめずに取り組んでいますか。	26.2
9	係や委員の仕事など、自分の役割をきちんと果たしていますか。	24.0
24	私語なく先生や友達の話をしっかり聞くなど、集中して授業を受けていますか。	23.5
43	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、5日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。(宿題や学習塾や家庭教師の時間もふくみます。)	23.5

令和3年度香川県学習状況調査

同一児童生徒の経年比較からうかがえる児童生徒質問紙調査結果

肯定的回答の割合は、学年が進むにつれて減少するものが多いが、ここでは増加した質問項目についてまとめた。昨年度までの同一児童生徒の経年変化と比較して、中学校では生徒主体の授業や友達と話し合いながら問題解決をする授業へと授業改善に取り組んでいることがうかがえる。小学校では「社会性・道徳性について」の項目で増加している。

1 小4（R2）から小5（R3）に肯定的回答の割合が増加した質問項目

R2 番号	R3 番号	質問項目	回答1+2 (%)			
			R2 小4	R3 小5	R3-R2 差 (pt)	※参考 R3全国学テ 小6
6	10	人が困っているときは、進んで助けていますか。	85.9	88.7	2.8	88.1
5	8	学校のきまりを守っていますか。	89.5	91.2	1.7	
14	28	分からないところは先生や友達に質問して解決していますか。	79.6	81.2	1.6	(60.2)
7	11	近所の人に会ったときは、あいさつをしていますか。	87.8	88.1	0.3	
15	36	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。	65.2	65.5	0.3	72.8

※質問数は R2小4 が 17、R3小5 が 51 と異なるため、R2小4 の質問事項の中から肯定的回答の割合が増加したものを掲載している。

2 中1（R2）から中2（R3）に肯定的回答の割合が増加した質問項目

R2 番号	R3 番号	質問項目	回答1+2 (%)			
			R2 中1	R3 中2	R3-R2 差 (pt)	※参考 R3全国学テ 中3
34	34	授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していますか。	61.1	64.5	3.4	52.8
31	31	授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていると思いますか。	72.4	75.3	2.9	(68.9)
47	51	学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか。	82.2	84.9	2.7	
35	35	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを広げたり、深めたりすることができていますか。	78.4	80.5	2.1	76.8
33	33	普段の授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていると思いますか。	81.5	83.1	1.6	
22	22	授業では、ノートをていねいに書いていますか。	81.2	82.5	1.3	(87.9)
32	32	普段の授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていると思いますか。	87.7	88.6	0.9	
8	8	学校のきまりを守っていますか。	95.1	95.8	0.7	
21	21	友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか。	95.5	96.2	0.7	95.4
9	9	係や委員の仕事など、自分の役割をきちんと果たしていますか。	95.5	96.0	0.5	
30	30	授業の中で、目標（めあて・ねらい）が示されていると思いますか。	89.3	89.7	0.4	
24	24	私語なく先生や友達の話をしっかり聞くなど、集中して授業を受けていますか。	82.9	83.2	0.3	

※右端の欄の「※参考 R3全国学テ小6・中3」は、それぞれ小5及び中2の児童生徒と同一児童生徒ではない。

Question
1
学習意欲

「学習意欲」に関わる質問紙調査結果については、どのような傾向が見られましたか。

Answer

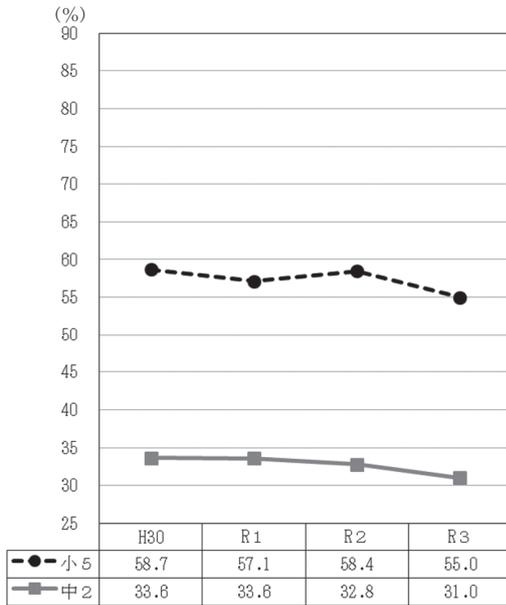
- ・「23 勉強は好き」と肯定的に回答した児童生徒の割合は、小学校第5学年は、昨年度と比較して減少し、中学校第2学年はR元年度から減少傾向にある。
- ・「25 授業は楽しいと思う」と肯定的に回答した児童生徒の割合は、昨年度と比較して、小学校第5学年はやや減少しており、中学校第2学年は増加している。
- ・「27 あきらめずに取り組んでいる」と肯定的に回答した児童生徒の割合は、小学校第5学年はほぼ横ばいで、中学校第2学年は、昨年度と比較して増加している。

◇23 勉強は好きですか。

【児童生徒質問紙】

■同学年児童生徒経年比較

※「好き」+「どちらかといえば好き」と回答

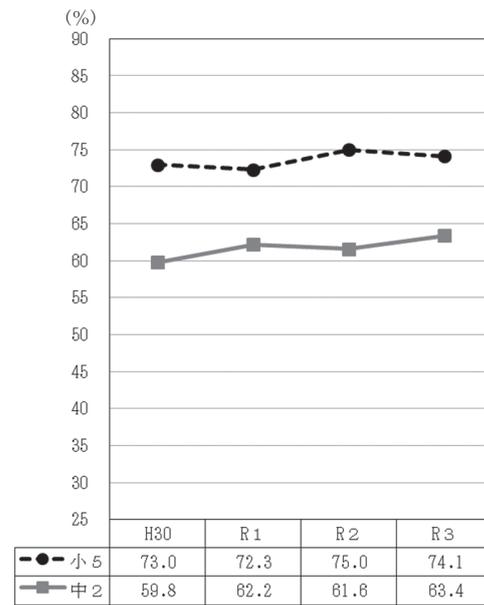


◇25 授業は楽しいと思いますか。

【児童生徒質問紙】

■同学年児童生徒経年比較

※「思う」+「どちらかといえば思う」と回答

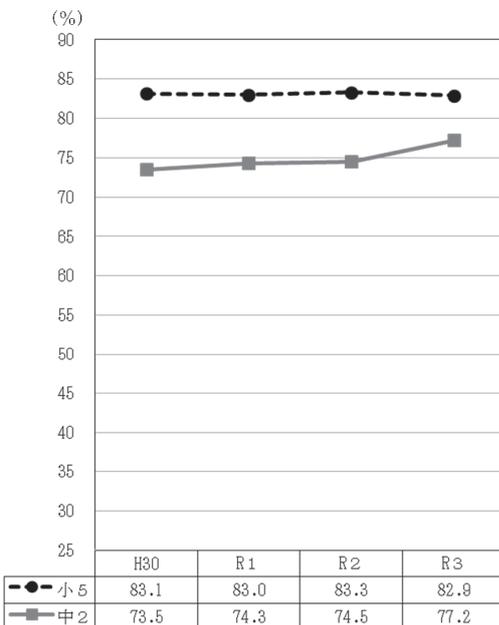


◇27 分からない問題があるとき、見方や考え方を変えながら、あきらめずに取り組んでいますか。

【児童生徒質問紙】

■同学年児童生徒経年比較

※「取り組んでいる」+「どちらかといえば取り組んでいる」と回答

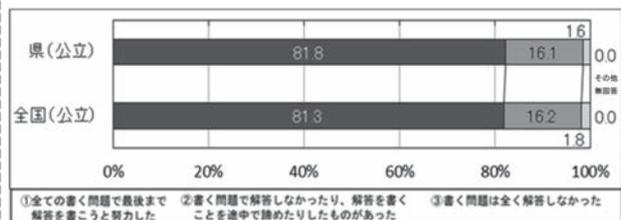


〈参考〉全国学力・学習状況調査結果 (R3)

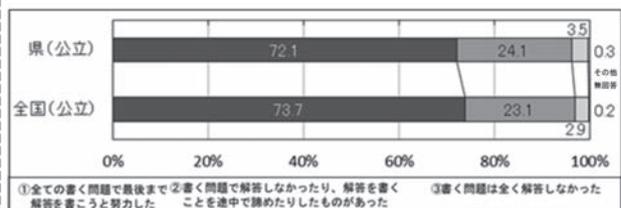
□51 今回の国語の問題では、解答を文章で書く問題がありました。それらの問題についてどのように解答しましたか。

【児童生徒質問紙】

【小学校 第6学年】



【中学校 第3学年】



Question
2
学習状況

「学習状況」に関わる質問紙調査結果については、どのような傾向が見られましたか。

Answer

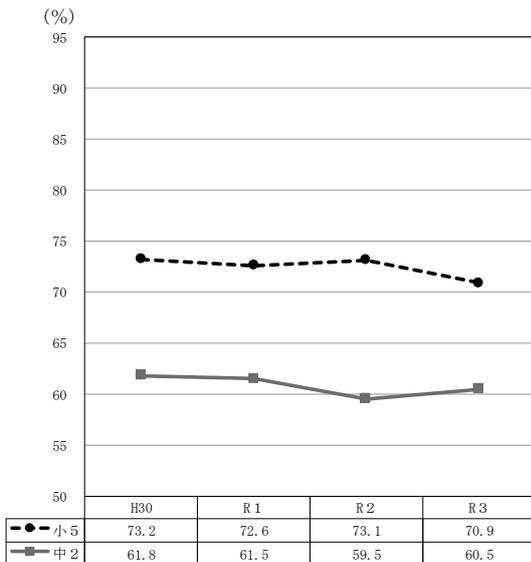
- ・「26 授業の内容が分かる」と肯定的に回答した児童生徒の割合は、昨年度と比較して、中学校第2学年では増加しているが、小学校第5学年で減少している。
- ・「28 分からないところを質問して解決している」と肯定的に回答した児童生徒の割合は、昨年度と比較して、小学校第5学年は減少し、中学校第2学年はほぼ横ばいである。
- ・「31 授業の最後に、学習内容を振り返る活動を行っている」と肯定的に回答した児童生徒の割合は、小学校第5学年は H30 年度からほぼ横ばい、中学校第2学年は H30 年度から増加傾向にある。

◇26 授業の内容がどの程度分かりますか。

【児童生徒質問紙】

■ 同学年児童生徒経年比較

※「よく分かる」+「だいたい分かる」と回答

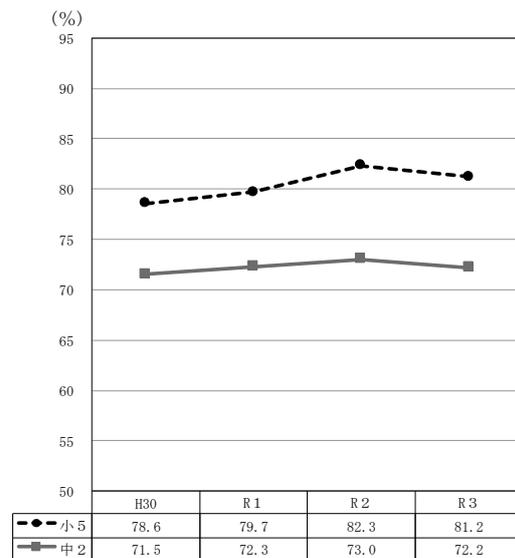


◇28 分からないところは先生や友達に質問して解決していますか。

【児童生徒質問紙】

■ 同学年児童生徒経年比較

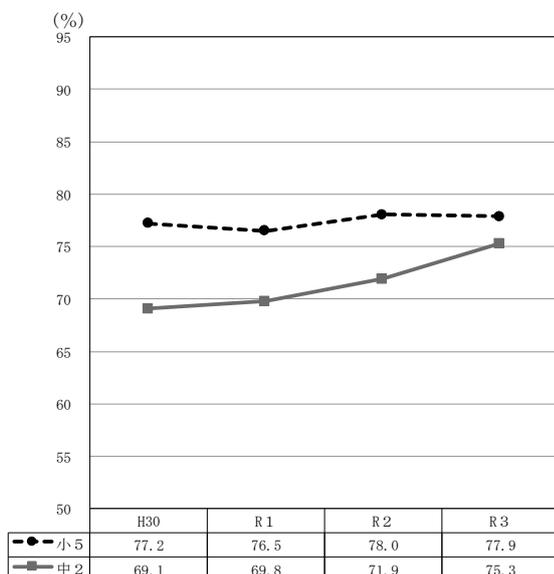
※「している」+「どちらかといえばしている」と回答



◇31 授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていると思いますか。

■ 同学年児童生徒経年比較

※「思う」+「どちらかといえば思う」と回答



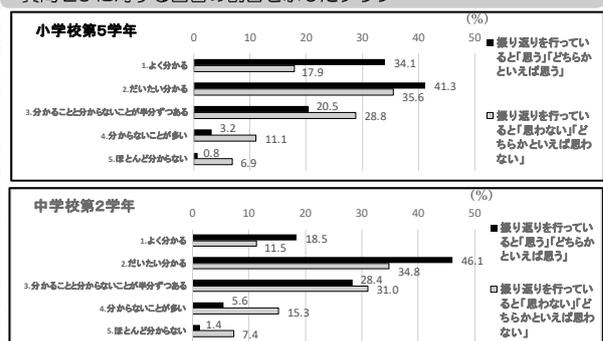
Column

◆ 振り返りの視点を明確に ◆

「31 学習内容を振り返る活動を行っていると思うか」に対して、肯定的に回答した児童生徒と、否定的に回答した児童生徒の「26 授業の内容がどの程度分かるか」に対する回答の割合を見ると、肯定的に回答した児童生徒の方が「よく分かる」「だいたい分かる」と回答した割合が高いことがわかります。このことから振り返りが学習の理解につながっていることがうかがえます。

また、学習内容を児童生徒が理解するだけでなく、何をどのように学び、それにどのような意味があるのかを捉えるためには、振り返りの視点を明確にすることが有効です。振り返りの視点として「何ができるようになったのか」「誰と交流し、どのような視点や方法を得たのか」などが考えられます。視点を明確にし、児童生徒が「分かる喜び」や「学ぶ喜び」を感じられるよう工夫することが大切です。

質問 31 に肯定的に回答した児童生徒と否定的に回答した児童生徒の質問 26 に対する回答の割合を示したグラフ



Question
3
言語活動

「言語活動」に関わる質問紙調査結果については、どのような傾向が見られましたか。

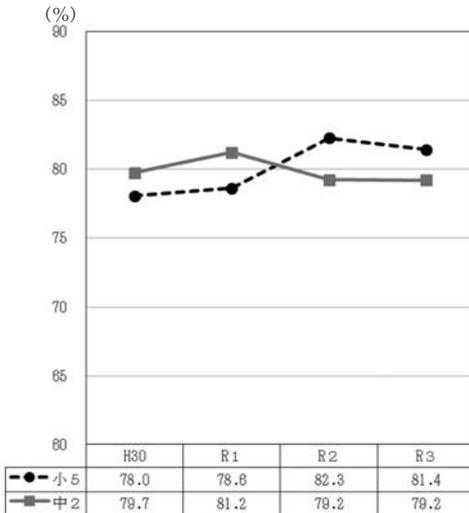
Answer

- ・「29、33 話し合う活動を取り入れた学習の実施」に関して、肯定的に回答した児童生徒の割合は、昨年度と比較して、小学校第5学年で減少し、中学校第2学年は同じ割合である。
- ・「34 自分の考えが伝わるよう工夫して発表している」と肯定的に回答した児童生徒の割合は、昨年度と比較して、小学校第5学年では減少しているが、中学校第2学年は増加し、小学校第5学年を上回っている。
- ・「35 話し合う活動を通じて、自分の考えを広げたり、深めたりすることができている」と肯定的に回答した児童生徒の割合は、昨年度と比較して、小学校第5学年で減少し、中学校第2学年はH30年度から増加傾向にある。

◇29 授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立て、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して発表する学習活動に取り組んでいますか。
【児童生徒質問紙】

■同学年児童生徒経年比較

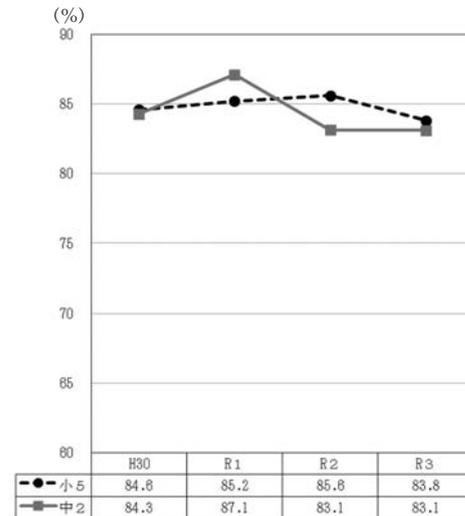
※「取り組んでいる」+「どちらかといえば取り組んでいる」と回答



◇33 普段の授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていると思いますか。
【児童生徒質問紙】

■同学年児童生徒経年比較

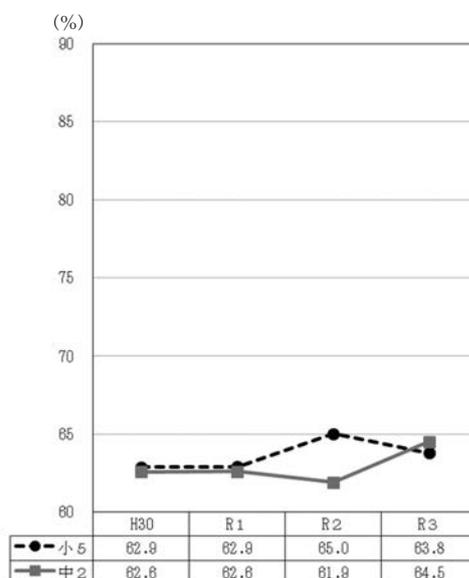
※「思う」+「どちらかといえば思う」と回答



◇34 授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していますか。
【児童生徒質問紙】

■同学年児童生徒経年比較

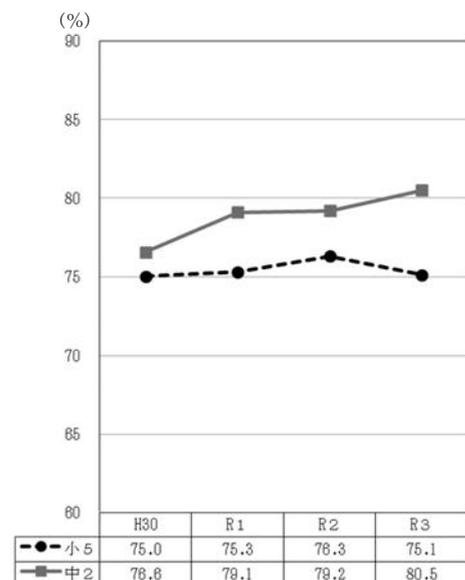
※「している」+「どちらかといえばしている」と回答



◇35 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを広げたり、深めたりすることができていますか。
【児童生徒質問紙】

■同学年児童生徒経年比較

※「できている」+「どちらかといえばできている」と回答



Question
4
自尊意識等

「自尊意識等」に関わる質問紙調査結果については、どのような傾向が見られましたか。

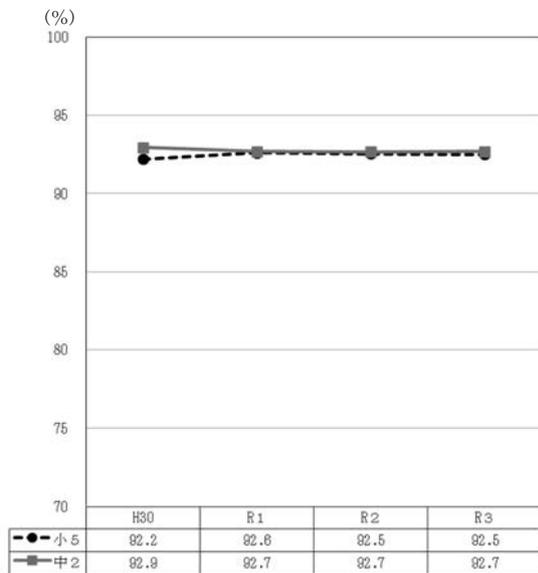
Answer

- ・「4 ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがある」と肯定的に回答した児童生徒の割合は、学年間の差がほとんどなく、高い水準で横ばいである。
- ・「5 むずかしいことでも、失敗をおそれないで挑戦している」と肯定的に回答した児童生徒の割合は、R元年度から小学校第5学年・中学校第2学年ともに減少傾向にある。
- ・「6 自分には、よいところがある」と肯定的に回答した児童生徒の割合は、昨年度と比較して、小学校第5学年で減少し、中学校第2学年では増加している。
- ・「7 将来の夢や目標をもっている」と肯定的に回答した児童生徒の割合は、小学校第5学年では、約85%と高い水準で横ばいであり、中学校第2学年は、昨年度と比較して減少している。

◇4 ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがありますか。
【児童生徒質問紙】

■同学年児童生徒経年比較

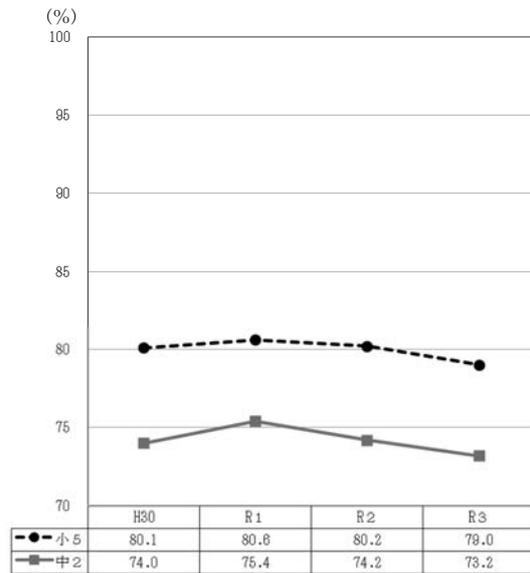
※「ある」+「どちらかといえばある」と回答



◇5 むずかしいことでも、失敗をおそれないで挑戦していますか。
【児童生徒質問紙】

■同学年児童生徒経年比較

※「している」+「どちらかといえばしている」と回答

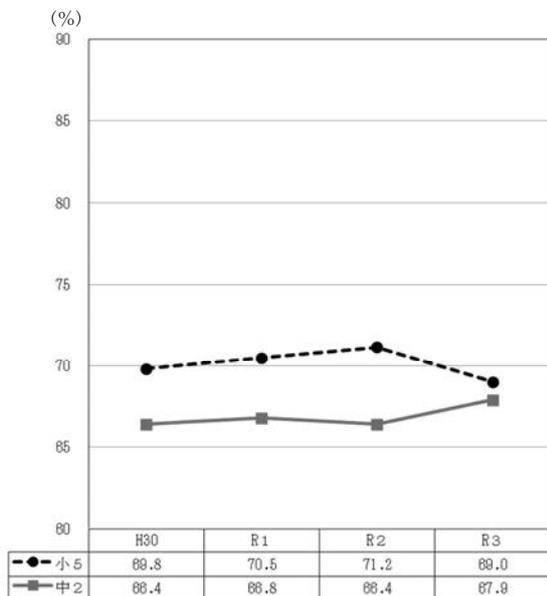


◇6 自分には、よいところがあると思いますか。
【児童生徒質問紙】

【児童生徒質問紙】

■同学年児童生徒経年比較

※「思う」+「どちらかといえば思う」と回答

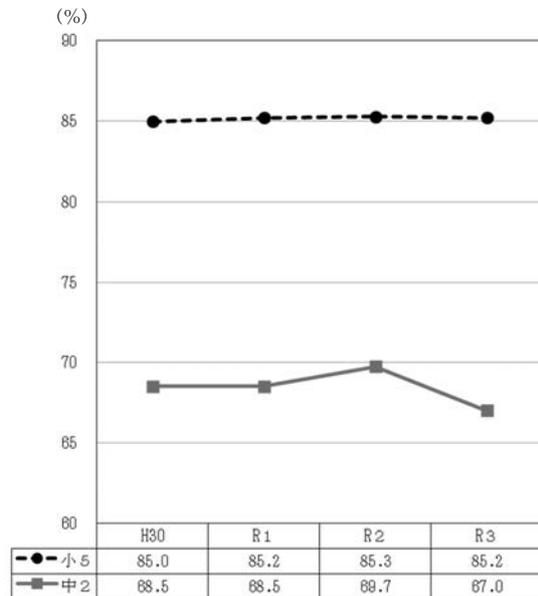


◇7 将来の夢や目標をもっていますか。
【児童生徒質問紙】

【児童生徒質問紙】

■同学年児童生徒経年比較

※「はっきりもっている」+「はっきりではないもっている」と回答



Question
5
規範意識

「規範意識」に関わる質問紙調査結果については、どのような傾向が見られましたか。

Answer

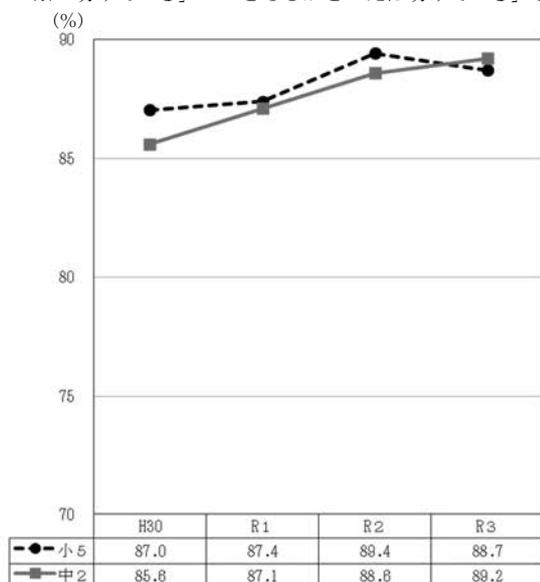
- ・「10人が困っているときは、進んで助けている」と肯定的に回答した児童生徒の割合は、昨年度と比較して、小学校第5学年でやや減少している。中学校第2学年はH30年度から増加傾向にあり、小学校第5学年を上回っている。
- ・「12人の気持ちが分かる人間になりたいと思う」「13 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」と回答した児童生徒の割合は、昨年度と比較して、小学校第5学年・中学校第2学年ともに減少している。
- ・「14人の役に立つ人間になりたいと思う」と回答した児童生徒の割合は、小学校第5学年は昨年度よりやや減少したものの、小学校第5学年・中学校第2学年ともにH30年度から増加傾向にある。

◇10 人が困っているときは、進んで助けていますか。

【児童生徒質問紙】

■ 同学年児童生徒経年比較

※「助けている」+「どちらかといえば助けている」と回答

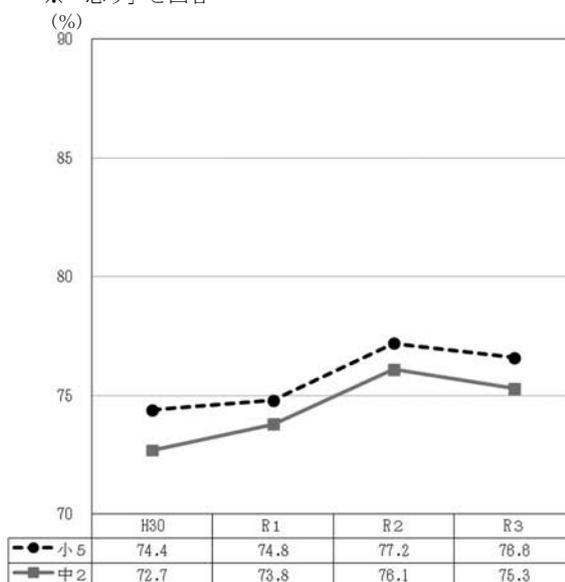


◇12 人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか。

【児童生徒質問紙】

■ 同学年児童生徒経年比較

※「思う」と回答

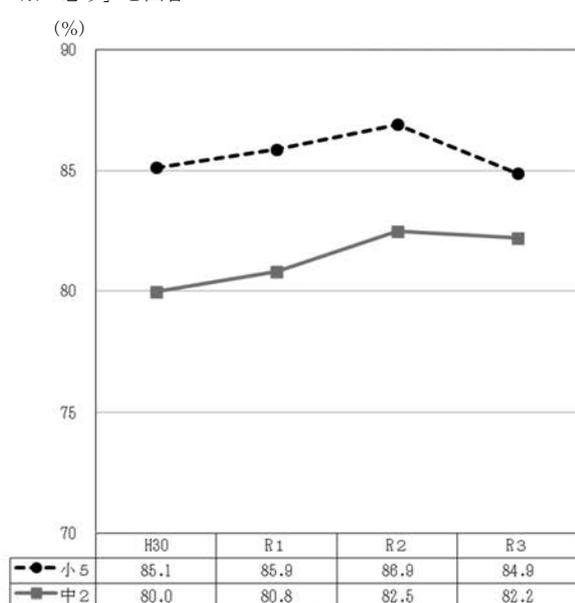


◇13 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。

【児童生徒質問紙】

■ 同学年児童生徒経年比較

※「思う」と回答

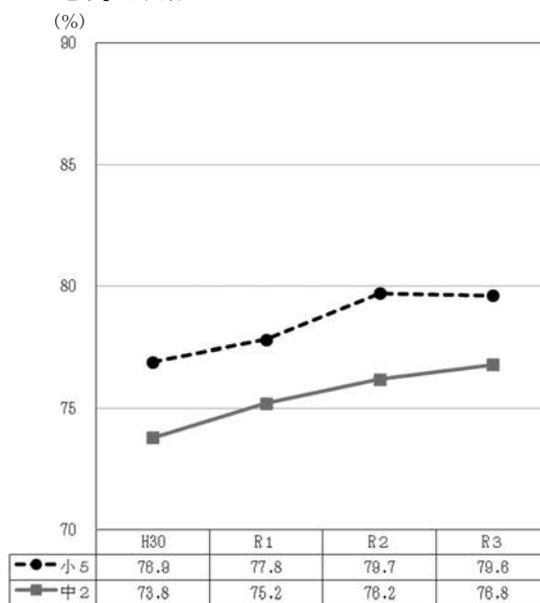


◇14 人の役に立つ人間になりたいと思いますか。

【児童生徒質問紙】

■ 同学年児童生徒経年比較

※「思う」と回答



Question
6
学校生活

「学校生活」に関わる質問紙調査結果については、どのような傾向が見られましたか。

Answer

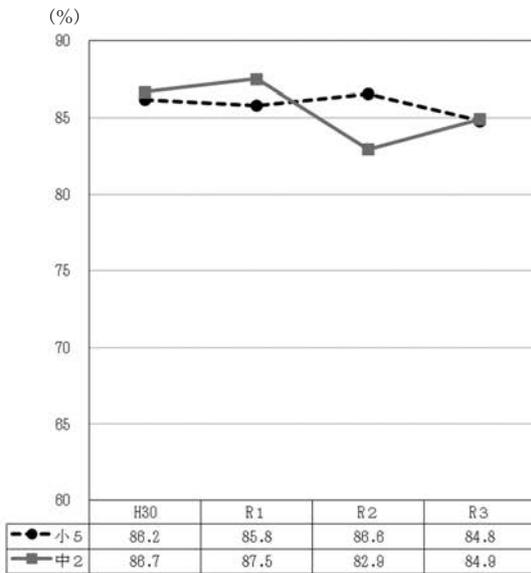
- 「50/51 学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある」と肯定的に回答した児童生徒の割合は、昨年度と比較して、小学校第5学年は減少している。中学校第2学年はR元年度からR2年度にかけて減少したが、R3年度は増加している。
- 「51/52 学級では、安心して自分の意見を言うことができる」と肯定的に回答した児童生徒の割合は、小学校第5学年はR2年度から減少し、中学校第2学年はR元年度から減少傾向にある。

◇50/51 学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか。

【児童生徒質問紙】

■同学年児童生徒経年比較

※「ある」+「どちらかといえばある」と回答

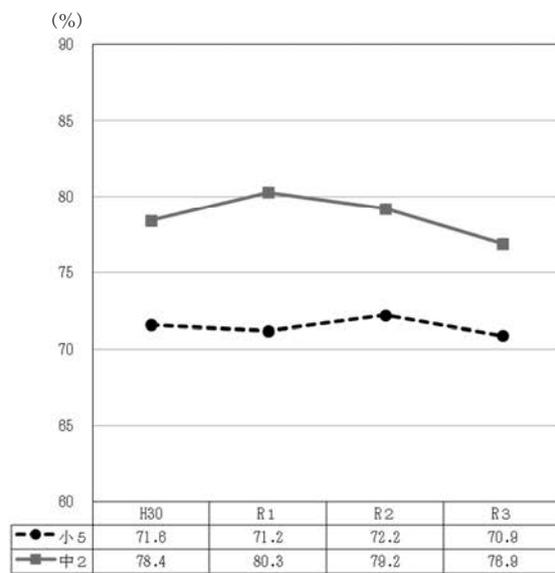


◇51/52 学級では、安心して自分の意見を言うことができますか。

【児童生徒質問紙】

■同学年児童生徒経年比較

※「できる」+「どちらかといえばできる」と回答



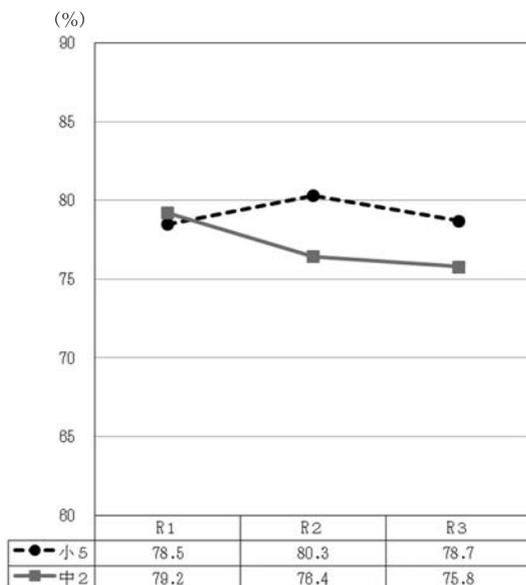
Close-up

◇49/50 学校に行くのは楽しいと思いませんか。

【児童生徒質問紙】

■同学年児童生徒経年比較

※「思う」+「どちらかといえば思う」と回答



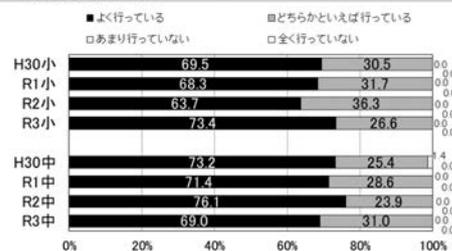
◆学級の支持的風土づくりを◆

「49/50 学校に行くのは楽しいと思う」と肯定的に回答した児童生徒の割合は、小学校第5学年・中学校第2学年ともに約80%に近いですが、中学校第2学年は調査を開始したR元年度以降減少傾向にあります。「51/52 学級では、安心して自分の意見を言うことができる」と回答した生徒がR2年度以降減少していることも気になることです。

学校質問紙「27 普段の授業で、児童生徒が安心して発言できる雰囲気づくりに取り組んでいますか」の質問に対して、約70%の小・中学校が「よく行っている」と回答しています。この結果から、普段の授業で学級の支持的風土づくりに取り組んでいる先生方の努力がうかがわれます。授業中だけでなく、休み時間等の日常の時間も児童生徒の様子にしっかり目を配ることが、安心して過ごせる学級の継続につながります。児童生徒に寄り添う気持ちを大切にして、どの児童生徒にとっても居心地がよい環境づくりに努めましょう。

◆27 普段の授業で、児童生徒が安心して発言できる雰囲気づくりに取り組んでいますか

【学校質問紙】



Question
7
家庭学習

「家庭学習」に関わる質問紙調査結果については、どのような傾向が見られましたか。

Answer

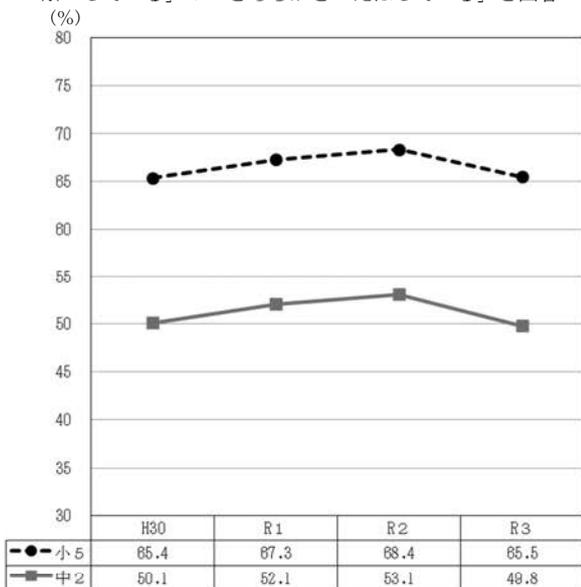
- ・「36/37 家で計画を立てて勉強している」と肯定的に回答した児童生徒の割合は、昨年度と比較して、小学校第5学年・中学校第2学年ともに減少している。
- ・「41/42 平日の学習時間」が「1時間以上」と回答した児童生徒の割合は、小学校第5学年は、H30年度から減少傾向にある。中学校第2学年は昨年度と比較して、減少している。

◇36/37 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。

【児童生徒質問紙】

■同学年児童生徒経年比較

※「している」+「どちらかといえばしている」と回答

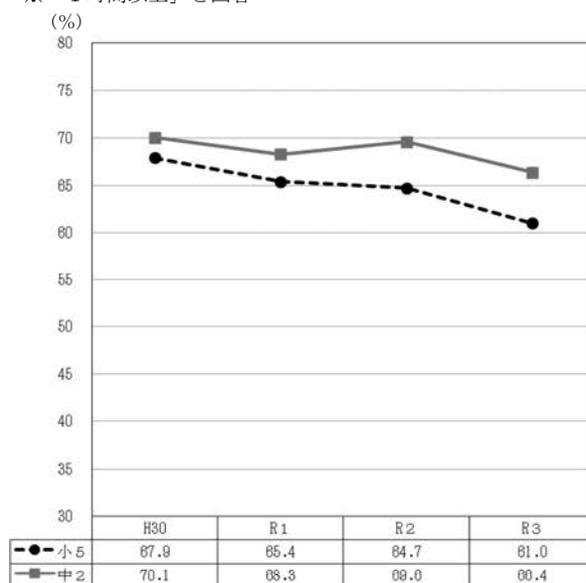


◇41/42 学校の授業以外に、普段（月～金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。

【児童生徒質問紙】

■同学年児童生徒経年比較

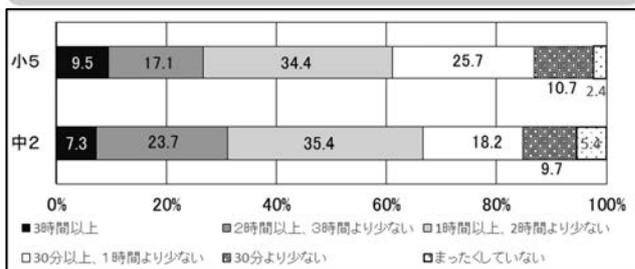
※「1時間以上」と回答



Column

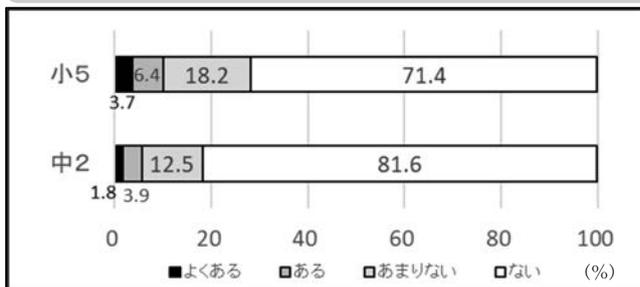
◇41/42 学校の授業以外に、普段（月～金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。

【児童生徒質問紙】



◇44/45 家で世話をしている家族がいて、勉強や遊びに時間がとれないなど、困っていることがありますか。

【児童生徒質問紙】



◆児童生徒の実態に応じた指導を◆

「41/42 1日あたりの勉強時間」について、「30分より少ない」「まったくしていない」と回答した小学校第5学年は13.1%、中学校第2学年が15.1%でした。勉強時間が少ないのは、ゲームやSNS、部活動等、様々な理由が考えられます。

今年度、新たな質問項目である「44/45 世話をしている家族がいて困っている」に対して「よくある」「ある」と回答した小学校第5学年は10.1%、中学校第2学年が5.7%でした。兄弟や家族の世話をすることは、家族の一員として大切なことですが、家庭の事情により過度な負担を強いられ、勉強に取り組めない場合も考えられます。日頃から児童生徒の家庭環境にも気を配り、必要に応じて関係機関とも連携しながら、実態に応じた指導の在り方を考えていきたいものです。

Question 8
メディアの利用

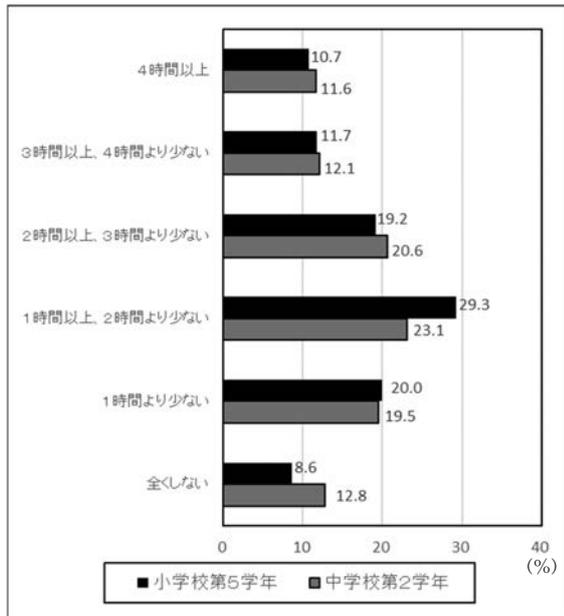
「メディアの利用」に関わる質問紙調査結果については、どのような傾向が見られましたか。

Answer

- ・「17 普段、1日当たりどれくらいの時間テレビゲームをしますか」について、小学校第5学年・中学校第2学年ともに「1時間以上、2時間より少ない」と回答した児童生徒の割合が最も多い。
- ・「18 普段、1日当たりどれくらいの時間インターネットをしますか」について、小学校第5学年・中学校第2学年ともに、「1時間より少ない」と回答した児童生徒が最も多い。

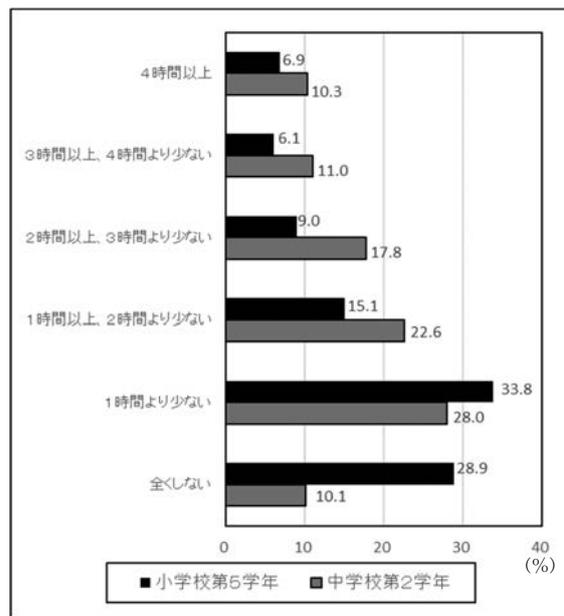
◇17 普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか。【児童生徒質問紙】

■同学年児童生徒経年比較



◇18 普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか。(携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く)【児童生徒質問紙】

■同学年児童生徒経年比較



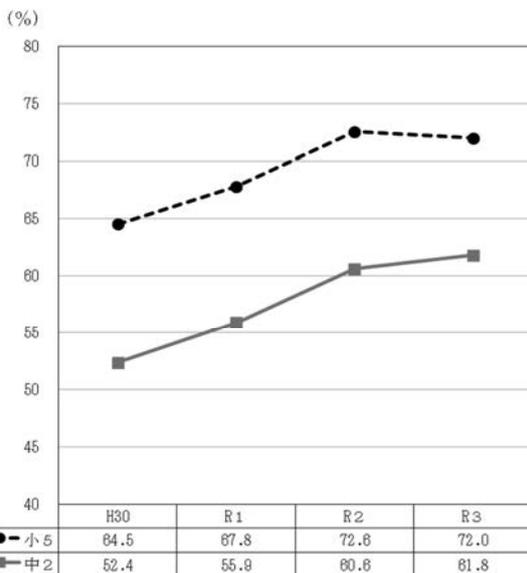
Close-up

◇19 携帯電話やスマートフォン、ゲーム機などを使う場合、家の人と決めた使用ルールを守っていますか。

【児童生徒質問紙】

■同学年児童生徒経年比較

※「守っている」+「どちらかといえば守っている」と回答

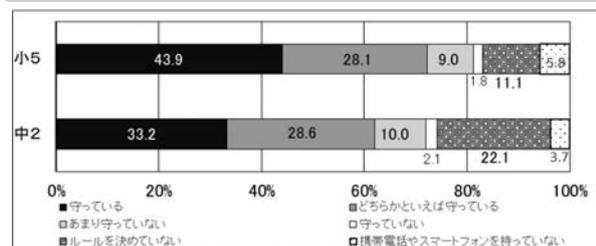


◆メディアと適切に付き合うために◆

「19 使用ルールを守っていますか」に対して、肯定的に回答した児童生徒の割合が、H30年から小学校第5学年、中学校第2学年ともに増加傾向にあります。しかし、一方で、質問17の「テレビゲーム」と質問18の「インターネット」の利用時間について、「4時間以上」「3時間以上、4時間より少ない」と回答した児童生徒は、「テレビゲーム」が小学校第5学年で22.4%、中学校第2学年で23.7%、「インターネット」が小学校第5学年で13.0%、中学校第2学年で21.3%となっています。

下のグラフのように、「携帯電話やスマートフォンなどを持っていない」と回答した児童生徒の割合が、小学校第5学年で5.8%、中学校第2学年で3.7%という実態もあります。今後、メディアと適切に付き合うために、ICT機器を「何のために」「どのように」使用するのかを子供自らが考え、自己管理していけるように、家庭と協力して支えていくことが求められます。

◇19 「携帯電話やスマートフォン、ゲーム機などを使う場合、家の人と決めた使用ルールを守っていますか。」の内訳



Ⅲ 教科に関する調査結果及び分析

国語

1 調査結果

[単位:%]

項 目		小学校 第5学年	中学校 第2学年
全 体		57.1	67.3
内容 1	知識・技能	53.6	66.8
	思考・判断・表現	60.0	67.7
内容 2	言葉の特徴や使い方に関する事項	53.6	70.1
	我が国の言語文化に関する事項		30.8
	話すこと・聞くこと	61.0	82.1
	書くこと	53.4	42.3
	読むこと	74.3	71.9

2 調査結果についての考察

(1) 全体的な傾向

- **各学年の平均正答率**を見ると、学習内容は、中学校は概ね定着しているが、小学校で課題が見られる。
- **内容1の平均正答率**を見ると、「知識・技能」について、小・中学校ともに課題がある。「思考・判断・表現」については、中学校は概ね定着しているが、小学校で60.0%と課題が見られる。
- **内容2の平均正答率**を見ると、「言葉の特徴や使い方に関する事項」は、中学校は概ね定着しているが、小学校で53.6%と課題が見られる。「我が国の言語文化に関する事項」については、中学校で30.8%と課題が見られ、全ての内容の中で最も低い正答率であった。「話すこと・聞くこと」については、中学校は概ね定着しているが、小学校で61.0%と課題が見られる。小学校は、令和元年度と比較して、平均正答率が低くなった。今年度から聞き取りではなく、会話文を読んで解答する問題であったことが結果に影響していると考えられる。「書くこと」については、小・中学校ともに課題がある。「読むこと」については、小・中学校ともに、概ね定着している。
- 「書くこと」については、目的や意図、条件に合わせて必要な情報を選ぶことに課題が見られる。
- 小学校において、「言葉の特徴や使い方に関する事項」については、前年度の学年までに学習した漢字を書くことに課題が見られる。中学校では、全体的には概ね定着しているものの、漢字を書く問題について無解答率が10.0%を超えており、漢字が定着していない生徒が一定数いることがうかがえる。
- 中学校において、「我が国の言語文化に関する事項」については、古文と現代語訳を照らし合わせ、会話文を理解することに課題が見られる。

(2) 今後、各学校に求められる取組

- 「書く力」を育成するために、書くことの意義や表現力の高まりを感じることができる指導を重ねる。読むことと関連させるなど、目的意識・相手意識を児童生徒自身もつことができる単元構成や言語活動の工夫も大切である。書く活動においては、思いを伝えるために、どんな言葉を使えばよいか、どんな理由や事例を取り上げればより論理的な構成になるかなど、各学年の指導事項を意識した授業づくりを行うことが大切である。今回、課題であった「目的や意図、条件に合わせて必要な情報を選ぶ」力を付けるためには、書く際に取り入れようとする情報が適切かどうか、目的や意図、条件に沿って具体的に確認する活動が必要である。書いた文章をお互いに読み合うなど、相互評価等も取り入れ、表現の工夫による伝わりやすさの違いなどを感じられるようにしたい。このような書く活動においては、情報整理、構成等の段階から、ICT 端末を効果的に活用することも考えられる。
- 前年度までに学習した漢字を書くことに課題が見られることから、豊かな語彙の習得のために、「言葉の特徴や使い方に関する事項」の学習を意図的に反復・継続することを心がけたい。さらに、語句指導の際は、辞書的な意味だけにとどまらず、文脈における意味を捉える学習活動を大切にし、話や文章の中で使うことができるように指導することも重要である。

(3) 具体的な解説

目的や意図に応じ、必要な内容を取り上げて書くことの定着状況を把握するための問題を出題した。

小学校第5学年 四(三)①

学習指導要領における内容〔第5学年及び第6学年〕
思考力・判断力・表現力等 B 書くこと ウ

(三) 山田さんは、【報告する文章】の「(2) ヘルメットの安全性」ということについて、の部分を書きくわえようとしています。そこで、以前メモしていた【交通安全教室で分かったこと】から取り入れてくわしく書くことにしました。に入る内容を、下の条件に合わせて書きましょう。
<条件> 【交通安全教室で分かったこと】から、必要な内容を選んで文章を書くこと。

【交通安全教室で分かったこと】

- 自転車に乗る時は、ヘルメットを正しく着用することが大切である。
- 自転車の事故が多く起きる場所は、交差点である。
- 自転車の点検や整備を行ってから自転車に乗る。
 - ・ブレーキはきくか。
 - ・ライトはつかか。
- 頭全体を保護できるように、頭の大きさに合ったヘルメットを選んだり、水平にかぶったりする。
- 「ながら運転」をしないなどの、自転車マナーを向上させる。

【分析と具体的な指導】

正答率は29.6%である。正答できなかった児童には「ヘルメットの安全性について書く」という目的を意識できていない児童や、目的は意識できているが、その目的に応じた内容を選択できない児童が多くいたことが考えられる。目的を意識させるためには、「書くこと」の言語活動の初めに、「誰に」「何を」「どんな文章で」伝えるのかを確認したり、それを視覚的支援で印象付けたりすることが重要である。また内容について吟味する際には、共通教材で、目的によって取り上げる内容が変わることを経験させたり、目的と内容の関係に着目して、友達とともに内容を見直したりするなど、書いた文章を目的に応じた内容に修正することが重要であることを実感できるようにしたい。また、目的と内容との関係が捉えやすいように ICT を活用したり、ワークシートを工夫したりすることも有効である。

問題番号		県反応率(%)	
四	(三)①	正答1	29.6
		誤答2	14.6
		誤答3	20.8
		その他	23.3
		無答	11.8

【正答条件】

「交通安全教室で分かったこと」から「自転車に乗る時は、ヘルメットを正しく着用することが大切である」「頭全体を保護できるように、頭の大きさに合ったヘルメットを選んだり、水平にかぶったりする」の2つの内容を取り上げて書いていけば可。

【解答類型】

- ①正答
- ②「自転車に乗る時は、ヘルメットを正しく着用することが大切である」の内容を取り上げていない。
- ③「頭全体を保護できるように、頭の大きさに合ったヘルメットを選んだり、水平にかぶったりする」の内容を取り上げていない。
- ⑧その他 ⑨無答

書くために集めた情報を読み取ることの定着状況を把握するための問題を出題した。

中学校第2学年 五(二)

学習指導要領における内容〔第2学年〕
思考力・判断力・表現力等 B 書くこと オ

問題番号		県反応率(%)	
五	(二)	正答	20.5
		その他	77.6
		無答	1.8

【分析と具体的な指導】

正答率は20.5%で、書くために集めた情報を読み取り、その工夫について理解することに課題がある。同様の課題は、令和3年度全国学力・学習状況調査でも見られた。

書かれた文章の工夫について捉える力を付けるためには、モデルとなる文章や実際に自分たちが書いた文章を読み、書き手の目的と意図を理解した上で、単なる印象ではなく、具体的な部分や事柄を取り上げる学習活動が大切である。本問題において、選択肢として取り上げられているものは全て、説明的な文章の工夫といえるものである。したがって、この選択肢の中から適切なものを選ぶには、書き手である小川さんの伝えたいことを捉えた上で、具体的にどの部分が対応しているのか押さえたり、対応していない点を見つけたりする必要がある。

授業においては、学んだ工夫を生かして実際に書く時間を設け、相互評価を取り入れて具体的な工夫とその効果について話し合ったり、修正して伝わりやすさを再確認したりするようにしたい。

(二) 【小川さんが書いている文章】で、小川さんほどのような工夫をしていると考えられますか。最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書きなさい。

ア 読み手がイメージしやすいように、香川県の地理や歴史についてもふれている。

イ 具体的な数字をいくつかあげて説明することで、文章に説得力をもたせている。

ウ 事実を並べるだけでなく、資料を根拠として、自分の思いや考えを述べている。

エ 対比したり時間経過に沿って説明したりして、わかりやすい構成にしている。

社会

1 調査結果

[単位:%]

項目		小学校 第5学年	中学校 第2学年
全体		73.0	66.8
内容1	知識・技能	73.8	65.8
	思考・判断・表現	71.3	68.8
内容2	地理的環境と人々の生活	74.7	
	現代社会の仕組みや働きと人々の生活	73.2	
	歴史と人々の生活	62.6	
	日本の地域構成		66.9
	世界と比べた日本の地域的特色		66.1
	世界の諸地域		72.7
	歴史のとらえ方		63.6
	中世の日本		59.5
近世の日本		65.5	

2 調査結果についての考察

(1) 全体的な傾向

- **各学年の平均正答率**を見ると、学習内容は、小・中学校ともに概ね定着している。
- **内容1の平均正答率**を見ると、「知識・技能」について、小学校で73.8%、中学校で65.8%と課題が見られる。「思考・判断・表現」については、小・中学校ともに概ね定着している。
- **内容2の平均正答率**を見ると、「歴史と人々の生活」について、小学校で62.6%、「歴史のとらえ方」について、中学校で63.6%、「中世の日本」について、中学校で59.5%と課題が見られる。
- 「知識・技能」について、例えば、小学校第5学年2(1)②や2(2)②、中学校第2学年1(6)のように、地図帳等を用いて世界の大陸と主な海洋及び我が国の国土を構成する主な島の名称を答える問題や位置関係、範囲を読み取る問題での正答率が低く、課題が見られる。「思考・判断・表現」について、例えば、中学校第2学年4(4)や6(7)のように、社会的事象の理由について、資料に基づいて短い文章で説明する問題での無解答率が高く、課題が見られる。

(2) 今後、各学校に求められる取組

- 「知識・技能」を身に付けるため、問題解決的な学習過程で、地図帳や地球儀、統計や年表等の基礎的資料を通して情報を適切に調べまとめる活動を充実させることが大切である。
 - ・ 地図の読図や作図、地球儀の活用、各種の統計グラフ、年表等の各種の基礎的資料を通して情報を適切に集めて、読み取る技能を身に付ける活動
 - ・ 関連する複数の情報を整理して、白地図や年表、図表等に効果的にまとめる活動
- 「思考・判断・表現」の力を育成するためには、学習過程において、単元等における学習問題を設定し、その問題解決に向けて諸資料や調査活動等で調べ、社会的事象の特色や相互の関連、意味を社会的事象の特色や相互の関連、意味について、学齢に応じて複数の立場や意見を踏まえて考えたり、多面的・多角的に考察したりする活動を充実させることが大切である。
 - ・ 社会的事象を比較・分類したり総合したり地域の人々や国民の生活と関連付けたりする活動
 - ・ 根拠や理由を明確にして、社会的事象について調べて理解したことや、それに対する自分の考えなどを論理的に説明する活動

(3) 具体的な解説

土地の特色を産業に生かすこととつなげて考えられるかを把握するための問題を出題した。

小学校第5学年 3(2) 学習指導要領における内容[第5学年] (1) イ (イ)

(2) 【資料1】(右図)のB, Cにあてはまる文章を, 次のア~エの中からそれぞれ選び, その記号を書きましょう。

- ア 平らな土地や豊富な水を生かした米づくりがさかんである
- イ さとうきびやパイナップルなどの果物の生産がさかんである
- ウ 雪を利用したイベントやスキーなどのスポーツなどにより, たくさんの観光客がおとずれている
- エ さんごしょうが広がる海など, 美しい自然を生かすことで, たくさんの観光客がおとずれている

問題番号		県反応率(%)		
3	(2)	正答	その他	無答
		61.1	38.3	0.6

【資料1】まささんのノート

見出し	低い土地	寒い土地
家の工夫	A 家では、水屋(水塔)をつくり、家財や財産を守る事ができるようになっている。	 空回りまどを二重にしたり新熱材を多く使ったりして室内の温度をにぎさないようになっている。
	D 水害を防ぐために、堤防や排水設備をつくっている。	雪で事故が起こらないように、人間の脚管車を使って、道路の雪を取り除く作業をしている。
農業に生かす	B	夏のすずしい気候を生かして、野菜づくりや乳牛を育てる価値がさかんである。
観光に生かす	川を利用したスポーツ大会を開いたり、レクリエーションをしたりして多くの人が集まっている。	C
まとめ	人々は、(E)に合わせて工夫したり、(E)を生かしたりしながら生活していることが分かりました。	

【分析と具体的な指導】

地形や気候等に注目して、国土の自然等の様子や自然条件から見て特色ある地域の人々の生活を捉えることができるかを問う問題である。正答率は61.1%であった。社会的事象の見方・考え方を働かせ、国土の自然等の様子や自然条件から見て特色ある地域の人々の生活について、自然環境と国民生活の関連を考える活動が大切となる。

指導に当たっては、例えば「低い土地で生活している人々は、どのような工夫をして生活しているのだろう」という学習課題を設定し、教科書や地図帳等を使って調べたり、調べた社会的事象を白地図や表等にまとめて表現したりする活動を展開することで、主体的に学習の問題を解決しようとする児童の姿が期待できる。

中世から近世にかけての東アジアの外交史について、正しく理解しているかを把握するための問題を出題した。

中学校第2学年 7(5) 学習指導要領における内容[歴史的分野]B 近世までの日本とアジア

(5) 次のア~エは、中世から近世にかけての外交について述べたものです。年代の古い順に並び替え、左から記号で書きなさい。

- ア 将軍の代がわりごとに朝鮮通信使と呼ばれた就任祝いの外交使節が日本を訪れた
- イ 日本に服属を求めたフビライの要求を拒むと、2度にわたり元軍の襲来を受けた
- ウ 倭寇と区別するために勘合という証明書を持ち、朝貢の形で明と貿易を行った
- エ 領土を広げようと東アジアの支配を目指して、2度にわたり朝鮮へ出兵した

問題番号		県反応率(%)		
7	(5)	正答	その他	無答
		31.2	66.1	2.7

【分析と具体的な指導】

日本と東アジアとの関係について、中世から近世にかけてどう変化してきたかを問う問題である。正答率は31.2%であった。これは、授業で学習した社会的事象を正しく理解できていなかったり、授業で身に付けた社会的諸事象を関連付けたりすることができなかつたりしたためと考えられる。授業等で扱う歴史に関わる諸事象の精選を図り、学習指導要領のねらいを踏まえて、諸事象を結ぶ問いを構成していくことが考えられる。

指導に当たっては、生徒が各時代の特色と歴史の大きな流れを多面的・多角的に考察し、表現することができるように授業の展開過程を体系的に組み立てることが大切となる。その一例として、「中世と比較して、近世ではどう変わったのだろうか」といった単元を貫く問い、「14世紀~15世紀頃の東アジア諸国の関係はどうなっているだろうか」といった一時間単位の学習課題、授業の一場面での「鎌倉幕府と元はどんな関係だったか」「朝鮮通信使とは何か」といった発問等、社会的事象の歴史的な見方・考え方に沿った課題(問い)をタイミングよく設定し、生徒に時代の特色と歴史の大きな流れを「東アジアでの外交」という面で考察・表現させる活動を行うことが考えられる。

算数・数学

1 調査結果

[単位：%]

項 目		小学校 第5学年	中学校 第2学年
全 体		66.8	66.2
内 容 1	知識・技能	67.4	72.5
	思考・判断・表現	65.1	46.8
内 容 2	数と計算/数と式	61.7	71.3
	図形	72.3	61.0
	変化と関係/関数	57.4	57.7
	データの活用	94.5	66.7

2 調査結果についての考察

(1) 全体的な傾向

- **各学年の平均正答率**を見ると、学習内容は、中学校は概ね定着しているが、小学校で課題が見られる。
- **内容1の平均正答率**を見ると、「知識・技能」について、小学校で67.4%、中学校で72.5%と概ね定着している。「思考・判断・表現」について、小学校で65.1%と概ね定着しているが、中学校では46.8%と課題が見られる。
- **内容2の平均正答率**を見ると、小学校の「変化と関係」で57.4%、中学校の「関数」で57.7%と課題が見られる。
- 小学校の「変化と関係」については、伴って変わる2つの数量を見いだして、それらの関係に着目し、表や式を用いて変化や対応の特徴を考察する力に課題が見られる。
- 中学校の「関数」については、二元一次方程式を、関数を表す式と見て、そのグラフを理解する力や、2つの数量の変化や関係から、関数関係を見いだす力に課題が見られる。

(2) 今後、各学校に求められる取組

- 次のような互いに自分の考えを表現し、伝え合うなどの学びの過程で「数学的な見方・考え方」を働かせながら、資質・能力の育成に努めたい。
 - ・実生活の問題場面を意図的に取り上げ、それを解決するために、問題場面の状況や数量の関係を言葉や式、線分図等に表す活動
 - ・言葉、数、式、図、表、グラフ等を用いて考えたり、相互を関連付けて説明したりする活動
 - ・不十分な表現や説明を補い、よりの確な表現に高めたり、誤答の理由を説明したりする活動
 - ・学んだことや自分の考え等を振り返ったり、新たな課題を見つけたりする活動
- 【ICT端末を使った活動例】
 - ・身の回りの数や図形に関わるものを撮影し、話し合う。
 - ・収集したデータを、表を用いて整理し、分類する。
 - ・データを目的に応じてグラフ化し、どのグラフが適切か検討する。
 - ・児童生徒が作った解答を一つの画面で共有し、同じ考えや違う考えについて書き込んだり、話し合ったりする。
- 「知識及び技能」の定着を図るためには、授業中や家庭学習において反復練習を行ったり、発展的・応用的な問題等に活用する機会を増やしたりするなど、習熟の機会を適宜設定することが必要である。

(3) 具体的な解説

2つの数量の関係を基に、長さを求めることができるかを把握するための問題を出題した。

小学校第5学年 11

学習指導要領における領域・内容〔第4学年〕C 変化と関係 (2)ア(ア)

11 赤いゴムと白いゴムは、右の表のように伸びます。もとの長さ比べてよく伸びるのはどちらのゴムかを考えます。次の2つの考え方で、(1)にあてはまる適切な数をかきましょ。また、もとの長さ比べてよく伸びる方に○をつけましょ。

	もとの長さ	伸ばしたときの最大の長さ
赤いゴム	40 cm	120 cm
白いゴム	80 cm	160 cm

もとの長さをそろえて比べる

赤いゴムと白いゴムのもとの長さを80 cmにそろえよう。すると、赤いゴムの伸ばしたときの最大の長さは(1) cmになるね。最大の長さの長い方が、よく伸びると言えるね。

割合で比べる

それぞれのゴムの伸びを割合で考えると、赤いゴム…伸ばしたときの最大の長さは、もとの長さの3倍
白いゴム…伸ばしたときの最大の長さは、もとの長さの2倍
割合の大きい方が、よく伸びると言えるね。



赤いゴム・白いゴムの方が、よく伸びるということだね。

【分析と具体的な指導】

本問題は、小学校4年生で学習した割合に関する問題であり、正答率は40.9%であった。解答類型の結果を見ると、120と誤答している児童が29.5%と多かった。これは、男の子の会話文の「もとの長さを80 cmにそろえよう。」の意味が十分理解できていなかったことが考えられる。大きさを比較する際には基準をそろえることが必要になる。本問題では、40 cmを80 cmにそろえる、つまり2倍することで基準量がそろえる。「どうしたら基準量がそろるか」という数学的な見方を持ち、その方法を考える数学的活動を授業で実現することが肝要と言える。

指導に当たっては、比べる際に必要な基準量、比較量に着目しやすくするために、問題としてある場面を図や絵で表すことが大切である。本

問題番号	解答類型	県反応率 (%)
11	正答	40.9
	120	29.5
	160	11.9
	その他	15.8
	無答	1.8

問題では赤いゴムや白いゴムをテープ図で表し、赤いゴムのもとの長さ(40 cm)を1としたときに、白いゴムのもとの長さ(80 cm)が図のどこにあたるかを話し合う活動が考えられる。このような活動を通して基準量をそろえるための方法を考える。また、図で表した関係を式で表したり、式に表した関係を図で表したり、図や式の意味を言葉で説明したりして、言葉と式や図を関連付けるような活動を取り入れることも重要である。このように、図や式から数量の関係の特徴を読み取って問題を解決していくことを通して、日常生活の中から割合の関係にある事柄を見つけ出そうとする態度を育成していきたい。

2つの数量の変化と対応から、関数関係を見いだすことができるかを把握するための問題を出題した。

中学校第2学年 7

学習指導要領における領域・内容〔第2学年〕C 関数 (1)イ(ア)

7 花子さんと太郎さんは、お互いに数学の問題を出し合いながら勉強しています。花子さんは、次のような問題をつくりました。

花子さんがつくった問題

xの値に対応するyの値は、次の表のようになります。このとき、x=4のときのyの値を求めなさい。

x	...	2	3	4	...
y	...	6	4

次の(1)、(2)の問いに答えなさい。

(1) 太郎さんは、花子さんがつくった問題について、yはxの一次関数であると考えました。yがxの一次関数であるとするとき、x=4のときのyの値を求めなさい。

(2) 花子さんと太郎さんは、花子さんがつくった問題について話し合っています。

太郎さん「僕は、一次関数と考えてこの問題を解いたよ。」
花子さん「私は、一次関数ではない別の関数のつもりでこの問題をつくったんだよ。」
太郎さん「それなら、yはxに(1)していると考えると、x=4のとき、y=(2)になるね。」

上の(1)に当てはまる言葉と(2)に当てはまる数について、正しい組み合わせを下のア～エの中から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア ①…比例 ②…3
- イ ①…比例 ②…2
- ウ ①…反比例 ②…3
- エ ①…反比例 ②…2

問題番号	(1)		(2)	
	解答類型	県反応率 (%)	解答類型	県反応率 (%)
10	正答	71.4	正答	33.7
	イを解答		イを解答	25.6
	その他	24.6	その他	39.4
	無答	4.1	無答	1.3

【分析と具体的な指導】

(1)は平成28年度の全国学力・学習状況調査数学B2(1)と同様の問いであり、その正答率は59.8%であったが、本調査では71.4%と改善が見られたことから、本県の先生方の努力がうかがわれる。与えられた条件を基に数量の関係を的確に捉えることについては、概ね定着している。(2)は条件が不足している場面で、加えるべき条件を判断して数学化し、数量関係を捉えることができるかをみる問題で、正答率は33.7%であり、課題が見られる。解答類型イの反応率が25.6%、その他の反応率が39.4%であり、変化が一定であると思いこんだり、直観的に判断したりしていると考えられ、2つの数量の変化と対応の特徴を生徒が自ら数学化して関数関係を見いだすことに課題がうかがえる。

本問題を使って授業を行う際には、一次関数、反比例という前提となる条件を変えて数学化することによって、yの値が異なることを確認する場面を設定することが考えられる。また、比例という条件は、花子さんが作った問題に適していないことを説明できるようにすることも大切である。

さらに、日常的な事象における、伴って変わる2つの数量について、観察や操作、実験等の活動から得られたデータを、表を用いて表現し、前提条件を加えて数学化させ関数関係を考察していくような、生活から数学化する一連の数学的活動を授業で実現することも大切である。

理科

1 調査結果

[単位：％]

項目		小学校 第5学年	中学校 第2学年
全体		67.3	56.7
内容1	知識・技能	68.1	59.8
	思考・判断・表現	66.1	53.1
内容2	「エネルギー」を柱とした内容	52.4	48.8
	「粒子」を柱とした内容	68.1	59.8
	「生命」を柱とした内容	73.5	62.6
	「地球」を柱とした内容	66.5	49.0
	実験器具の扱い方に関わる内容	62.0	67.1

2 調査結果についての考察

(1) 全体的な傾向

- **各学年の平均正答率**を見ると、学習内容は、小・中学校ともに、課題が見られる。
- **内容1の平均正答率**を見ると、「知識・技能」について、小学校で68.1%、中学校で59.8%と課題が見られる。「思考・判断・表現」については、小学校は66.1%と概ね定着しているが、中学校で53.1%と課題が見られる。
- **内容2の平均正答率**を見ると、「エネルギー」を柱とした内容について、小学校で52.4%、中学校で48.8%、「粒子」を柱とした内容について、小学校で68.1%、中学校で59.8%、「生命」を柱とした内容について、中学校で62.6%、「地球」を柱とした内容について、小学校で66.5%、中学校で49.0%、実験器具の扱い方に関わる内容について、小学校で62.0%と課題が見られる。
- 「知識・技能」について、例えば、小学校では、「並列つなぎ」等の基本的な用語や「顕微鏡の操作方法」等の基本的な技能を答える問題の正答率が低くなっている。また、中学校では、化学変化後にできた物質を問う問題や音を伝えるものを問う問題の正答率が低くなっており、小・中学校ともに学習内容の定着に課題が見られる。

(2) 今後、各学校に求められる取組

- 「思考力、判断力、表現力等」を育成するためには、以下のような視点で授業改善を図り、自然の事物・事象の中に問題を見だし、見通しをもって観察・実験などを行い、得られた結果を分析して解釈するなどの活動を行うことが大切である。
 - ・ **児童生徒の学習意欲を高める課題設定の工夫**

児童生徒が驚きや不思議さを感じることができる具体的な働きかけをすることで、自然の事物・事象から、児童生徒が主体となって疑問を見いだす。見いだした疑問から、検証（観察、実験）できる学習課題を設定し、見通しをもって課題解決に取り組めるようにする。
 - ・ **考えを広げ深める協働的な学びの工夫**

生活経験や既習の知識を基に根拠をもって予想や仮説を立てる、予想や仮説を検証するための観察・実験方法を計画する、予想と結果をつないで結論や考察を導き出し、分かりやすく相手に説明するなど、考えを広げ深める場面を設定する。個人で考えた後、意見交換したり、科学的な根拠を基に議論したりして、自分の考えをより妥当なものにする学習を展開する。
 - ・ **学んだ知識を活用し、振り返る活動の充実**

学習活動を振り返り、新たな疑問から課題を設定する。また、獲得した知識・技能を活用させたり、日常生活や社会との関連について考えさせたりして、理科を学ぶ意義や有用性を実感させるようにする。

(3) 具体的な解説

乾電池のつなぎ方を変えるとモーターの回り方が変わるという知識・技能を把握するための問題を出題した。

小学校第5学年 2(2)(3)

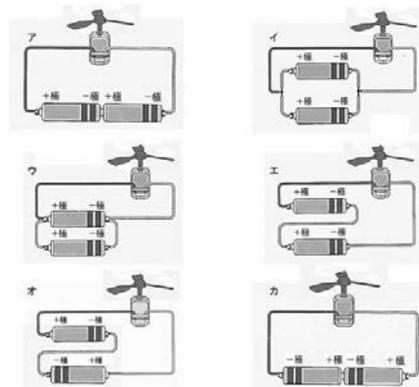
学習指導要領における内容〔第4学年〕A物質とエネルギー(3)ア

- (2) プロペラの回転の速さが、図1のように、かん電池1個のときとほとんど変わらないのは、上のア～カのうちどれでしょう。当てはまるものをすべて選び、その記号を書きましょう。
- (3) (2) のようなかん電池のつなぎ方を何といいますか。

問題番号		県反応率(%)			
2	(2)	正答	類型2	その他	無答
		24.3	34.0	40.5	1.2
(3)	正答	その他	無答		
		37.7	53.0	9.2	



図1



【分析と具体的な指導】

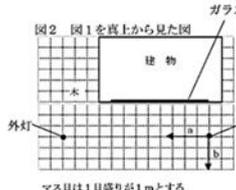
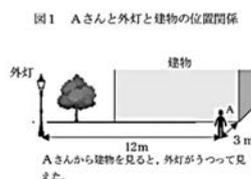
本問題は、小学校第4学年で学習した「電流の働き」を扱ったものである。本問題の正答は(2)イとウ、(3)並列つなぎであり、正答率は(2)24.3%(3)37.7%であった。(2)の解答類型の結果を見ると、イのみを解答している児童が34.0%であった。これは、一般的な並列つなぎであるイのみがプロペラの回転の速さが乾電池1個の時と同じだと理解している児童が多いことを示している。また、教科書にはウのつなぎ方も紹介されているにもかかわらず、「並列つなぎ」という用語も含めて十分理解されていないことが分かる。これは実験を行った際、乾電池2個のつなぎ方についてきちんとまとめがされていないことに課題があると推察される。さらに、ウのつなぎ方は実験の際に行っているが、図に描いて出題されると、同じつなぎ方だと理解できる児童が少ないことも考えられる。

指導に当たっては、単に実験で多様なつなぎ方を試行するだけでなく、試行したつなぎ方をプロペラの回転の速さと関係付けてグループ分けするなどの活動が必要だと考える。さらに試行したつなぎ方を図に描くなどして、具体的な操作を抽象化して考え、表現することも重要だと考える。

ガラスに反射して見える像について、光の反射の規則性の知識・技能を活用できるかを把握するための問題を出題した

中学校第2学年 5(2)(3)

学習指導要領における内容〔第1学年〕第1分野(1)身近な物理現象(ア)



- (2) Aさんが、ガラスの壁にうつった外灯を見ているとき、外灯からAさんに届くまでの光の道すじを、解答らんりに矢印でかきなさい。
- (3) 図2で、Aさんがaの向きにまっすぐ移動すると、ガラスの壁にうつった外灯は、はじめに見えていた位置と比べてどのように見えますか。次のア～エの中から1つ選び、その記号を書きなさい。
- ア はじめの位置より左側に見える
イ はじめの位置より右側に見える
ウ 初めの位置と変わらない

【分析と具体的な指導】

本問題では、「見る位置を変えると、ガラスに映る像の位置が変化して見えるのはなぜか」について、既存の知識を使って説明する力を必要とする。正答率は(2)36.7%、(3)47.8%であり、ガラスに映る像が見えるしくみについて、作図し、説明する力に課題が見られる。本問題の課題を解決するためには、単元全体を通して身近な現象から生徒が問題を見だし、自ら進んで探究する活動を行い、規則性を見いだしたり、課題を解決したりするように方向付けることが大切である。

指導に当たっては、次のような学習活動が考えられる。

1 身近な現象から生徒が疑問をもち、問題を見いだして課題を設定する。

見る位置を変えると鏡に映る像の位置が変化したり見えなくなったりする現象から、生徒が光の進み方に疑問をもち、問題を見いだすようにして、単元を通して追究する課題「見る位置を変えると、ガラスに映る像の位置が変化して見えるのはなぜか」を設定する。そして、変化すること(見る位置)と変化の原因として考えられる要因(光の道筋、反射する角度)を整理し、解決の見通しをもつ。

2 習得した知識及び技能を活用して、見る位置を変えたときの光の道筋について考える。

設定した課題を基に、まず光が鏡で反射するときの光の道筋についてその規則性を見だし、理解する。そして、見る位置を変えるとガラスに映る像の位置が変化して見える理由について、見る位置を変える前と変えた後の光の道筋を図で表すことで考える。つまづいている生徒には既習事項のカードを配布するなどの支援を行い、習得した知識及び技能と関連付けて考えさせるようにする。また、自分の考えを説明する場面では、個々の考えやよい点を尊重しながら交流させ、自分の考えをより妥当なものにしていく。

このように、問題を見だし、学んだことを活用して課題を解決する経験を重ねることで、科学的に探究する力の育成を図ることができるとともに、生徒が学びの達成感を味わえるようになることを考える。

英語

1 調査結果

[単位：％]

項 目		中学校 第2学年
全 体		60.4
内 容 1	知識・技能	66.1
	思考・判断・表現	50.9
内 容 2	聞くこと	70.1
	読むこと	56.0
	書くこと	56.0

2 調査結果についての考察

(1) 全体的な傾向

- **平均正答率**を見ると、学習内容は、60.4％と課題が見られる。
- **内容1の平均正答率**を見ると、「知識・技能」については、66.1％と課題が見られる。「思考・判断・表現」についても、50.9％と課題が見られる。
- **内容2の平均正答率**を見ると、「聞くこと」については、70.1％と概ね定着している。「読むこと」と「書くこと」については、56.0％と課題が見られる。
- 「知識・技能」を問う問題に対して、「思考・判断・表現」を問う問題の平均正答率が大変低い結果となった。読解した後、それに対して自分の意見などを表現するという問題の平均正答率が極端に低く、これらの問題に慣れていないことも、原因の一つと考えられる。

(2) 今後、各学校に求められる取組

- 言語活動の充実に向けて
 - ・生徒にとって、身近で具体的な場面設定の中で、「誰に」、「何のために」という「相手意識」や「目的意識」をもって、質問したり答えたりする必然性のある活動を心がける。
 - ・生徒が、友達との関わりを大切にしながら、自己理解・他者理解を深め、コミュニケーションの楽しさを実感できる活動を心がける。
 - ・情報を整理しながら、表現したいことを形成し、英語で表現するといった「思考力・判断力・表現力等」が活用される活動を心がける。
 - ・日頃の指導場面において、何を、いつまでにできるようになるか、そのためにどのような指導や評価を行うのかを意識できるように、年間を見通して、学習到達目標や単元計画を継続的に立てるようにする。
- 5領域を意識しながら、言語活動をバランスよく、計画的・系統的に行う具体例
 - ・話題となる内容を聞いたり読んだりして理解し、それを基に思考・判断したことについて話したり書いたりするなど、「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」を関連させた活動
 - ・多様な表現のインプットとアウトプットを繰り返すとともに、相手からの質問に対し、その場で適切に応答したり質問に答えたりするなどの「聞く」「話す」活動
 - ・単元、学年等を超えて習得すべき語彙を繰り返し活用することで定着を図り、それを基に、互いの考えや気持ちを伝え合う活動
 - ・未習語の意味や発音を指導したり、文法等を説明したりする活動に過度に時間を取られるのではなく、筆者の思いや題材が発するメッセージ等、意味内容を理解しながら読む活動
 - ・どのような単語を使えばよいか、どのような文構造にすればよいかなど、必要に応じて教科書や辞書、ICT 機器等を活用しながら、身近な話題について英語で表現する活動

(3) 具体的な解説

場面に応じて、特定の言語材料を正しく並べかえられるかを把握するための問題を出題した。

中学校第2学年 7(4)

次の(1)～(4)のような場面では、英語でどのように言いますか。それぞれ()内の語を並べかえて適切な英文を書きなさい。ただし、文頭にくる語も小文字で示しています。

学習指導要領における内容
【知識及び技能】
(1)英語の特徴やきまりに関する事項
エ 文、文構造及び文法事項

問題番号		県反応率(%)	
7	(4)	正答	11.5
		誤答	83.9
		無答	4.6

(4) 学校の印象を聞かれて、この学校の生徒はとても親切だと伝えたいとき
(the, in, students, are, school, this) very nice.

【分析と具体的な指導】

本問題は、場面に応じて、与えられた言語材料を正しく並べかえられるかが問われており、正答率は11.5%であった。名詞(The students)を後ろから修飾する(in this school)という文の構造を十分把握できていないことがうかがえる。この前置詞を用いた「後置修飾」は今後、to不定詞、現在分詞や過去分詞、関係代名詞等の表現につながる、文の構造上、基本的かつ重要なものである。

令和元年度の学習状況調査でも、“The trees in this park are very old.”という文で、“The～are”までの語句を並べかえる問題を出題し、正答率は16.8%であったので課題は依然として残されたままである。

指導に当たっては、“people in Kagawa”、“books on the desk”、“plans during winter vacation”など、前置詞を用いた「後置修飾」の英文を意識して聞かせたり書かせたりして、理解の促進を図りたい。

対話の要点を捉え、目的や場面、状況に応じて、相手に伝える文が書けるかを把握するための問題を出題した。

中学校第2学年 8

ユウヤ(Yuya)の家にヘンリー(Henry)がホームステイをしています。次の対話は、ヘンリーのお兄さんであるトム(Tom)がアメリカから電話をかけてきた時のものです。その対話を読んで、下の問いに答えなさい。

学習指導要領における内容
【思考力、判断力、表現力等】
(3)言語活動及び言語の働きに関する事項
カ 書くこと

問題番号		県反応率(%)	
8		完答：3つの情報	37.6
		2つの情報	12.9
		1つの情報	8.2
		その他	18.6
		無答	22.7

Yuya : *Moshi moshi.*

Tom : Hello? This is Tom, Henry's brother. May I speak to Henry, please?

Yuya : Oh, hello, Tom. This is Yuya. I'm sorry, but he is out now.

Tom : O.K. Yuya, I'm going to visit Japan and see you and Henry.

Yuya : That's nice. When will you come?

Tom : On November 19.

Yuya : Good. How long are you going to stay?

Tom : For five days.

Yuya : I see.

Tom : I'm looking forward to seeing you. Bye, Yuya.

Yuya : Bye, Tom.

※ stay 滞在する look forward to ～を楽しみに待つ

問い ユウヤがヘンリーにこの電話の内容を伝言に残そうとしています。トムの話した内容が伝わるように、以下の伝言メモに**英文**を書いて完成させなさい。すでにメモにある文は書いているものとし、それに続く文となるように書きなさい。英文は何文書いてもかまいません。

To Henry,
Your brother Tom called you. ※ called ～に電話した

【分析と具体的な指導】

本問題は、電話での対話の要点を捉え、メモとして相手に伝えることができるかが問われており、正答率は37.6%であった。正答として求められる「来日する予定：visit Japan」、「その日付：on November 19」、「滞在期間：for five days」の3つの情報は問題文に記されているが、1つの情報さえ解答できなかった生徒は40%を超え、無解答率も22.7%と英語の全問題の中で最も高い割合であった。対話の内容を読み取った上で、情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現するという「思考力・判断力・表現力等」の活用が試されるこのような問題への対策が、今後ますます求められる。

指導に当たっては、教科書や初見の副教材等を用いて、ある程度の長さのある文章を、キーワードを拾いながら要約するような活動を積極的に取り入れることが効果的だと思われる。さらに、その要約の最後に感想も付けて書くことを継続していくことで、様々な問題に対して自分の意見を口頭で述べる力を高めるとともに、中学3年生での幅広いコミュニケーションを図ることにつながると思われる。

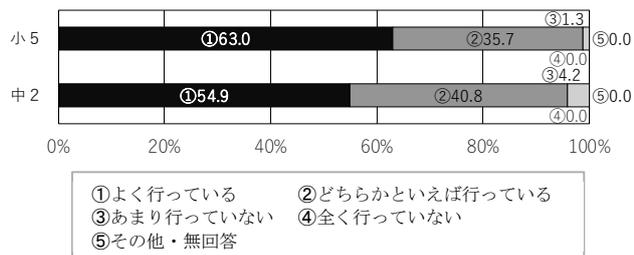
「学びの質」を高めるアプローチ

能動的に学び続けることができる学習者を育成するために

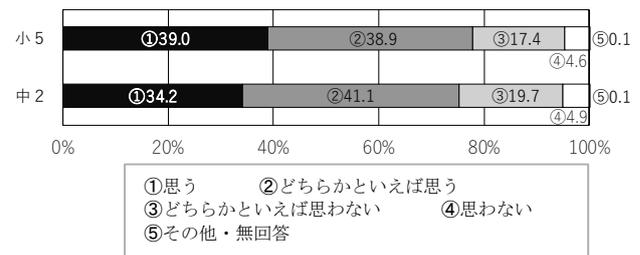
生涯にわたって能動的に学び続けることができるようにするために、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進することが求められています。特に主体的な学びとの関係からは、児童生徒が学びに対して興味・関心をもつことや、見通しをもって粘り強く取り組むこと、自己の学習活動を振り返って次につなげることなどが重要になります。今回は、その中でも、「振り返り」に焦点を当てて考えてみましょう。

【振り返りの取組状況】

◆24 授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れていますか。【学校質問紙】



◇31 授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていると思いますか。【児童生徒質問紙】



◆24の質問に対して、肯定的に回答した学校の割合は、小・中ともに95%を超えており、各校で「振り返り」がよく行われていることがわかります。◇31の児童生徒の回答からも、その傾向がうかがえますが、否定的な回答が約25%となっており、児童生徒にとって意味のある「振り返り」にしていくことが求められます。

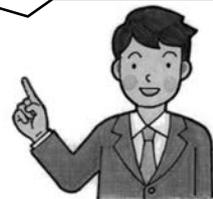
児童生徒が生涯にわたって能動的に学び続ける力を付けるには、学習者主体の授業づくりを大切にしなければなりません。そして、学習者主体の学びを保障するには、学習者自身が、何をどのように学び、その学びにどのような意味があるのかを捉えている必要があります。この役割を果たすのが、「振り返り」です。



何について振り返らせたらいいの？

- 学習内容
何が分かった(分からない)のか、
何ができるようになった(できない)のか
- 学習過程
何に着目し、どのように考えたのか
誰と交流し、どのような視点や方法を得たのか
- 自己の変容・課題の発見
自己の成長に何が必要なのか
次にどのような学びに挑戦したいのか

左に示すような視点から振り返りましょう。



しかし、全ての視点を意識しながら学習に臨むことは難しいかもしれません。振り返る機会や、視点を少しずつ増やしていくことが大切です。そのためにも、教科や学年の枠を越えて、計画的に実施していきましょう。児童生徒が視点をもてないうちは、教師が視点を示したり、振り返りの視点を入れたワークシートなどを活用したりすることも効果的です。

学習指導要領で、「主体的な学び」については、「学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しをもって粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる」とあります。各学校においては、児童生徒が振り返りの視点をもてるよう指導していくとともに、児童生徒が自分の生き方を考え、前向きに振り返り、他者と関わりながら学ぶことができる力を付けていくことが大切です。

IV 質問紙調査結果（児童生徒質問紙・学校質問紙）

1 児童生徒質問紙調査結果

(1) 質問内容一覧及び児童生徒質問紙と教科における正答率の相関について

児童生徒質問紙調査は、児童生徒の考えや思いを把握し、教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを目的とし、質問項目は全国学力・学習状況調査や県教育基本計画との関連を考慮して設定している。

児童生徒質問紙 質問項目		全国 関連	基本 計画 指標	掲載 ページ
小5	中2			
■1 生活について				
1	1	朝食を毎日食べていますか。	1	41
2	2	家の人(兄弟姉妹はふくみません。)と学校でのできごとについて話をしていますか。	-	41
3	3	家の手伝いをしていますか。	-	42
■2 自分自身について				
4	4	ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがありますか。	-	42
5	5	むずかしいことでも、失敗をおそれないで挑戦していますか。	9	43
6	6	自分には、よいところがあると思いますか。	6	● 43
7	7	将来の夢や目標を持っていますか。	7	44
■3 社会性・道徳性について				
8	8	学校のきまりを守っていますか。	-	44
9	9	係や委員の仕事など、自分の役割をきちんと果たしていますか。	-	45
10	10	人が困っているときは、進んで助けていますか。	10	45
11	11	近所の人に会ったときは、あいさつをしていますか。	-	46
12	12	人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか。	-	● 46
13	13	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	11	● 47
14	14	人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	12	47
■4 社会への関心について				
15	15	新聞やテレビのニュースなどに関心がありますか。	(23)	48
16	16	今住んでいる地域(香川県)の歴史や自然、産業について関心がありますか。	(24 25)	● 48
■5 メディア(テレビゲーム、パソコン、携帯電話など)の利用について				
17	17	普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか。	5	49
18	18	普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか。(携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く)	29	49
19	19	携帯電話やスマートフォン、ゲーム機などを使う場合、家の人と決めた使用ルールを守っていますか。	(4)	● 50
20	20	普段(月～金曜日)、1日にどれくらいの時間、睡眠をとることが最も多いですか。	-	50
■6 勉強・授業について				
21	21	友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか。	36	51
22	22	授業では、ノートをていねいに書いていますか。	(59)	51
23	23	勉強は好きですか。	(43 52 61)	52
24	24	私語なく先生や友達の話をしっかり聞くなど、集中して授業を受けていますか。	-	52
25	25	授業は楽しいと思いますか。	-	53
26	26	授業の内容がどの程度分かりますか。	(45 54)	● 53
27	27	分からない問題があるとき、見方や考え方を変えながら、あきらめずに取り組んでいますか。	(57)	54
28	28	分からないところは先生や友達に質問して解決していますか。	(48)	54
29	29	授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立て、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して発表する学習活動に取り組んでいますか。	(39)	55
30	30	授業の中で、目標(めあて・ねらい)が示されていると思いますか。	-	55
31	31	授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていると思いますか。	(38)	56
32	32	普通の授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていると思いますか。	-	56
33	33	普通の授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていると思いますか。	-	57
34	34	授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していますか。	32	57
35	35	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを広げたり、深めたりすることができていますか。	37	58
36	36	英語の授業では、生徒同士で英語で問答したり意見を述べたりする活動が行われていたと思いますか。	(62)	● 58
■7 家庭学習について				
36	37	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。	17	59
37	38	家で学校の宿題をしていますか。	-	59
38	39	家で学校の授業の予習をしていますか。	-	60
39	40	家で学校の授業の復習をしていますか。	-	60
40	41	テストで間違えた問題について、間違えたところを後で勉強していますか。	-	61
41	42	学校の授業以外に、普段(月～金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。(宿題や学習塾や家庭教師の時間もふくみます。)	18	61
42	43	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。(宿題や学習塾や家庭教師の時間もふくみます。)	19	62
■8 家庭環境について				
43	44	あなたは家で、日常的に家族の誰か(父母、祖父母、姉妹兄弟等)の世話をしていますか。	-	62
44	45	家で世話をしている家族がいて、勉強や遊びに時間がとれないなど、困っていることがありますか。	-	63
45	46	悩みや困ったことがあったとき、たれかに相談していますか。	-	63
■9 読書について				
46	47	読書は好きですか。	-	● 64
47	48	本(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)を読んだり借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか。	-	● 64
48	49	学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日にどれくらいの時間、読書をしますか。	21	65
■10 学校生活について				
49	50	学校に行くのは楽しいと思いますか。	13	● 65
50	51	学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか。	-	66
51	52	学級では、安心して自分の意見を言うことができますか。	-	66

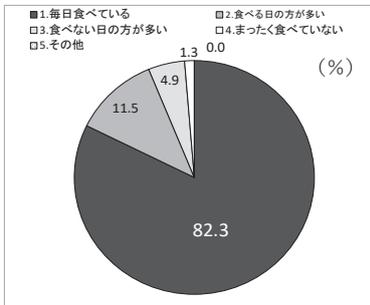
※全国学力・学習状況調査と同一の質問項目については、質問番号(全国報告書参照)を、類似の質問項目については共通番号に()を付けて、全国関連の欄に表記している。

(2) 令和3年度調査結果

1 生活について

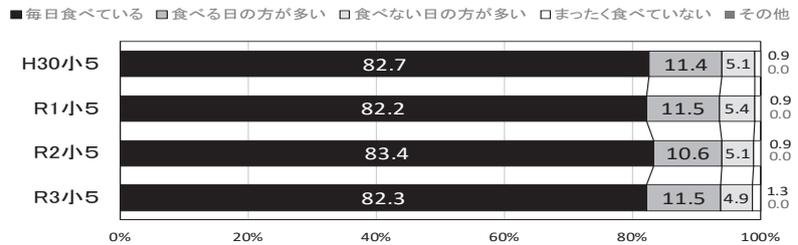
1/1 朝食を毎日食べていますか。

R3年度調査結果

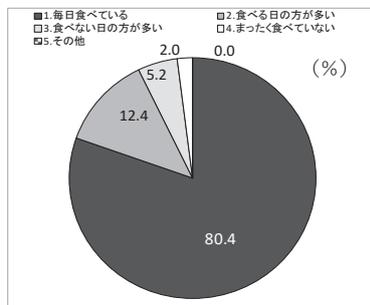


小学校 第5学年

同学年経年比較

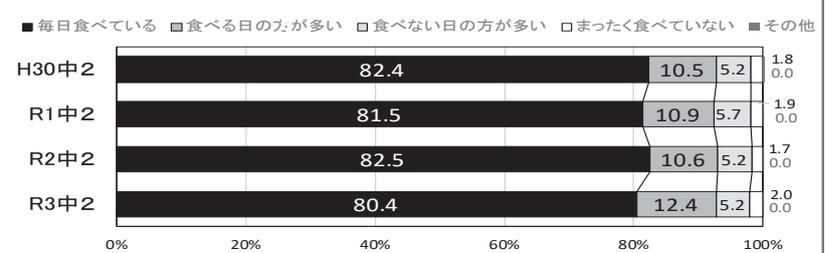


R3年度調査結果



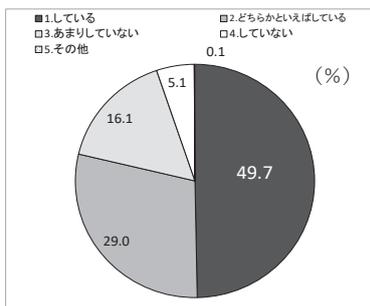
中学校 第2学年

同学年経年比較



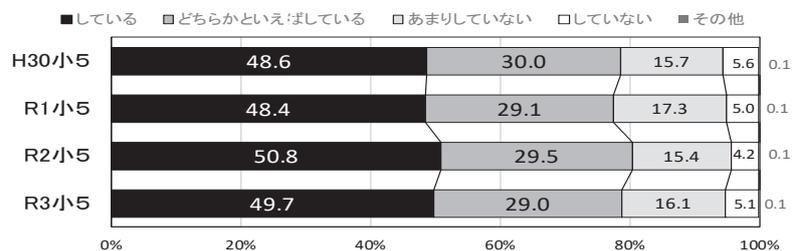
2/2 家の人（兄弟姉妹はふくみません。）と学校でのできごとについて話をしていますか。

R3年度調査結果

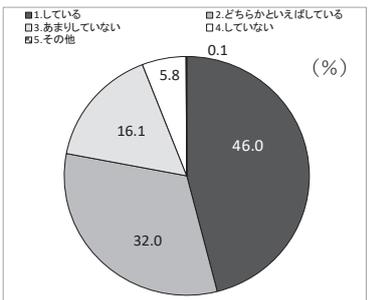


小学校 第5学年

同学年経年比較

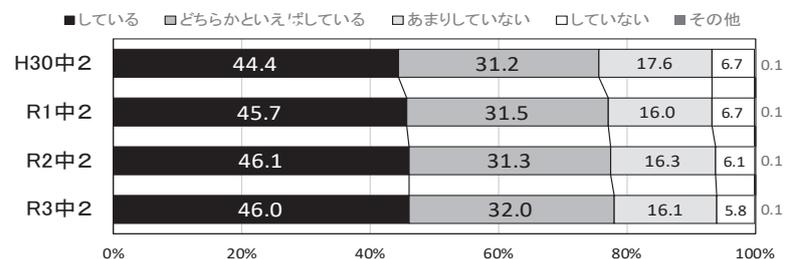


R3年度調査結果



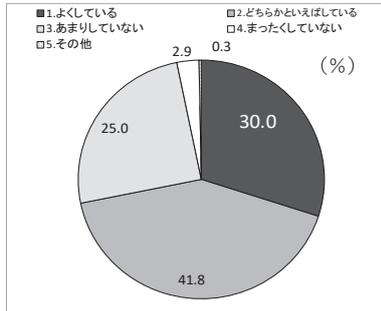
中学校 第2学年

同学年経年比較



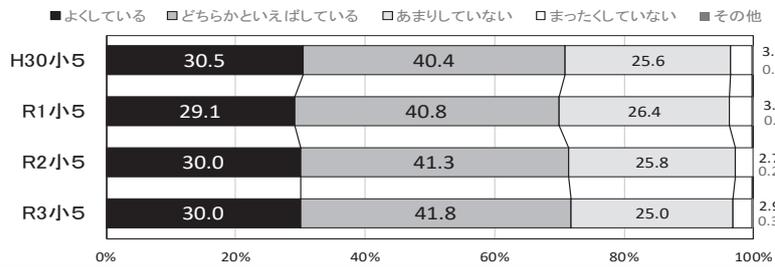
3/3 家の手伝いをしていますか。

R3年度調査結果

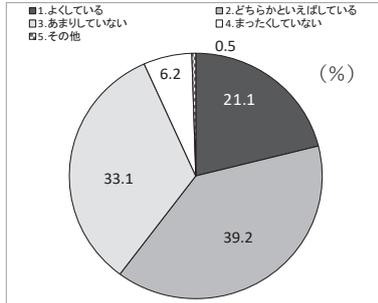


小学校 第5学年

同学年経年比較

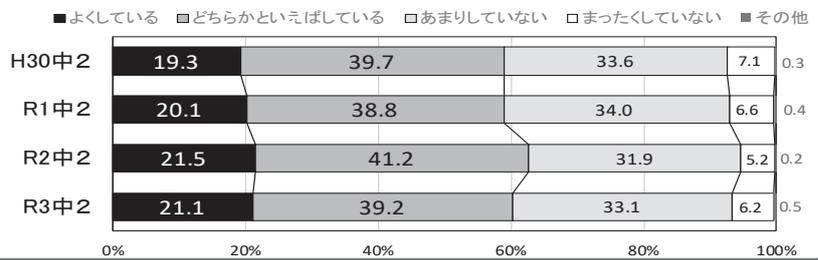


R3年度調査結果



中学校 第2学年

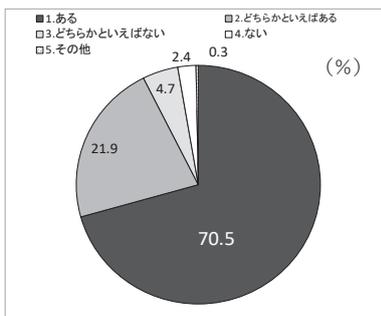
同学年経年比較



2 自分自身について

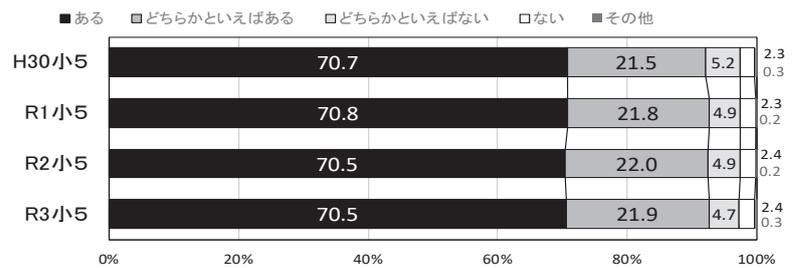
4/4 ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがありますか。

R3年度調査結果

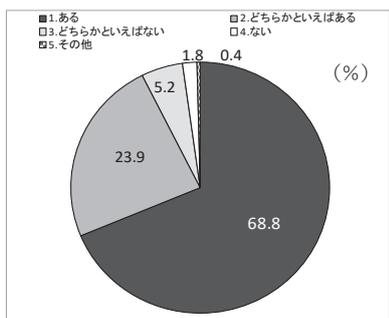


小学校 第5学年

同学年経年比較

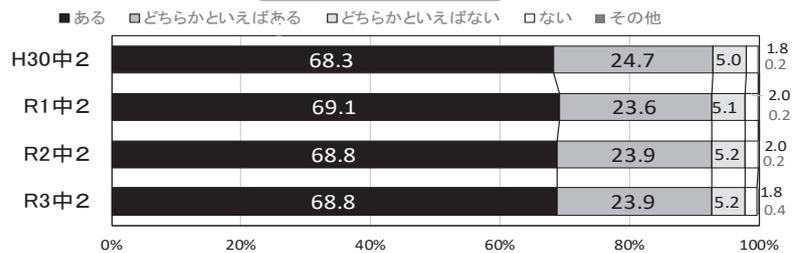


R3年度調査結果



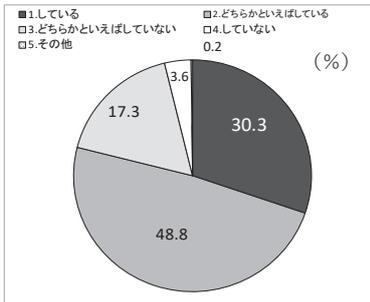
中学校 第2学年

同学年経年比較



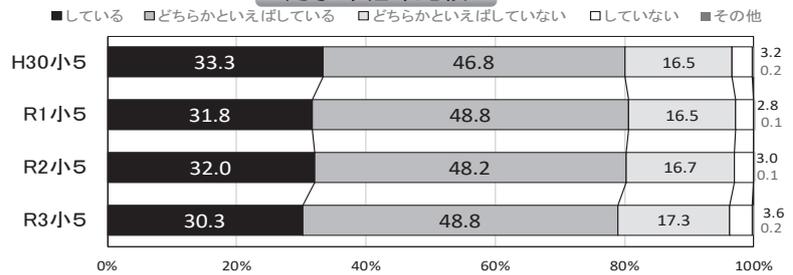
5/5 むずかしいことでも、失敗をおそれないで挑戦していますか。

R3年度調査結果

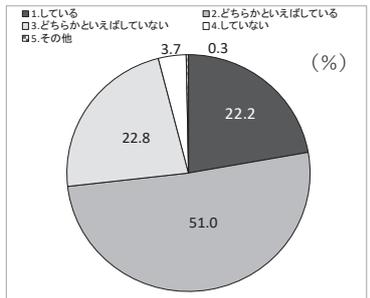


小学校 第5学年

同学年経年比較

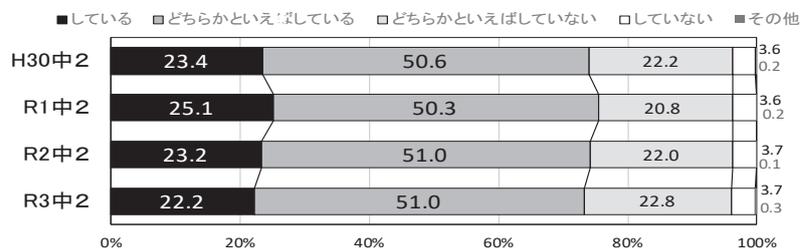


R3年度調査結果



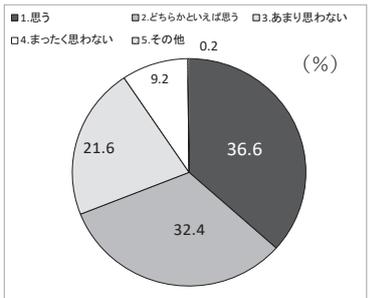
中学校 第2学年

同学年経年比較



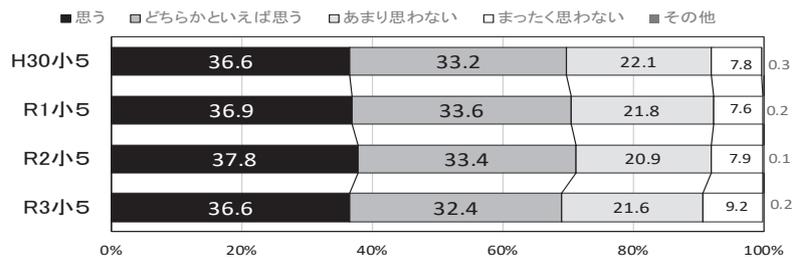
6/6 自分には、よいところがあると思いますか。

R3年度調査結果

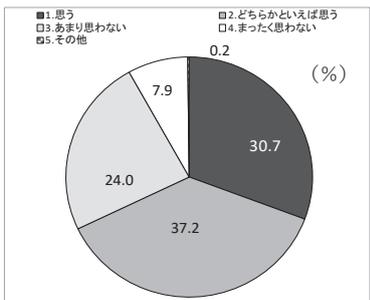


小学校 第5学年

同学年経年比較

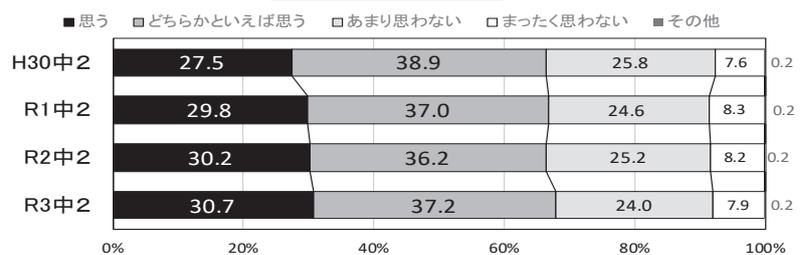


R3年度調査結果



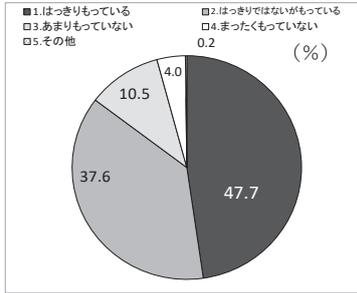
中学校 第2学年

同学年経年比較



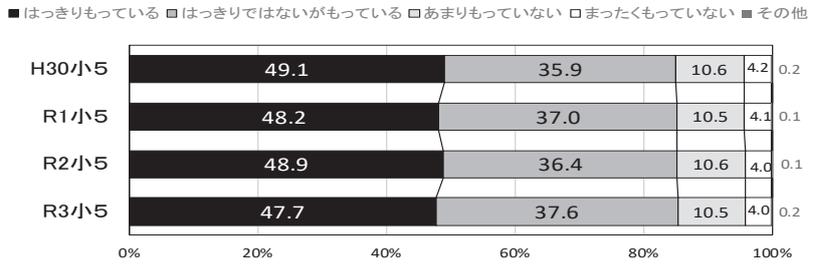
7/7 将来の夢や目標をもっていますか。

R3年度調査結果

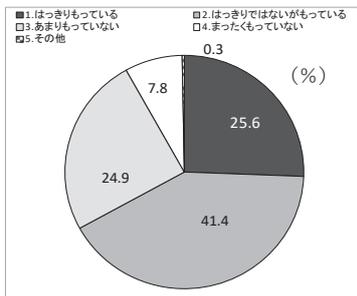


小学校 第5学年

同学年経年比較

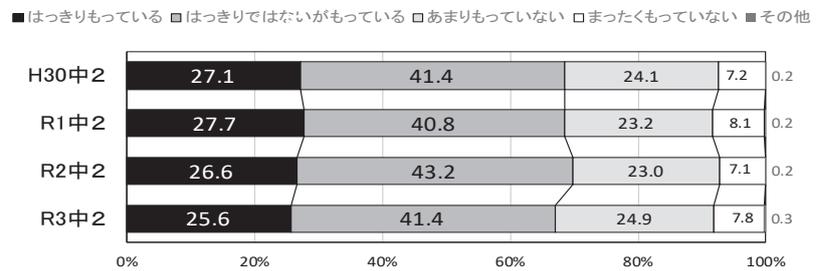


R3年度調査結果



中学校 第2学年

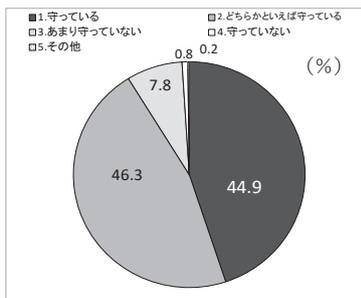
同学年経年比較



3 社会性・道徳性について

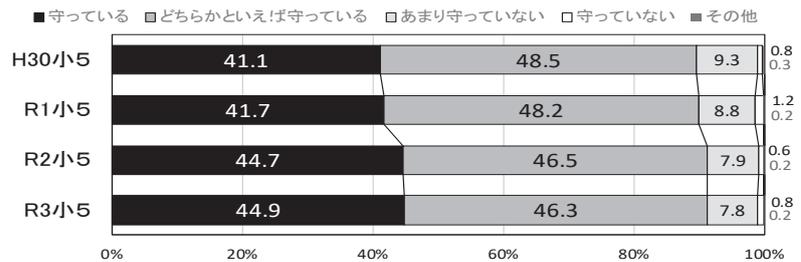
8/8 学校のきまりを守っていますか。

R3年度調査結果

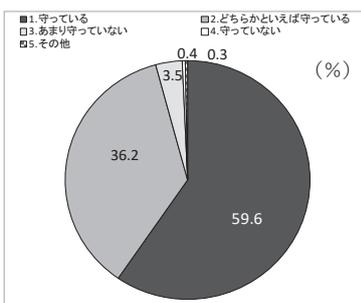


小学校 第5学年

同学年経年比較

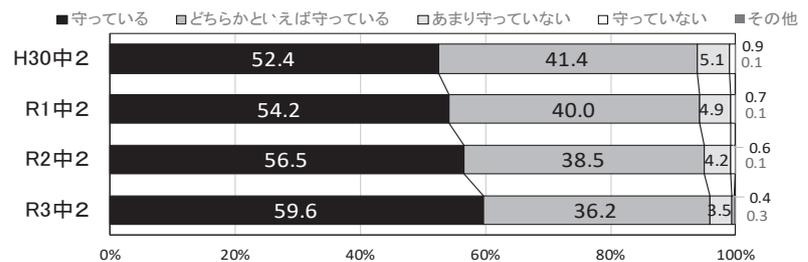


R3年度調査結果



中学校 第2学年

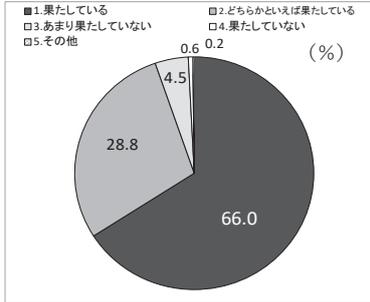
同学年経年比較



9/9

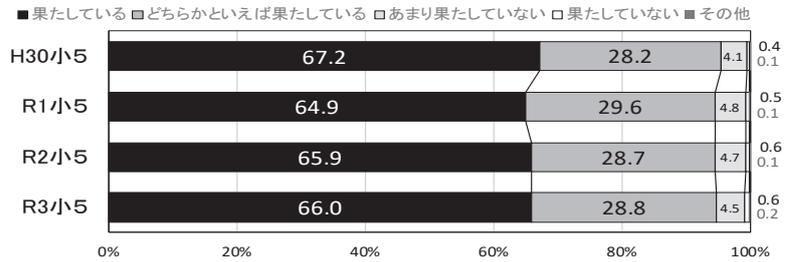
係や委員の仕事など、自分の役割をきちんと果たしていますか。

R3年度調査結果

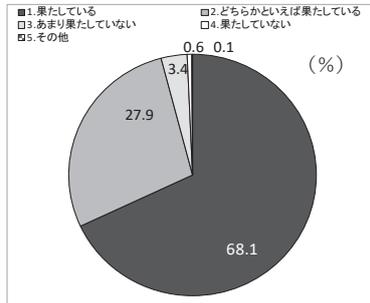


小学校 第5学年

同学年経年比較

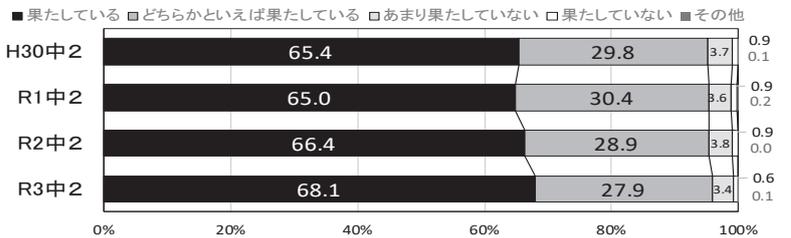


R3年度調査結果



中学校 第2学年

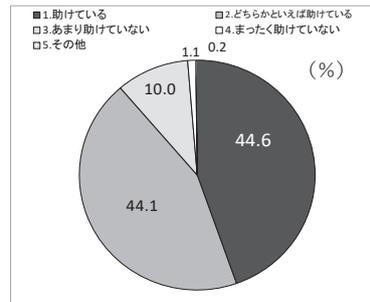
同学年経年比較



10/10

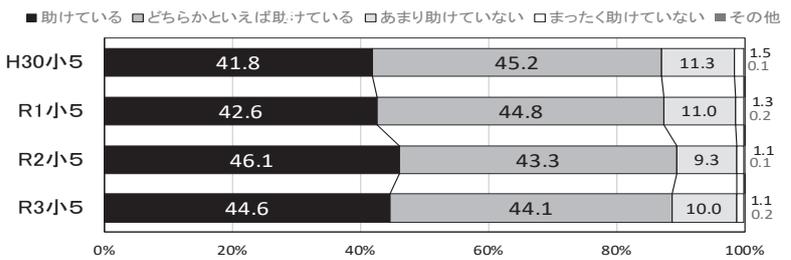
人が困っているときは、進んで助けていますか。

R3年度調査結果

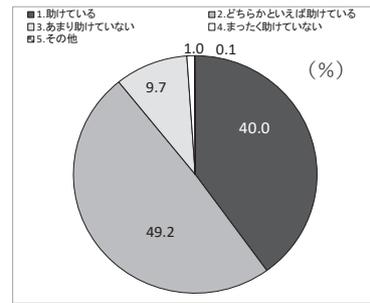


小学校 第5学年

同学年経年比較

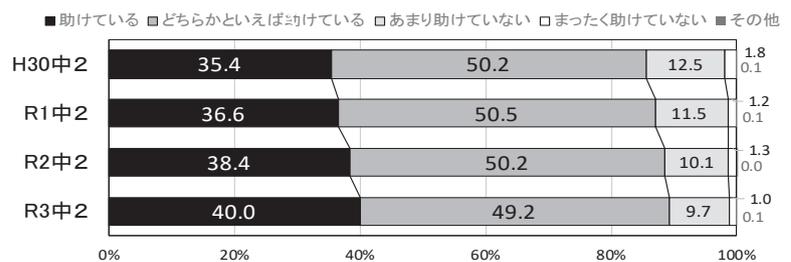


R3年度調査結果



中学校 第2学年

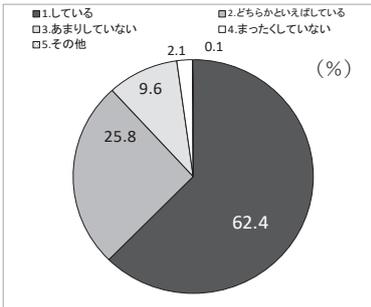
同学年経年比較



IV
児童生徒質問紙調査
調査結果

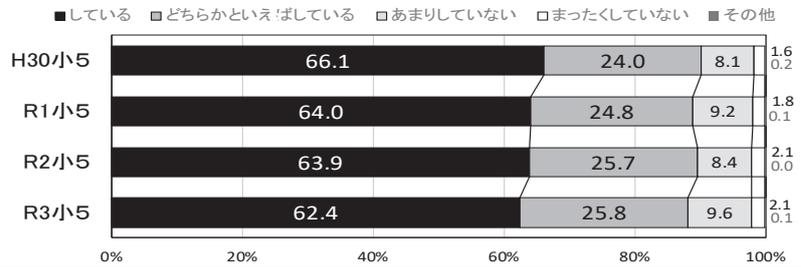
11/11 近所の人に出会ったときは、あいさつをしていますか。

R3年度調査結果

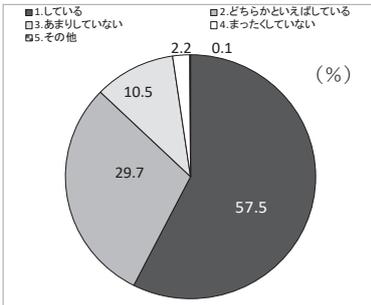


小学校 第5学年

同学年経年比較

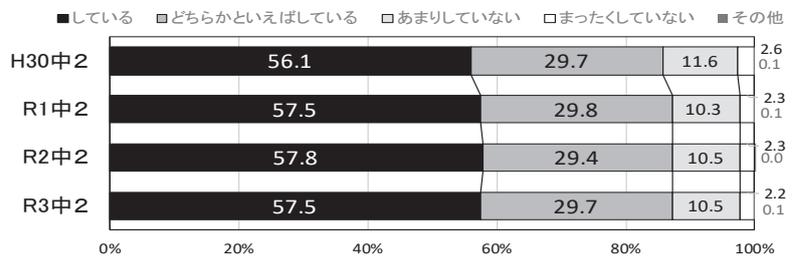


R3年度調査結果



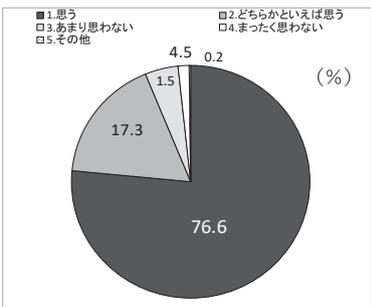
中学校 第2学年

同学年経年比較



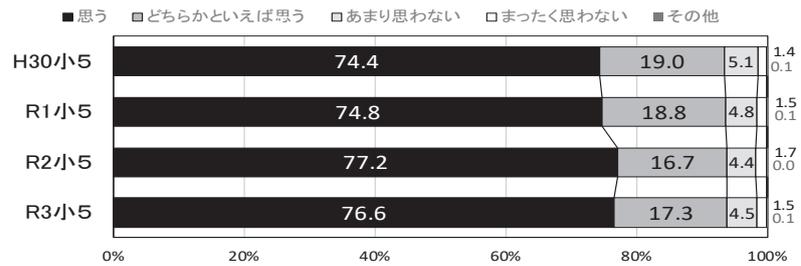
12/12 人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか。

R3年度調査結果

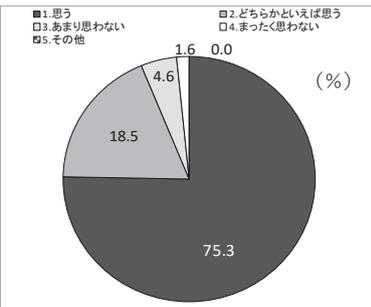


小学校 第5学年

同学年経年比較

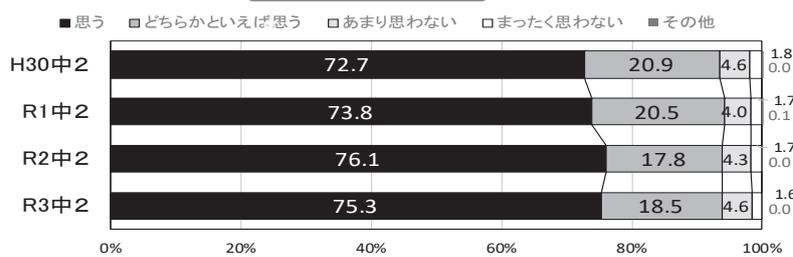


R3年度調査結果



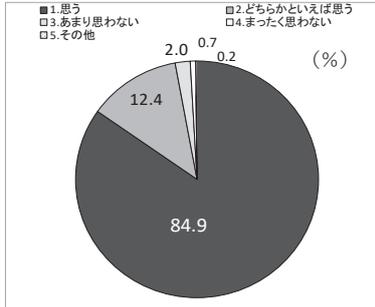
中学校 第2学年

同学年経年比較



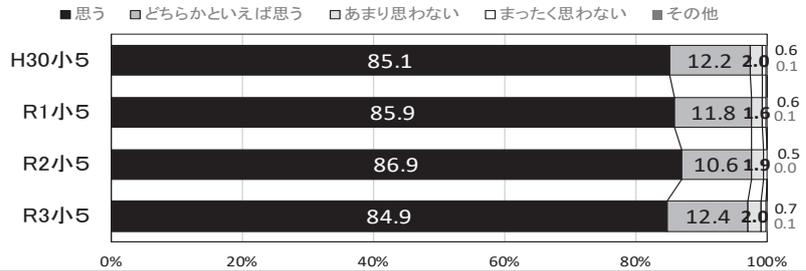
13/13 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。

R3年度調査結果

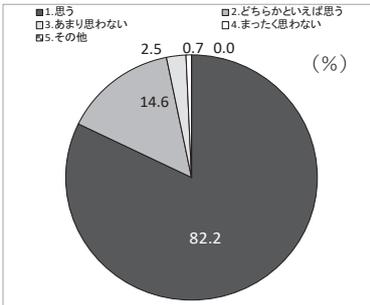


小学校 第5学年

同学年経年比較

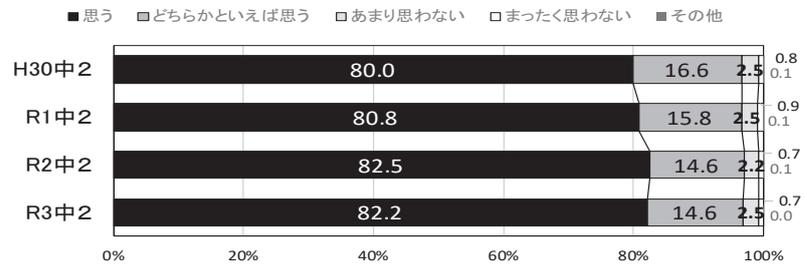


R3年度調査結果



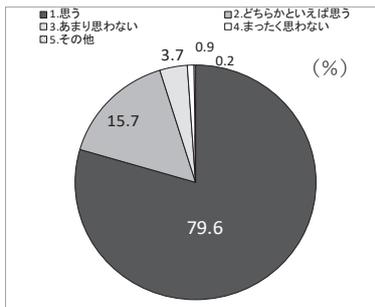
中学校 第2学年

同学年経年比較



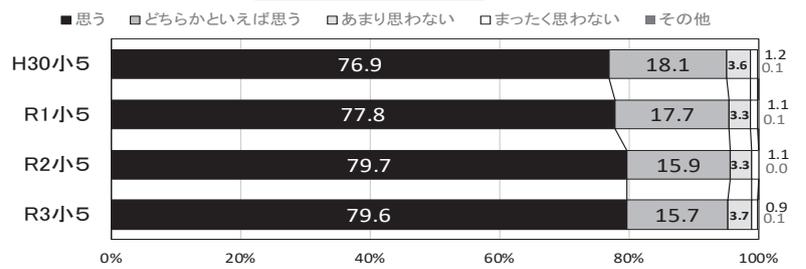
14/14 人の役に立つ人間になりたいと思いますか。

R3年度調査結果

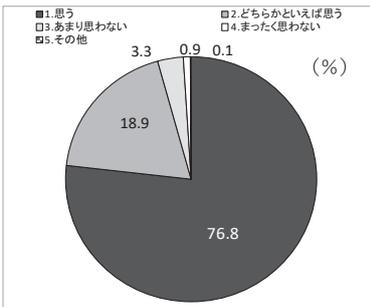


小学校 第5学年

同学年経年比較

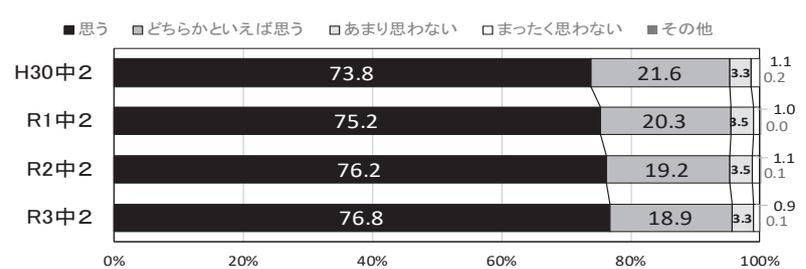


R3年度調査結果



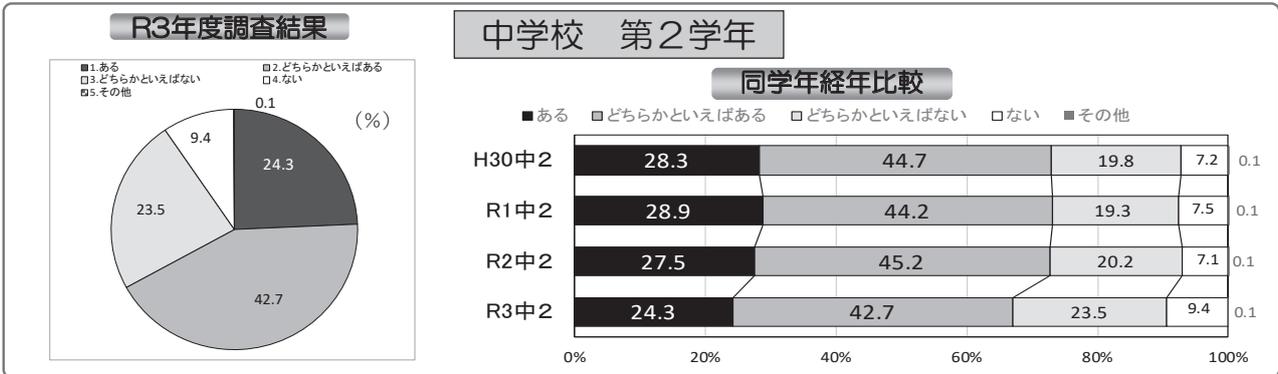
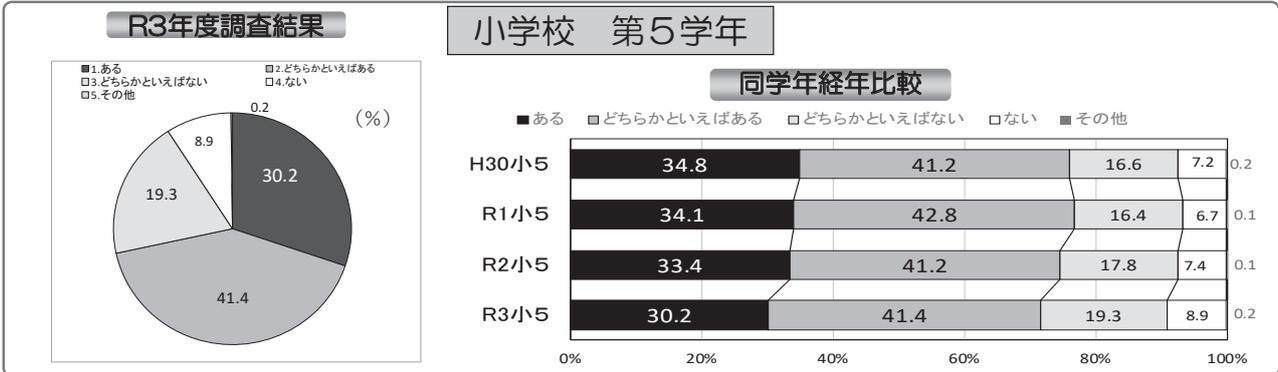
中学校 第2学年

同学年経年比較

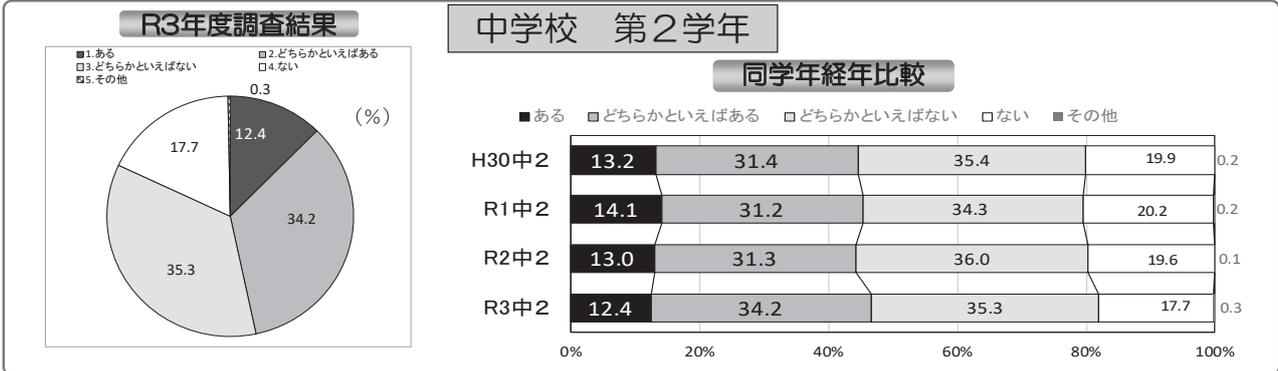
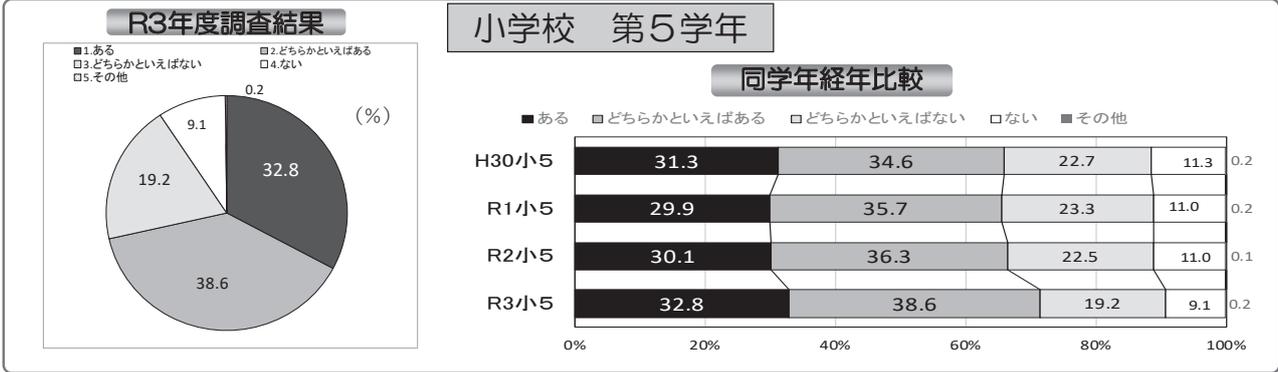


4 社会への関心について

15/15 新聞やテレビのニュースなどに関心がありますか。



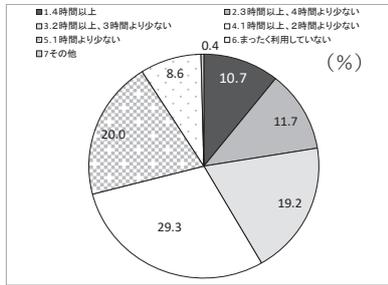
16/16 今住んでいる地域（香川県）の歴史や自然、産業について関心がありますか。



5 メディアの利用について

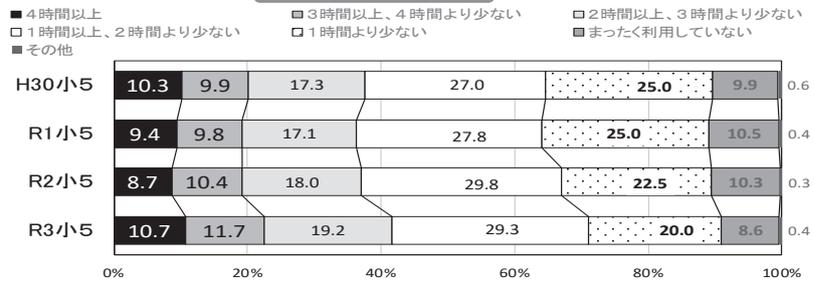
17/17 普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか。

R3年度調査結果

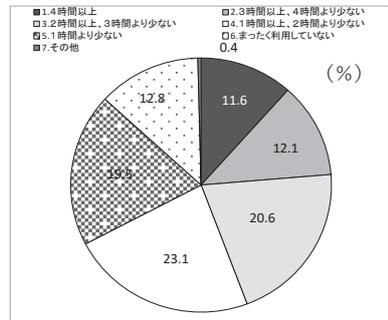


小学校 第5学年

同学年経年比較

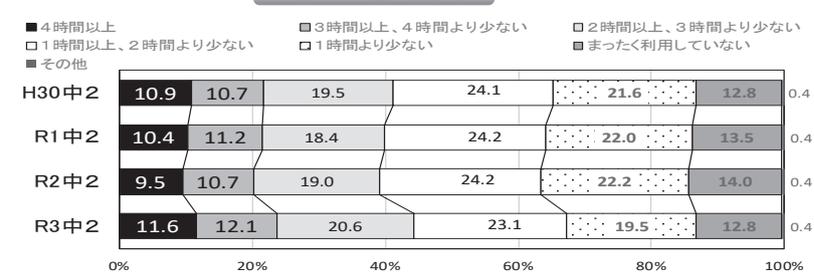


R3年度調査結果



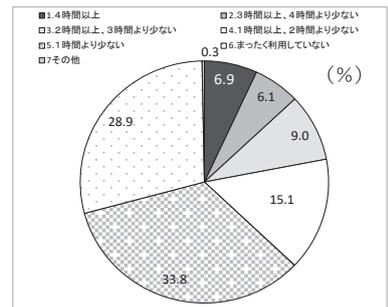
中学校 第2学年

同学年経年比較



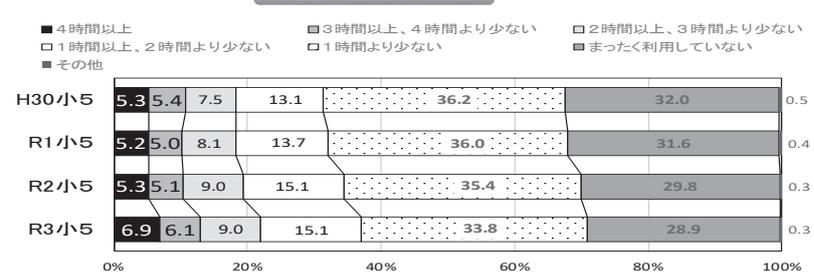
18/18 普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか。（携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く）

R3年度調査結果

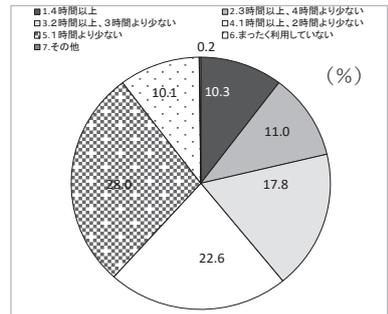


小学校 第5学年

同学年経年比較

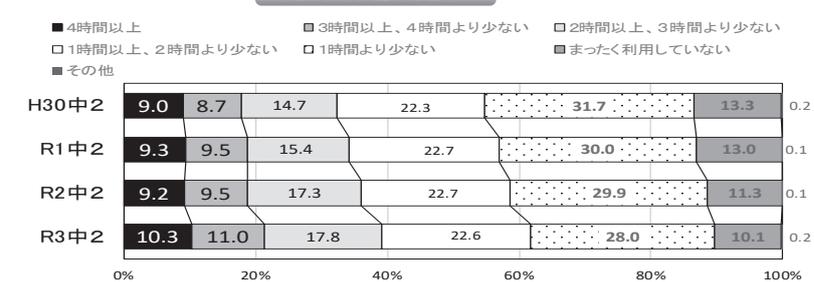


R3年度調査結果



中学校 第2学年

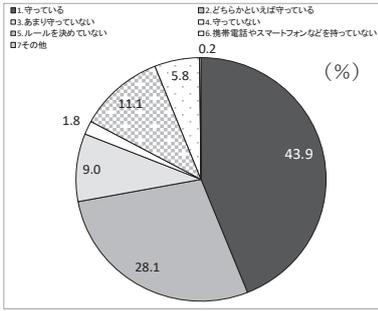
同学年経年比較



IV 児童生徒質問紙調査
調査結果

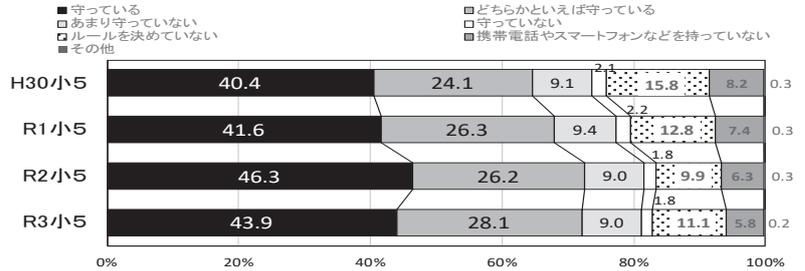
携帯電話やスマートフォン、ゲーム機などを使う場合、家の人と決めた使用ルールを守っていますか。

R3年度調査結果

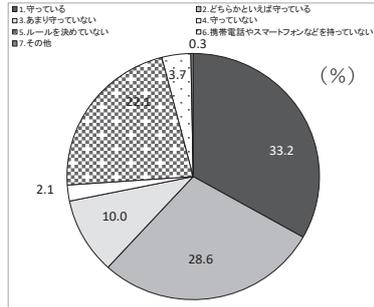


小学校 第5学年

同学年経年比較

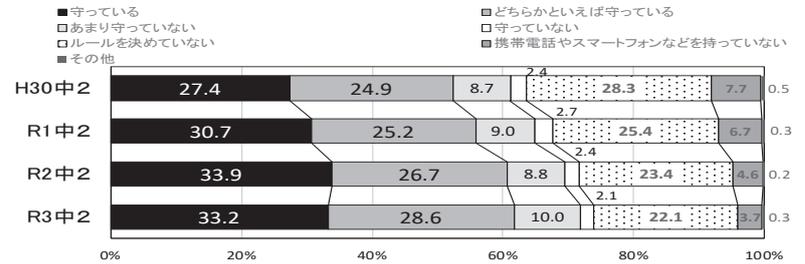


R3年度調査結果



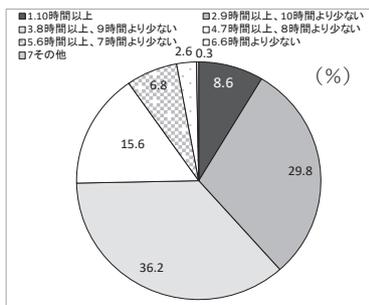
中学校 第2学年

同学年経年比較



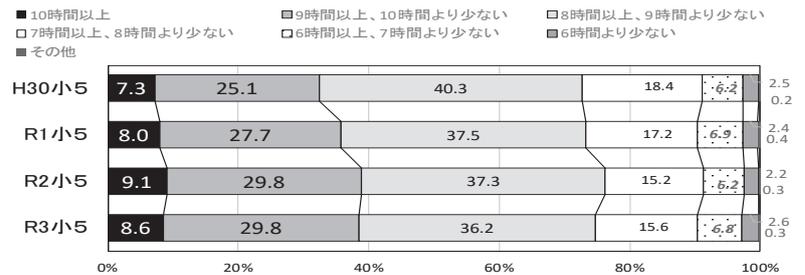
普段（月～金曜日）、1日にどれくらいの時間、睡眠をとることが最も多いですか。

R3年度調査結果

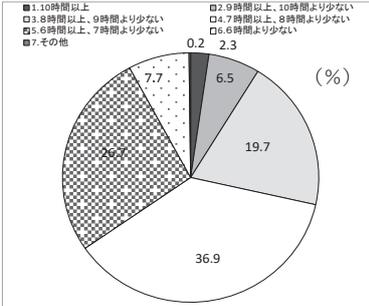


小学校 第5学年

同学年経年比較

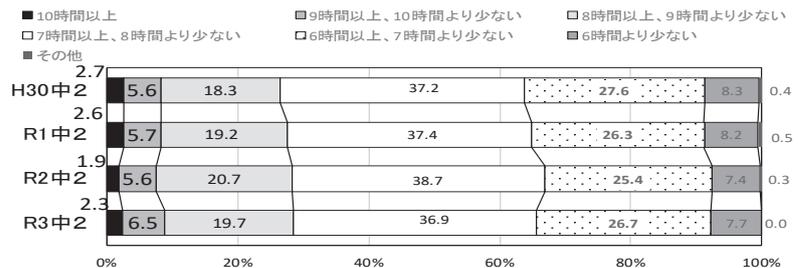


R3年度調査結果



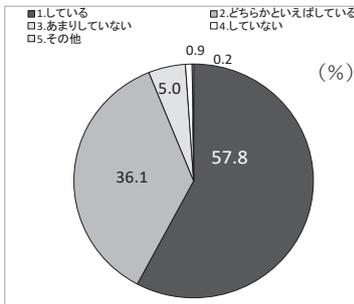
中学校 第2学年

同学年経年比較



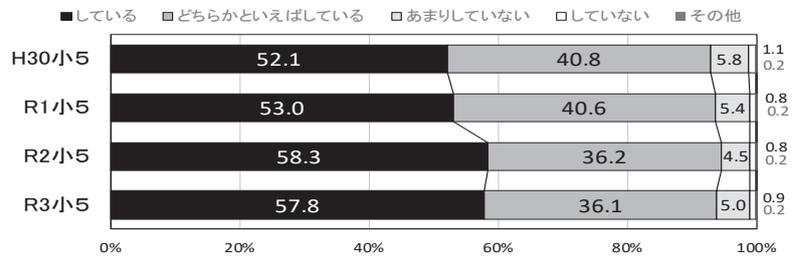
21/21 友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか。

R3年度調査結果

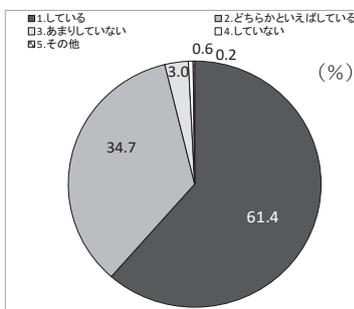


小学校 第5学年

同学年経年比較

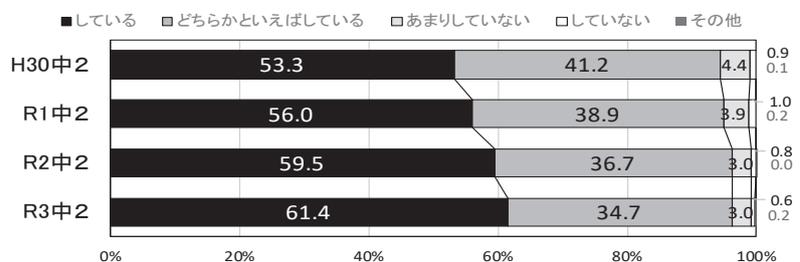


R3年度調査結果



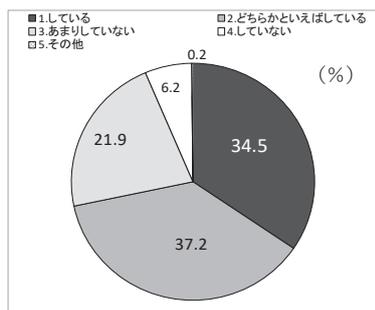
中学校 第2学年

同学年経年比較



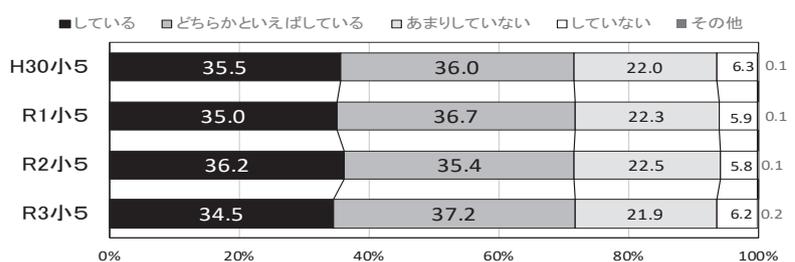
22/22 授業では、ノートを書いていないに書いていますか。

R3年度調査結果

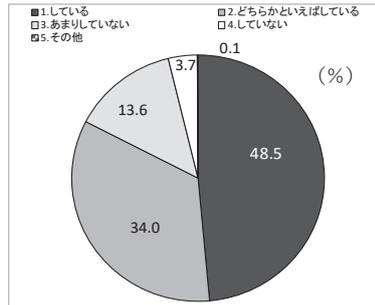


小学校 第5学年

同学年経年比較

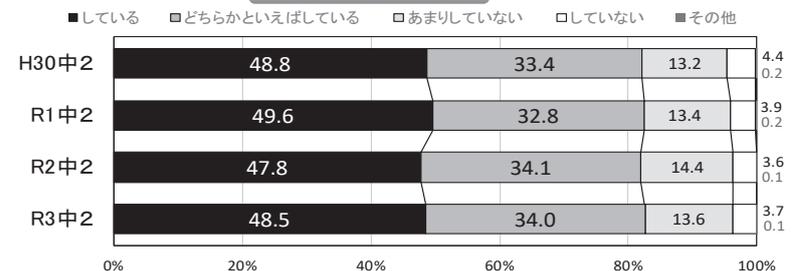


R3年度調査結果

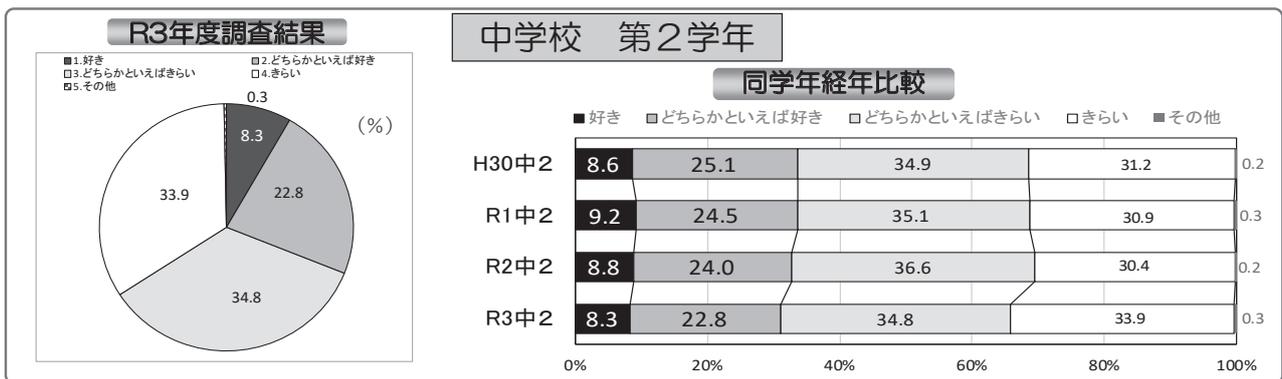
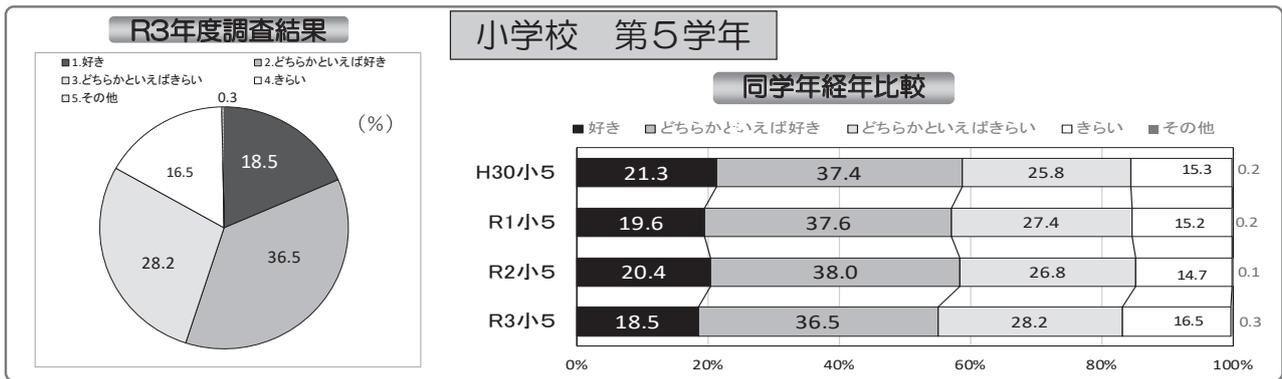


中学校 第2学年

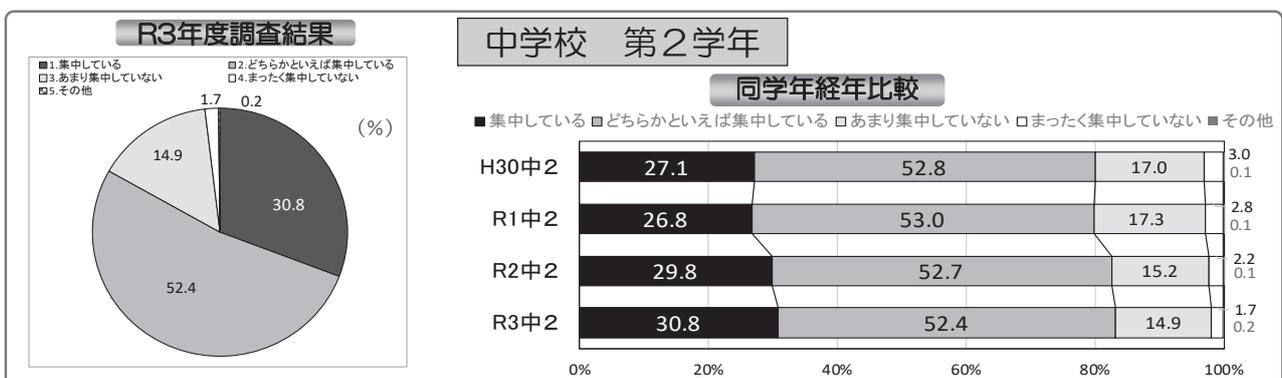
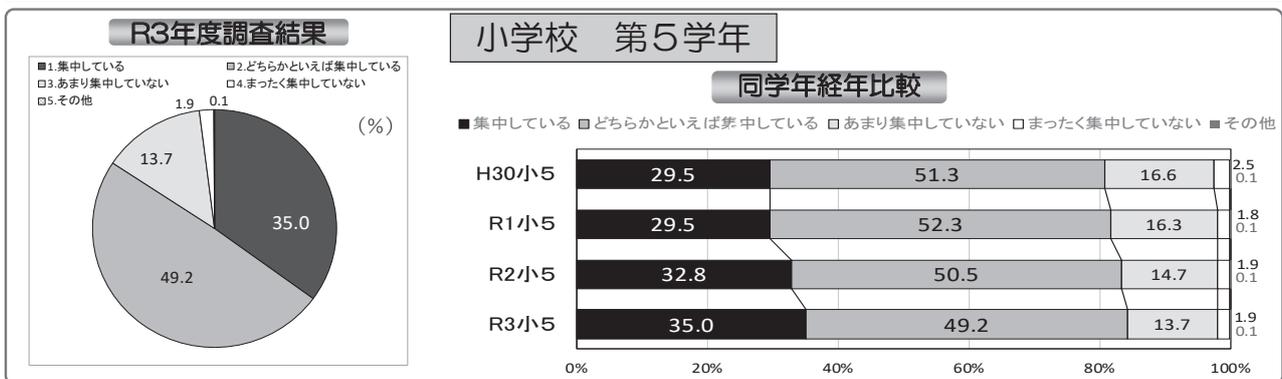
同学年経年比較



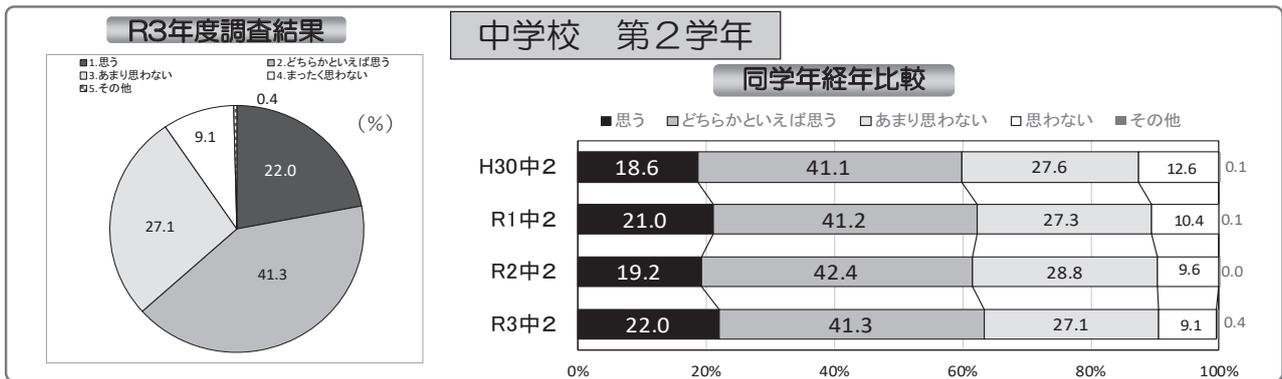
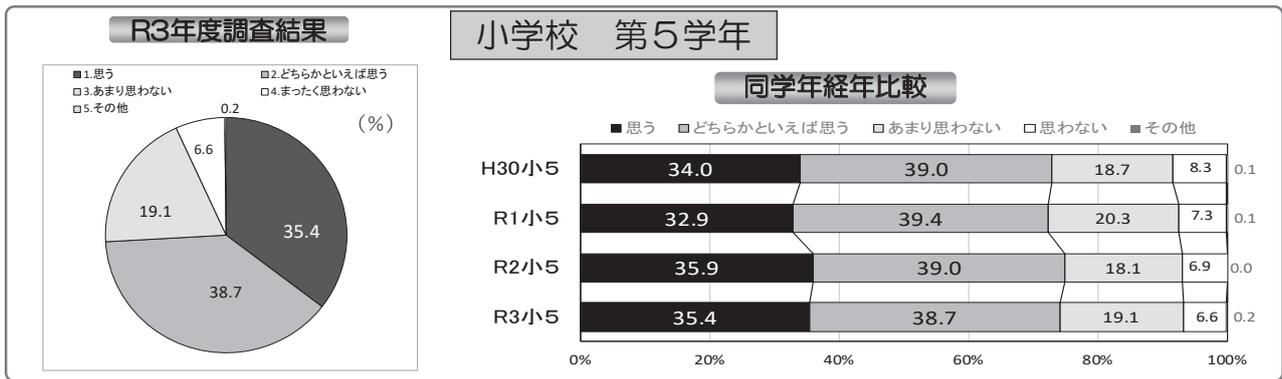
23/23 勉強は好きですか。



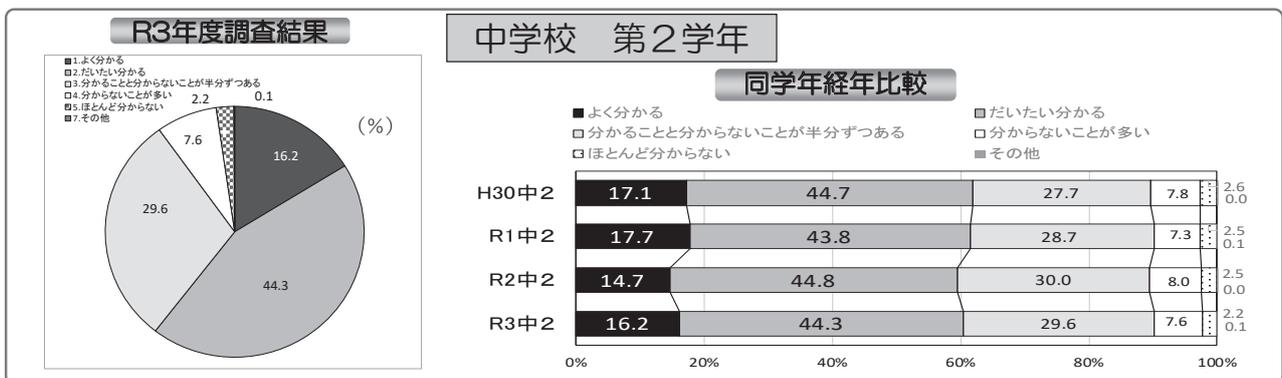
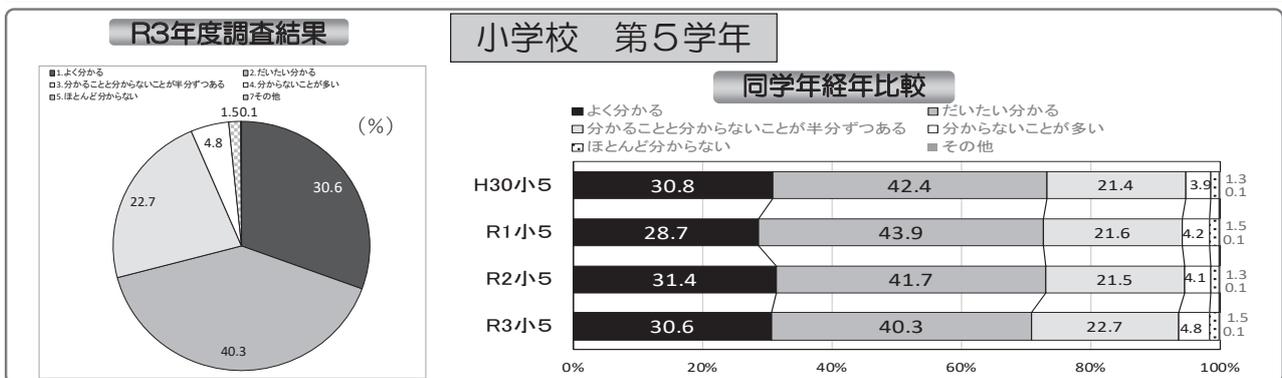
24/24 私語なく先生や友達の話をしっかり聞くなど、集中して授業を受けていますか。



25/25 授業は楽しいと思いますか。

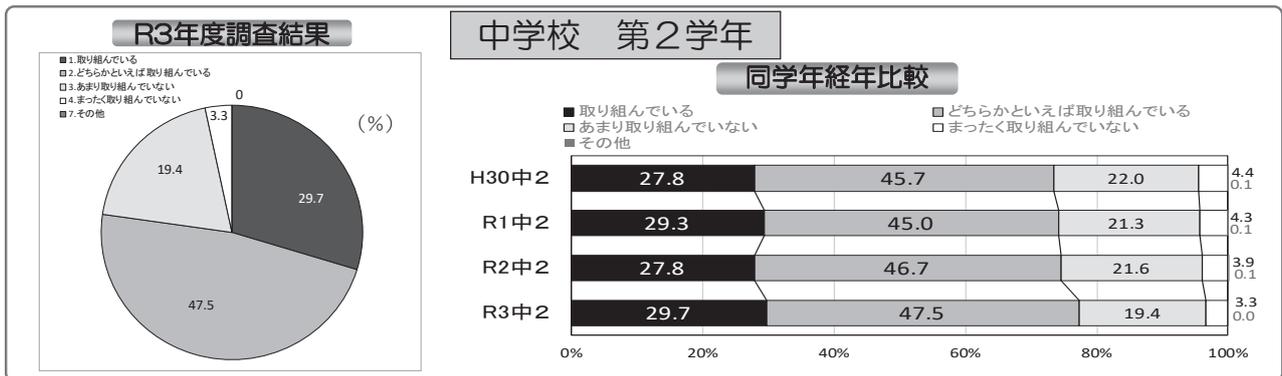
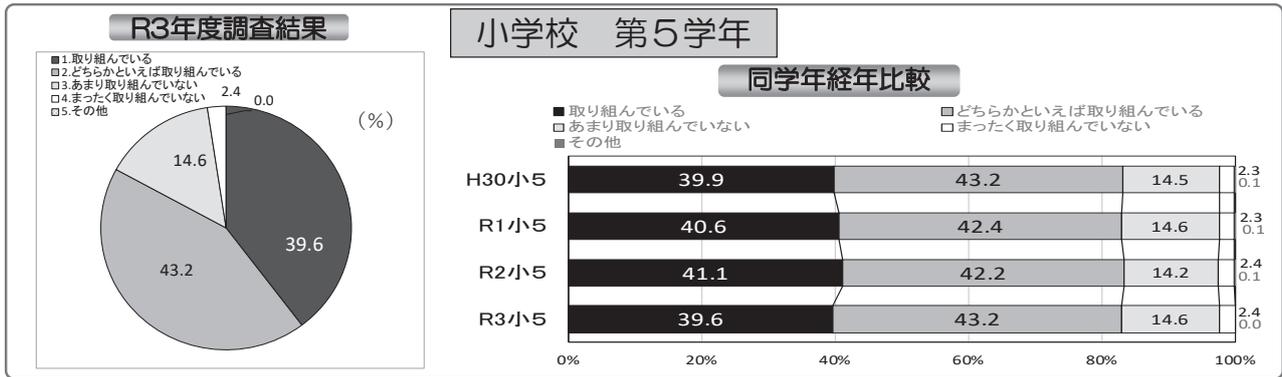


26/26 授業の内容がどの程度分かりますか。

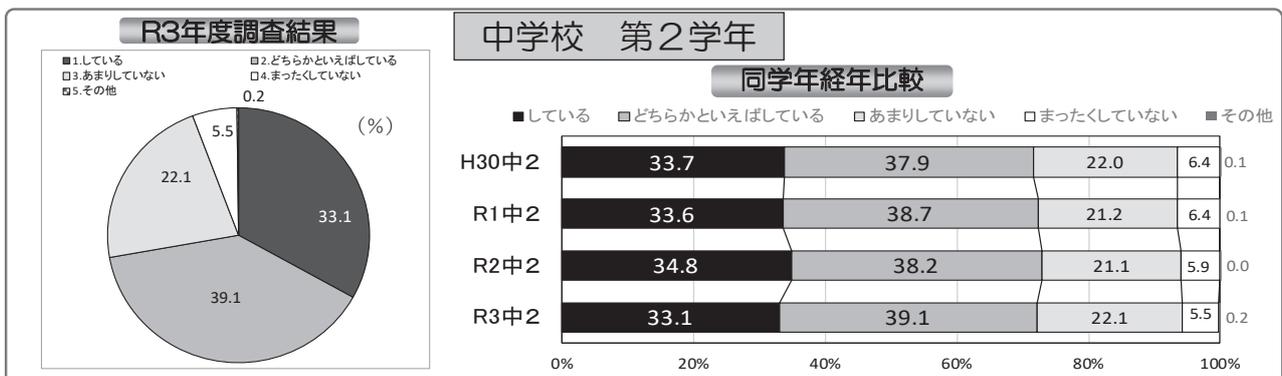
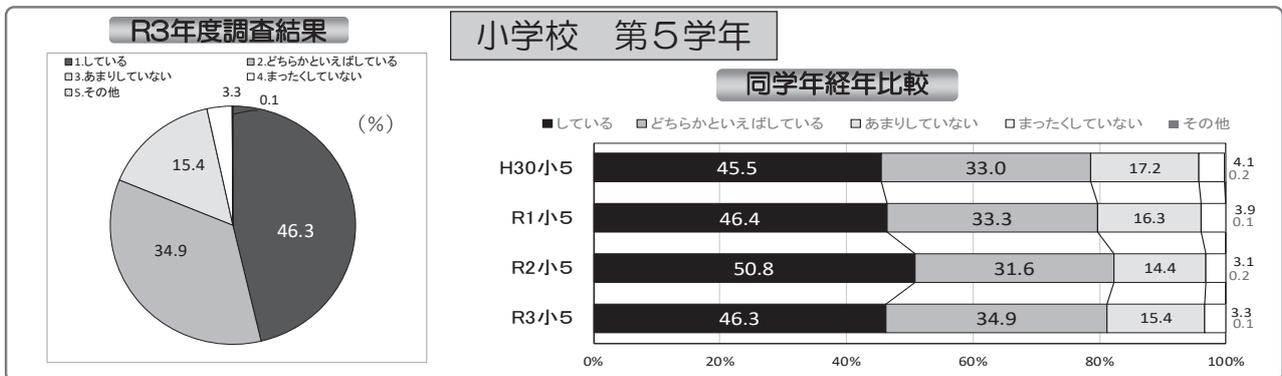


IV
児童生徒質問紙調査
調査結果

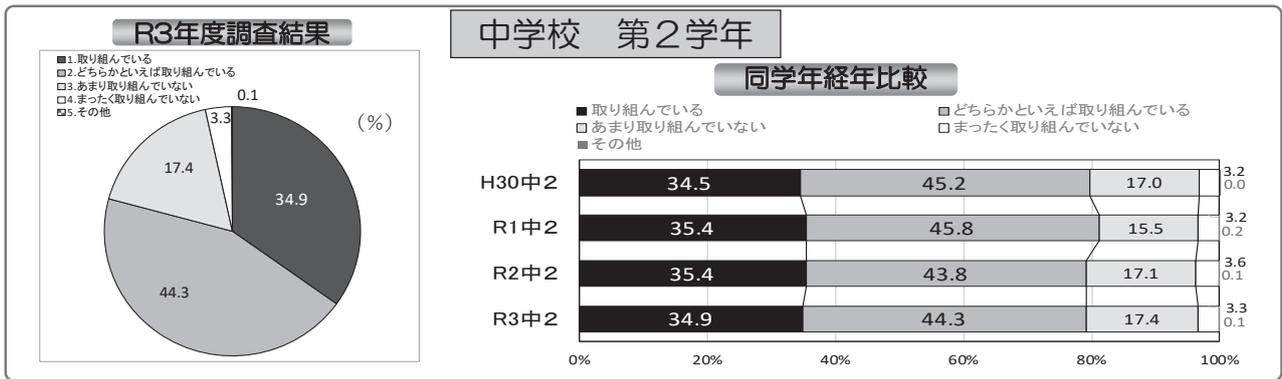
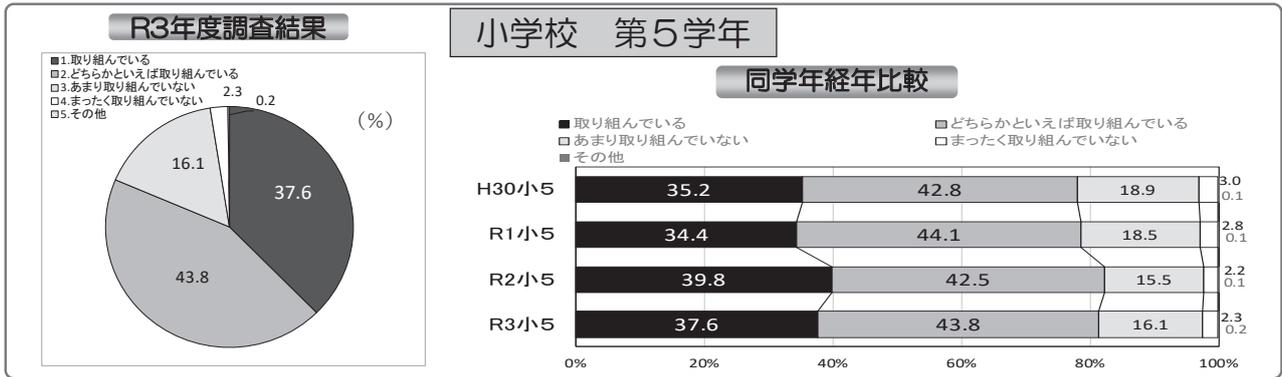
27/27 分からない問題があるとき、見方や考え方を変えながら、あきらめずに取り組んでいますか。



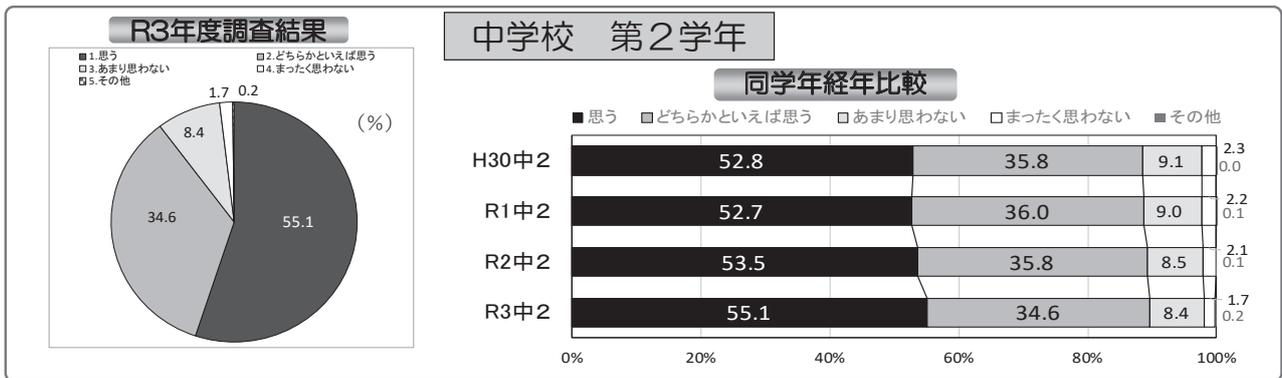
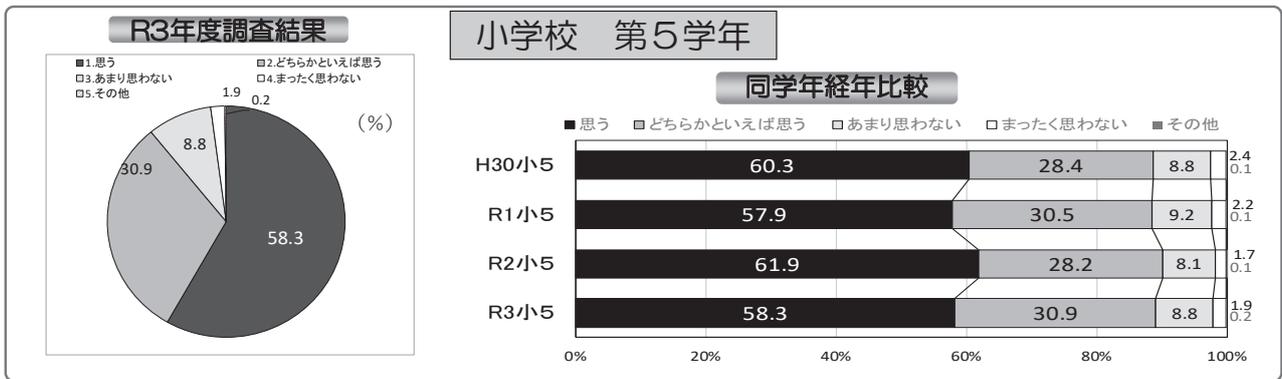
28/28 分からないところは先生や友達に質問して解決していますか。



29/29 授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立て、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して発表する学習活動に取り組んでいますか。



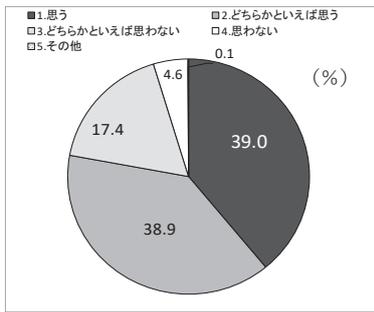
30/30 授業の中で、目標（めあて・ねらい）が示されていると思いますか。



IV
児童生徒質問紙調査
調査結果

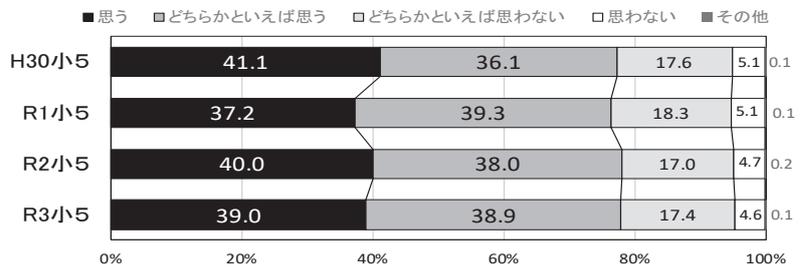
31/31 授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていると思いますか。

R3年度調査結果

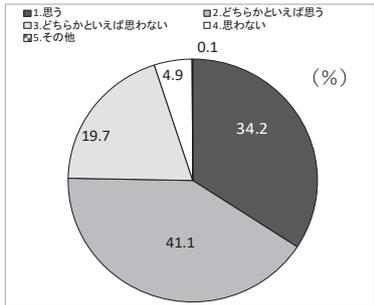


小学校 第5学年

同学年経年比較

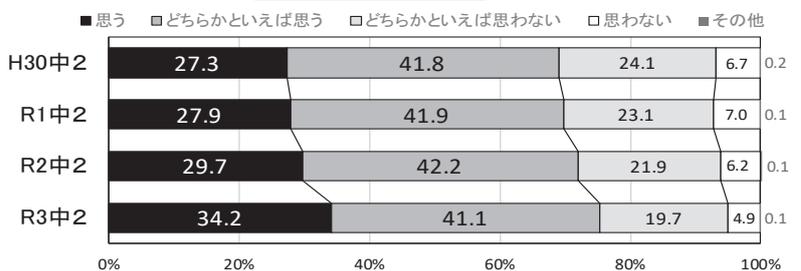


R3年度調査結果



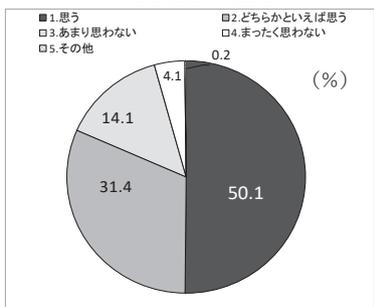
中学校 第2学年

同学年経年比較



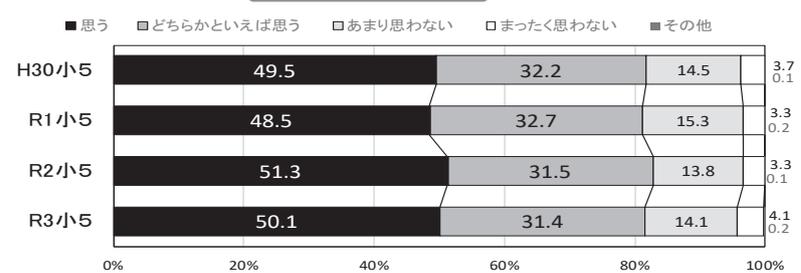
32/32 普段の授業では、自分の考えを公表する機会が与えられていると思いますか。

R3年度調査結果

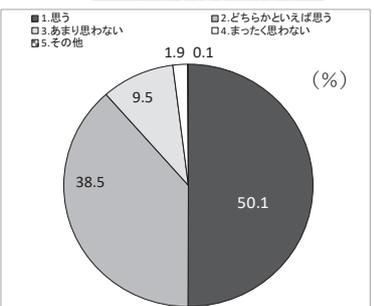


小学校 第5学年

同学年経年比較

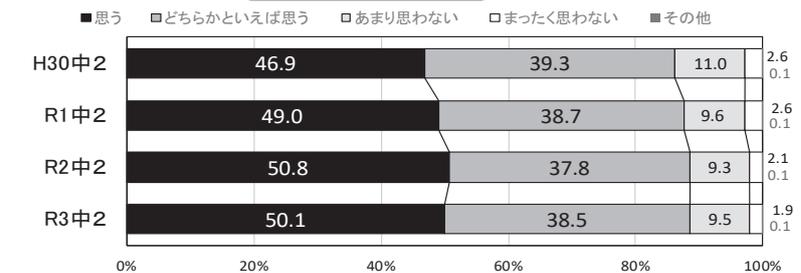


R3年度調査結果

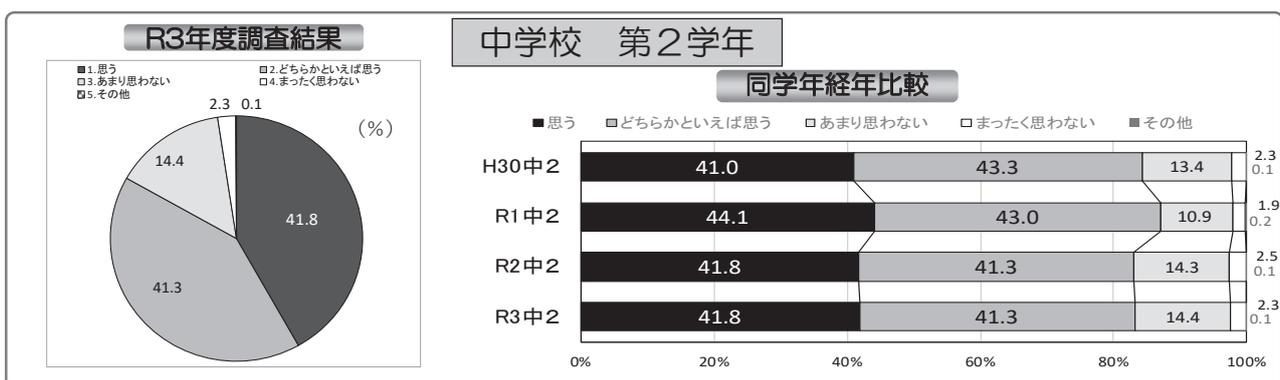
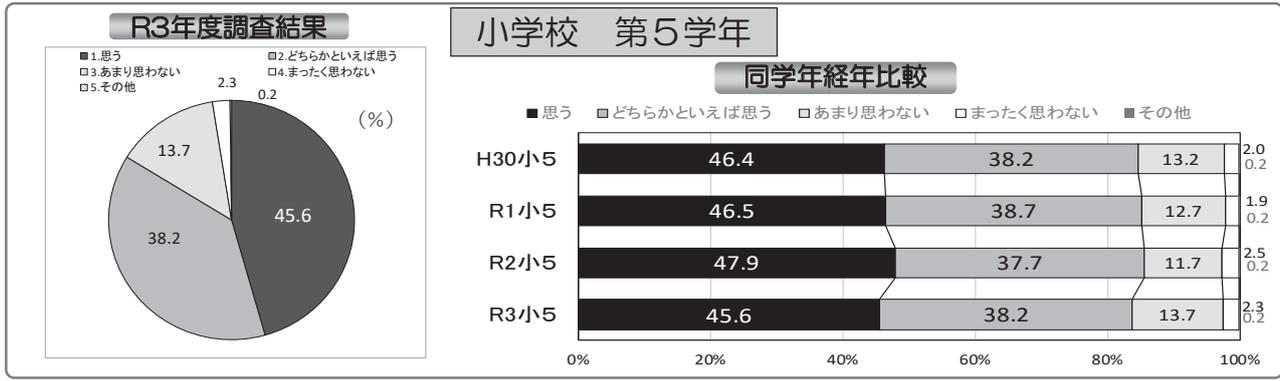


中学校 第2学年

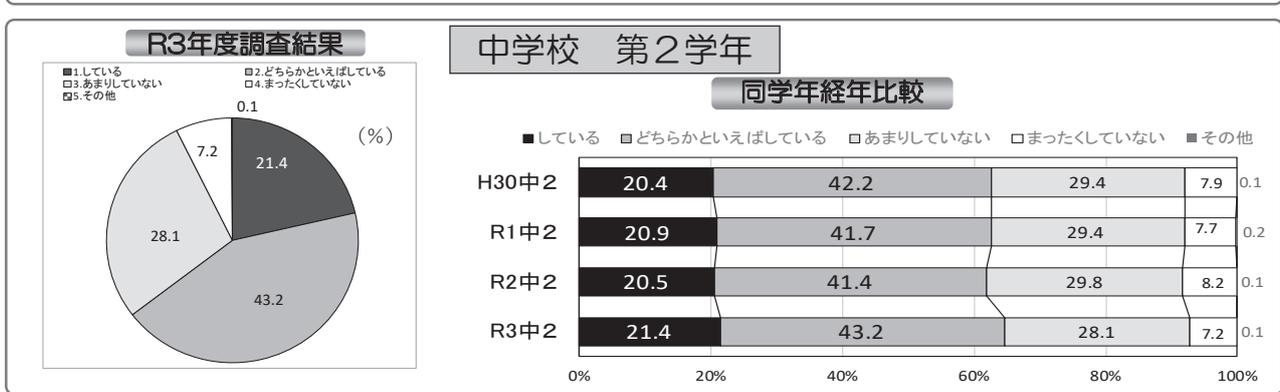
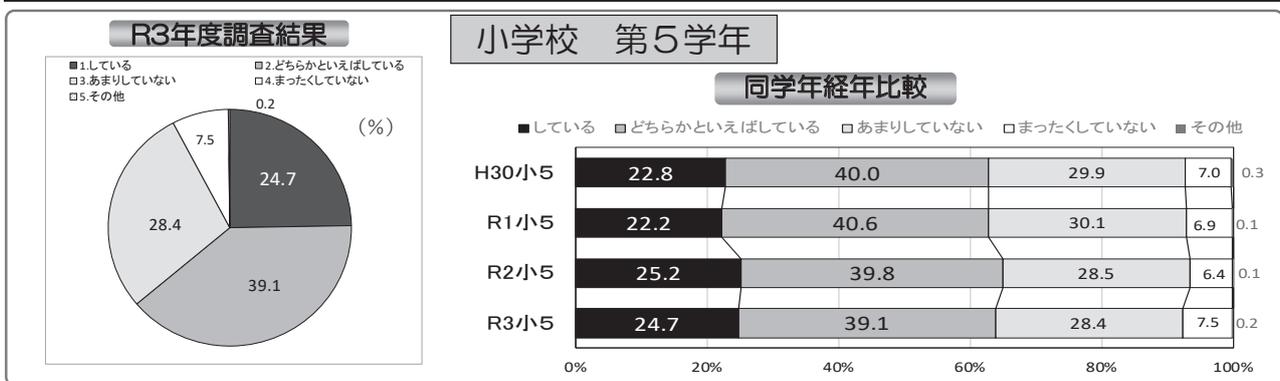
同学年経年比較



33/33 普段の授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていると
 思いますか。

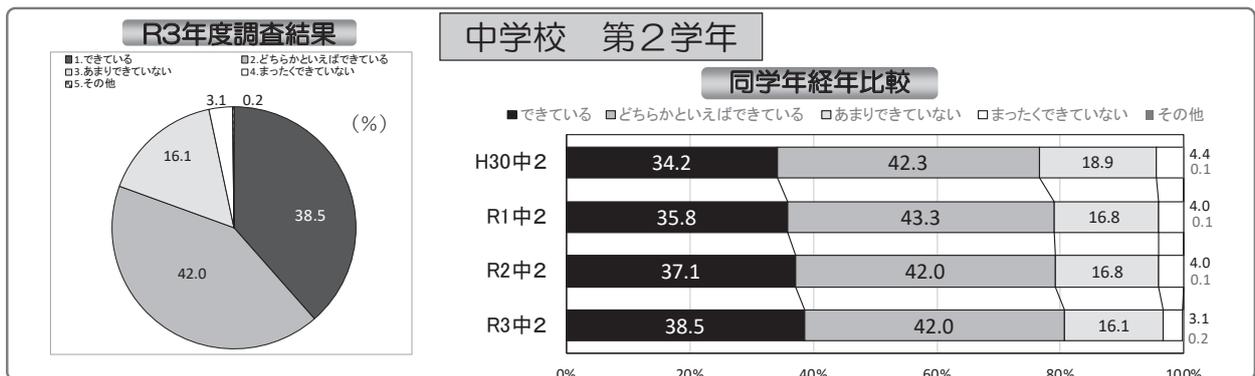
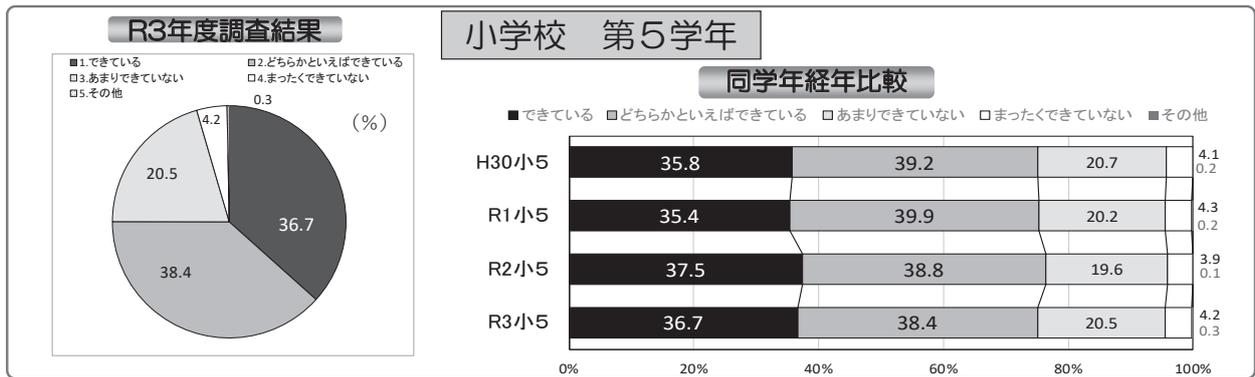


34/34 授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよ
 う、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していますか。

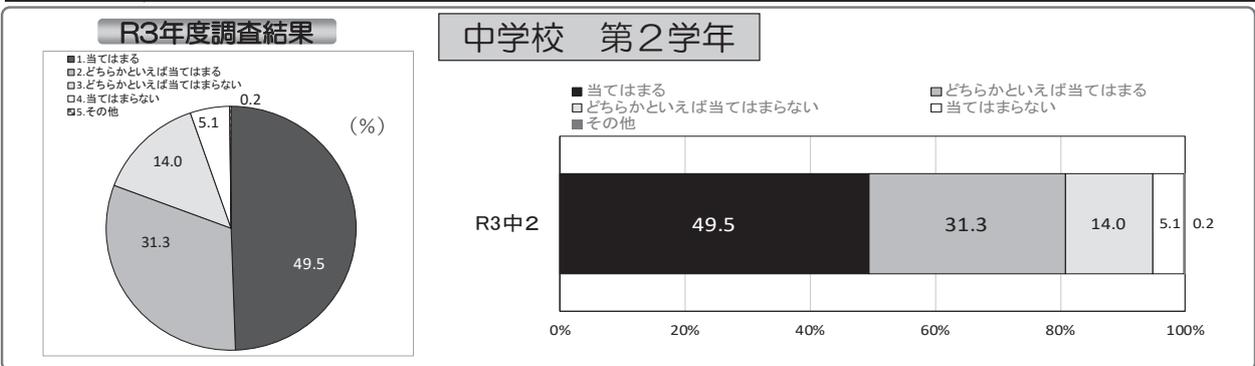


IV
 児童生徒質問紙調査
 調査結果

35/35 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを広げたり、深めたりすることができますか。



※/36 英語の授業では、生徒同士で英語で問答したり意見を述べたりする活動が行われていたと思いますか。



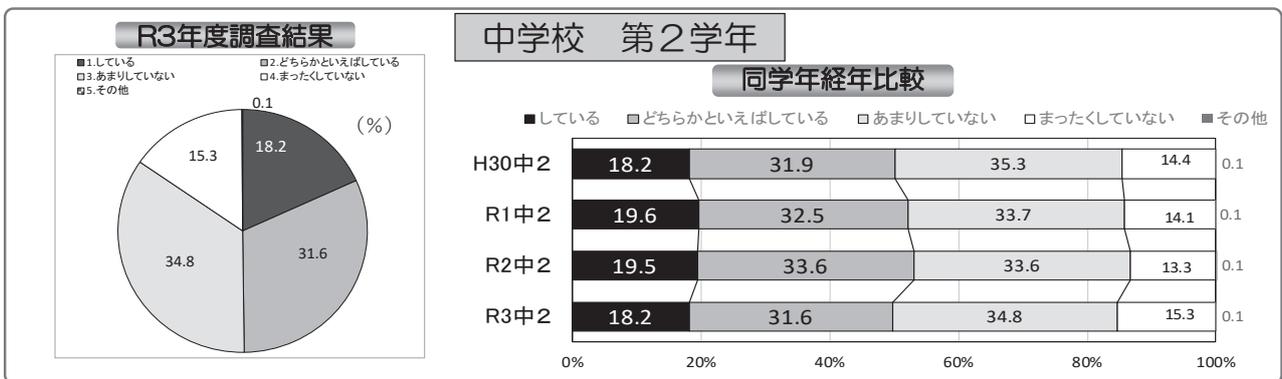
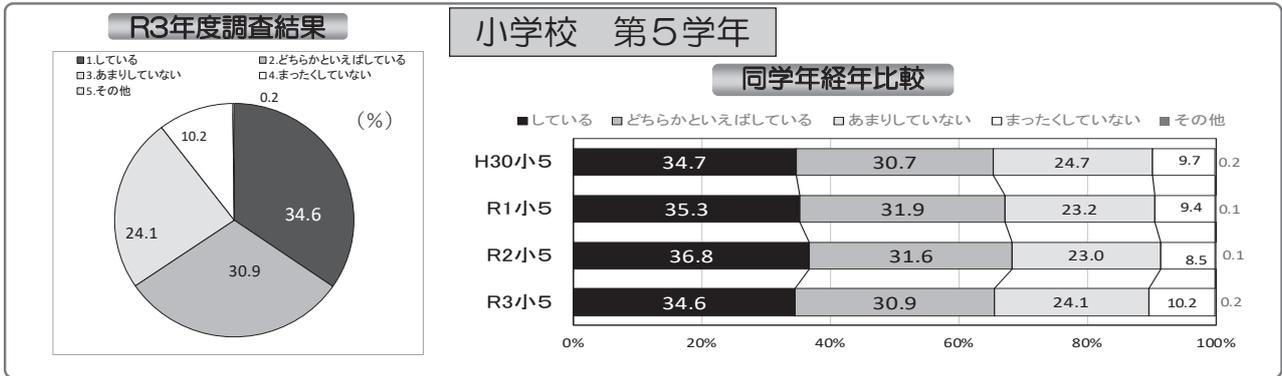
◆確かな学力の育成と個に応じた教育の推進を◆

1 しかけて待つ	2 語らせつないで	3 認め励ます
<p>基本が定着してから活用させるだけでなく、活用から入る授業展開も考えられます。その際、どのようなしかけが必要ですか。しかけた後、子どもの反応を見ながら待つ姿勢を大切にしましょう。</p> <p>知識や技能を活用しながら、課題に挑戦したり、学んだことをまともな過程で、基本に立ち返ることも考えられます。</p>	<p>子どもが語り始めるために、どのような発問で子どもの考えを引き出しますか。子どもの言葉を拾い、次の語りに向けて、教員がつなぎましょう。</p> <p>教員が、相手意識をもって分かりやすく説明したり、他の意見を引用したり、言葉を適切に用いたりして、子どものモデルを示すことも大切です。</p>	<p>目に見える、見えないにかかわらず、子どもが努力したことを捉えて、どのような言葉を返しますか。授業を通して子どもの自己有用感を高め、次の学習への意欲付けにつなげましょう。</p> <p>肯定して安心感や自信をもたせたり、フィードバックを通して次への意欲をもたせたりと、どのタイミングで、どのような言葉をかけるかが大切です。</p>

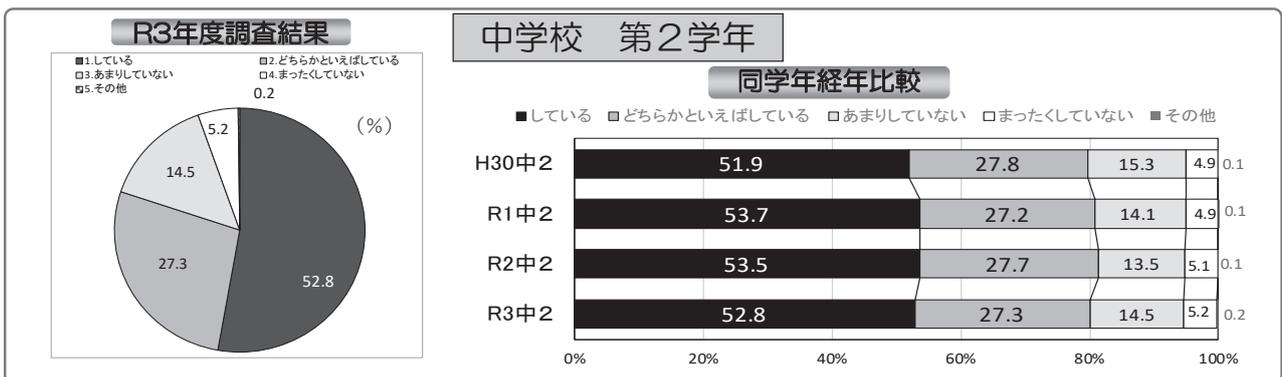
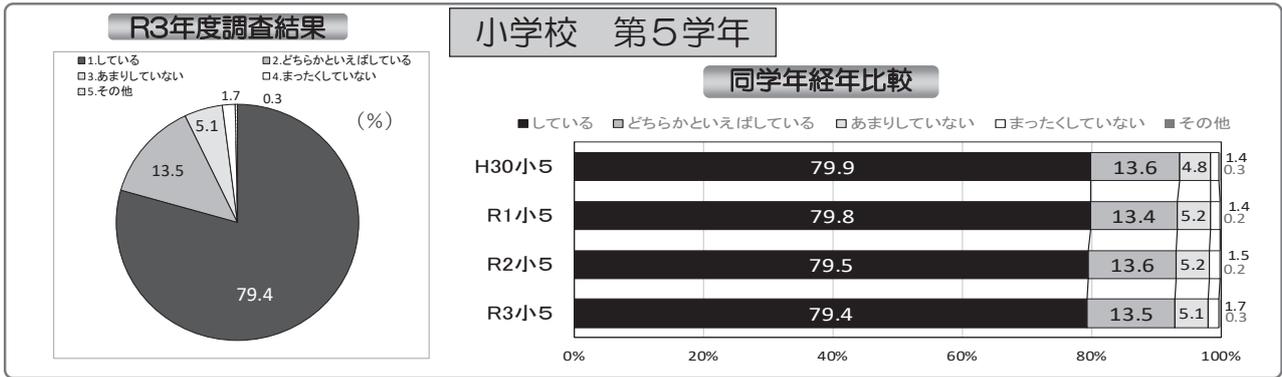
香川県教育委員会では、「確かな学力の育成と個に応じた教育の推進」として「個を活かす協働的な学び」の実現と「個に応じたきめ細やかな指導」の充実を掲げています。「さぬきの教員 授業づくりの三訓」を意識しながら、子供とともに授業をつくっていきましょう。

7 家庭学習について

36/37 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。



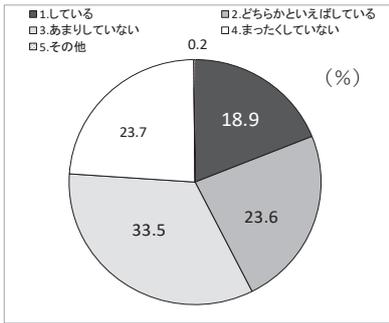
37/38 家で学校の宿題をしていますか。



IV
児童生徒質問紙調査
調査結果

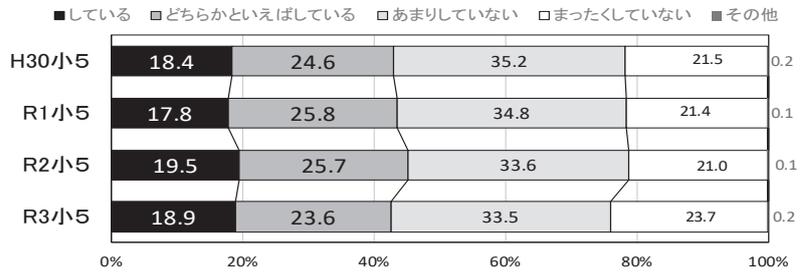
38/39 家で学校の授業の予習をしていますか。

R3年度調査結果

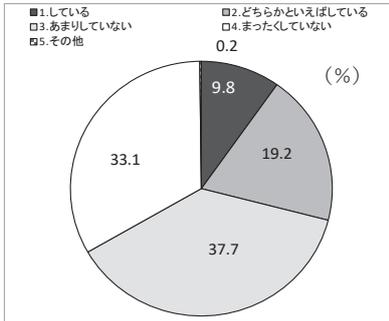


小学校 第5学年

同学年経年比較

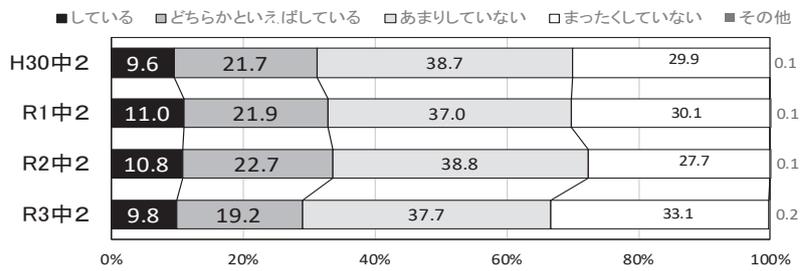


R3年度調査結果



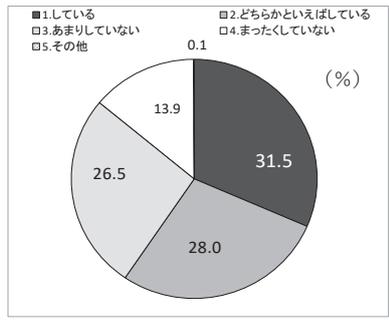
中学校 第2学年

同学年経年比較



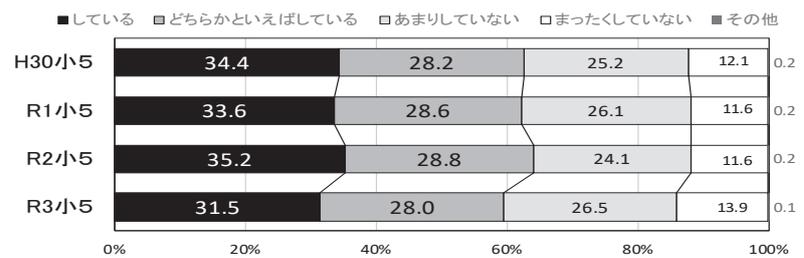
39/40 家で学校の授業の復習をしていますか。

R3年度調査結果

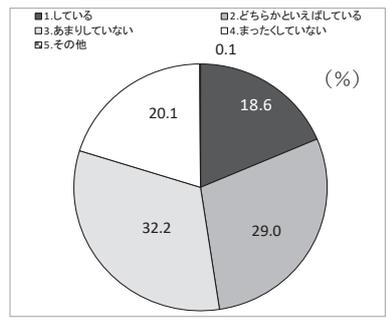


小学校 第5学年

同学年経年比較

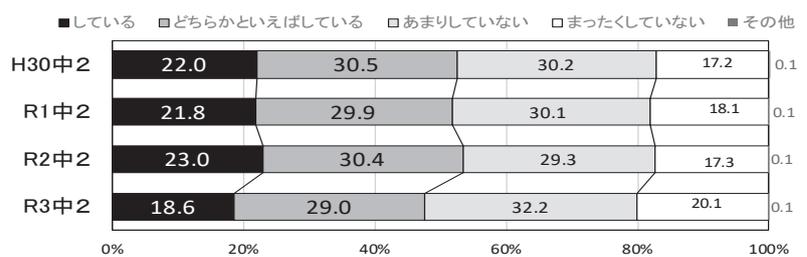


R3年度調査結果



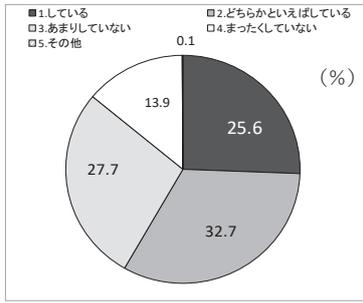
中学校 第2学年

同学年経年比較



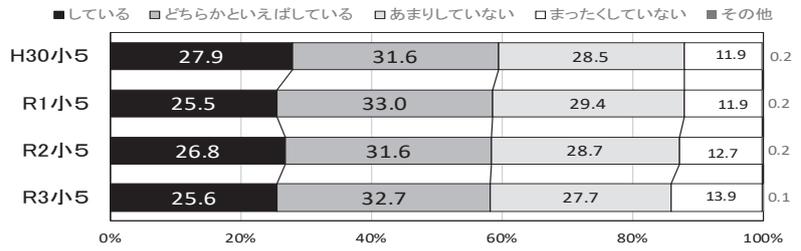
テストで間違えた問題について、間違えたところを後で勉強していますか。

R3年度調査結果

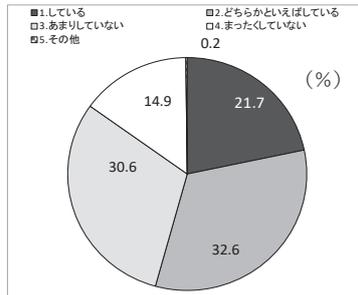


小学校 第5学年

同学年経年比較

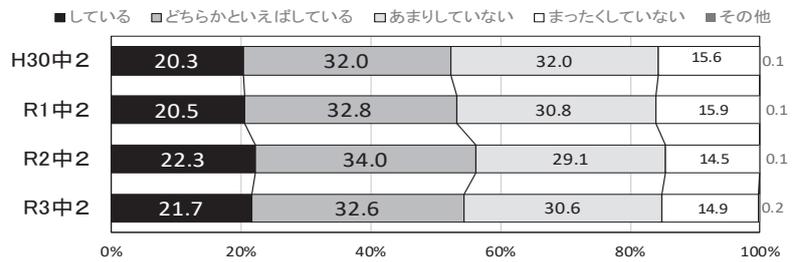


R3年度調査結果



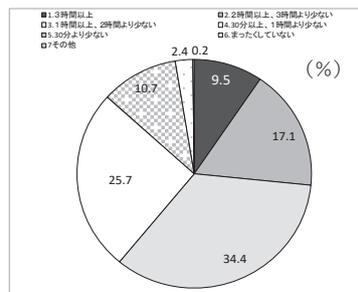
中学校 第2学年

同学年経年比較



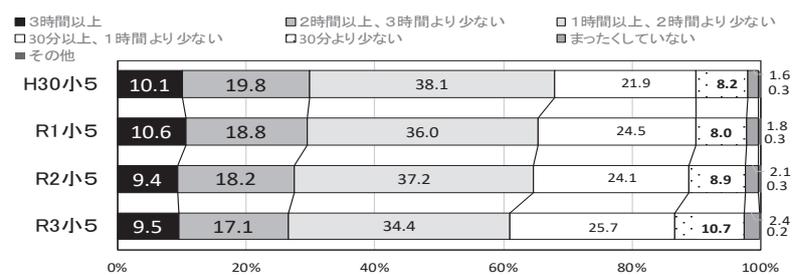
学校の授業以外に、普段（月～金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。（宿題や学習塾や家庭教師の時間もふくみます。）

R3年度調査結果

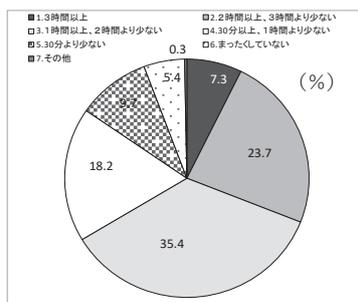


小学校 第5学年

同学年経年比較

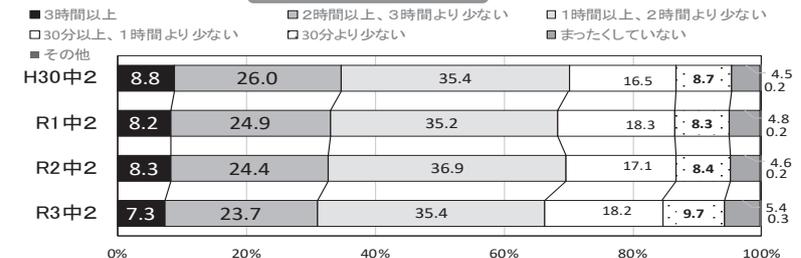


R3年度調査結果



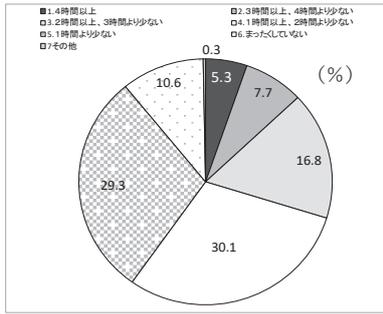
中学校 第2学年

同学年経年比較



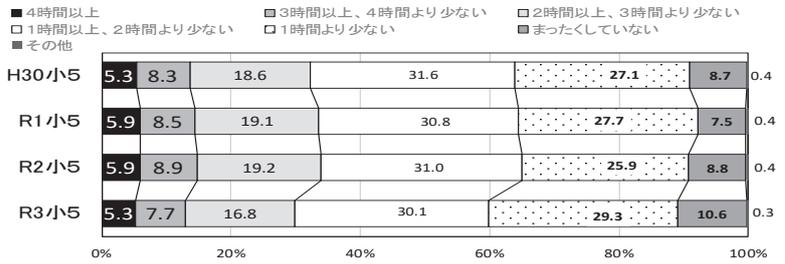
土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。（宿題や学習塾や家庭教師の時間もふくみます。）

R3年度調査結果

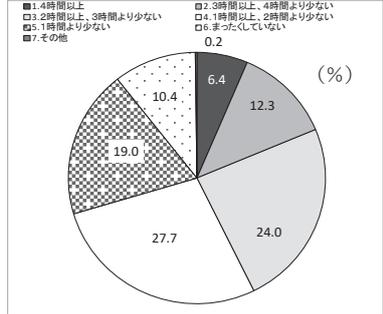


小学校 第5学年

同学年経年比較

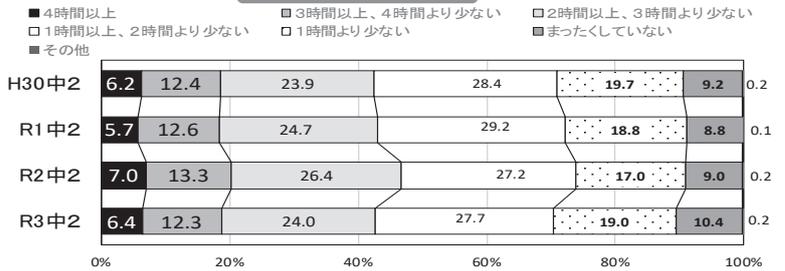


R3年度調査結果



中学校 第2学年

同学年経年比較

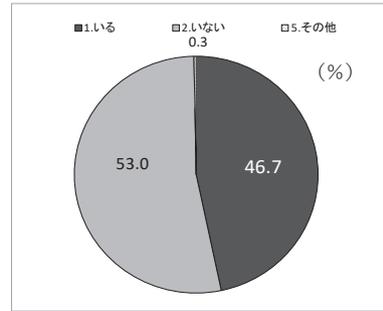


8

家庭環境について

あなたは家で、日常的に家族の誰か（父母、祖父母、姉妹兄弟等）の世話をしていますか。

R3年度調査結果

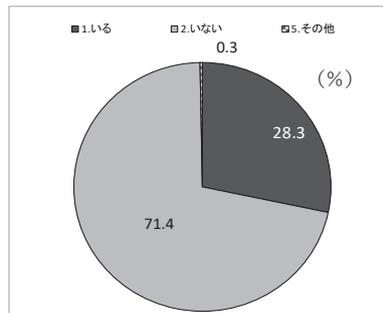


小学校 第5学年

同学年経年比較

新設問のため
経年比較無し

R3年度調査結果



中学校 第2学年

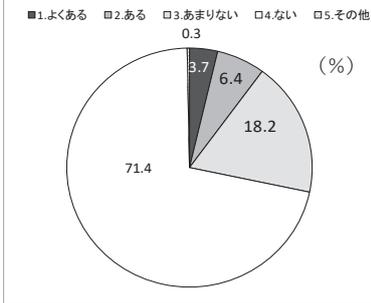
同学年経年比較

新設問のため
経年比較無し

44/45

家で世話をしている家族がいて、勉強や遊びに時間がとれないなど、困っていることがありますか。

R3年度調査結果

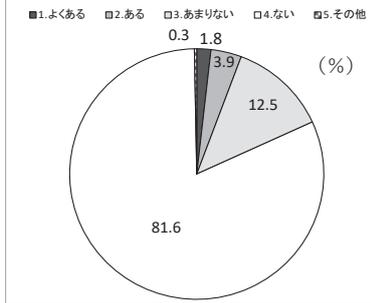


小学校 第5学年

同学年経年比較

新設問のため
経年比較無し

R3年度調査結果



中学校 第2学年

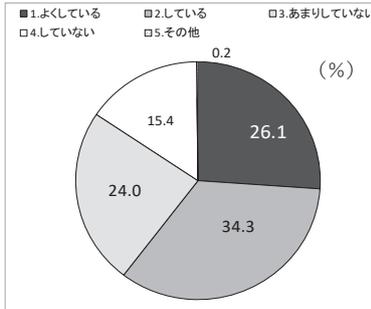
同学年経年比較

新設問のため
経年比較無し

45/46

悩みや困ったことがあったとき、だれかに相談していますか。

R3年度調査結果

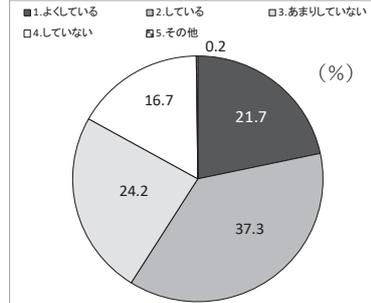


小学校 第5学年

同学年経年比較

新設問のため
経年比較無し

R3年度調査結果



中学校 第2学年

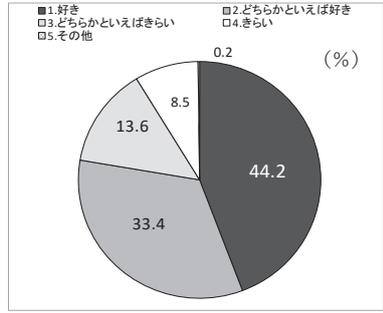
同学年経年比較

新設問のため
経年比較無し

9 読書について

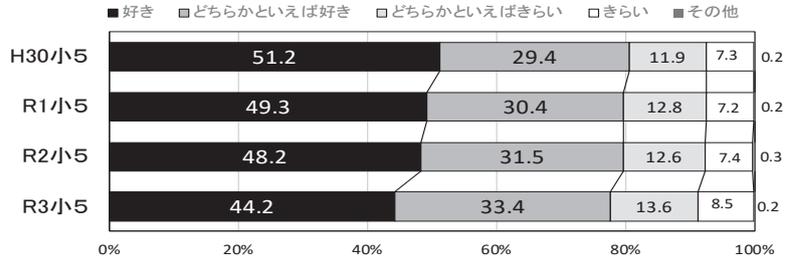
46/47 読書は好きですか。

R3年度調査結果

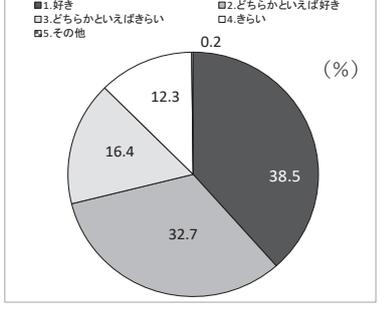


小学校 第5学年

同学年経年比較

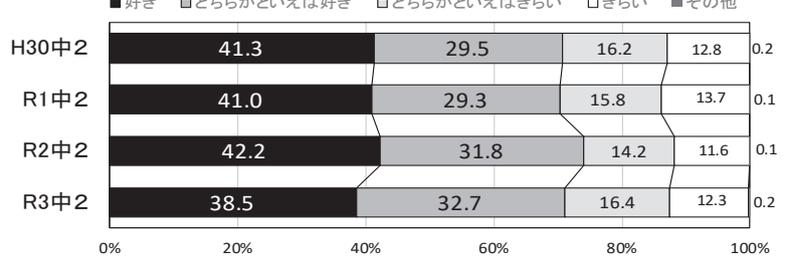


R3年度調査結果



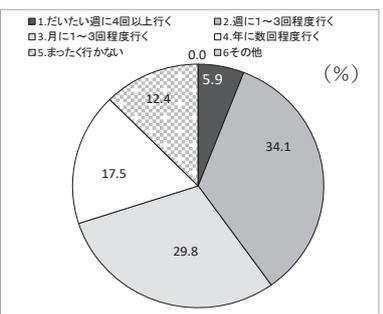
中学校 第2学年

同学年経年比較



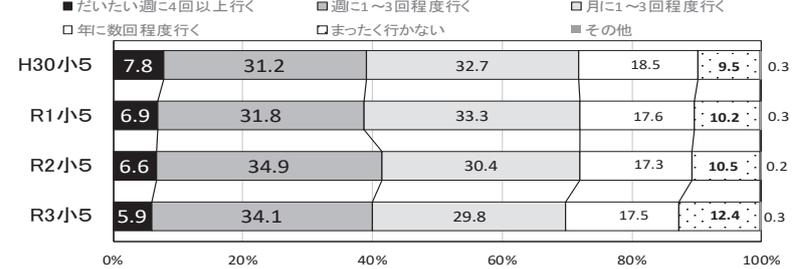
47/48 本（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）を読んだり借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか。

R3年度調査結果

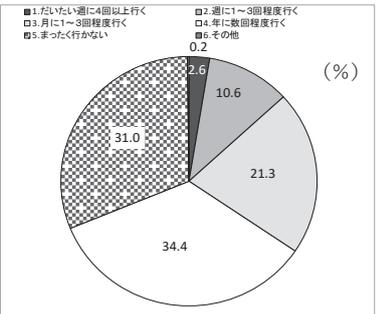


小学校 第5学年

同学年経年比較

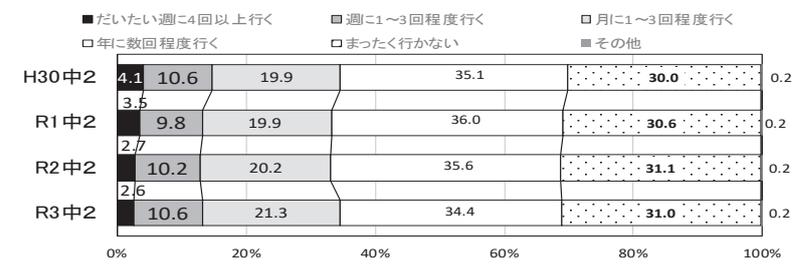


R3年度調査結果



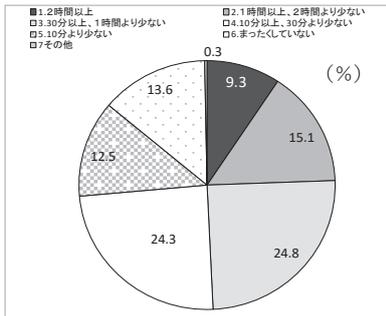
中学校 第2学年

同学年経年比較



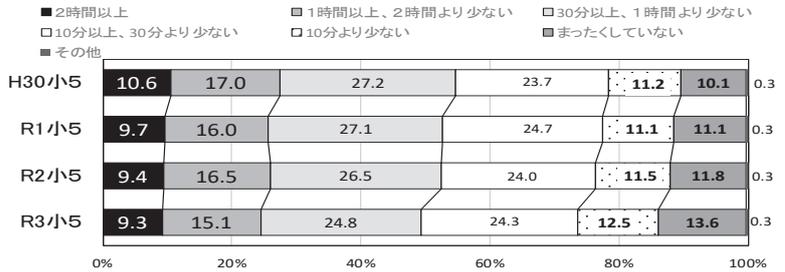
学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日にどれくらいの時間、読書を読みますか。

R3年度調査結果

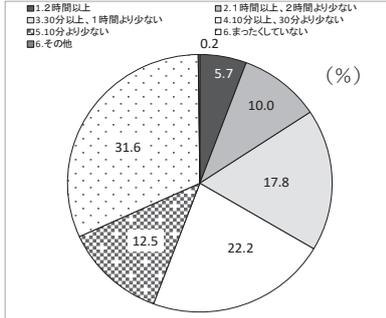


小学校 第5学年

同学年経年比較

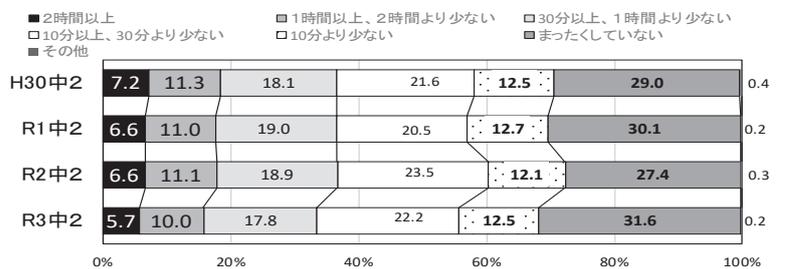


R3年度調査結果



中学校 第2学年

同学年経年比較

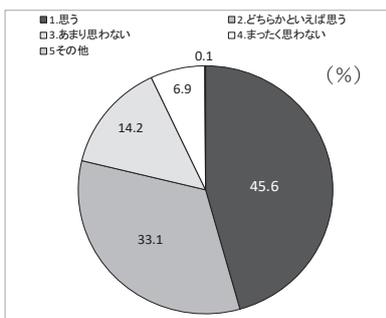


10

学校生活について

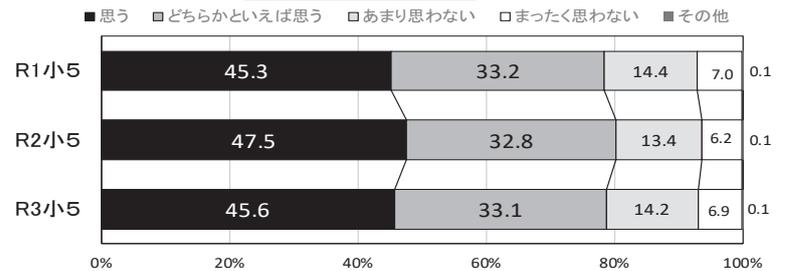
学校に行くのは楽しいと思いますか。

R3年度調査結果

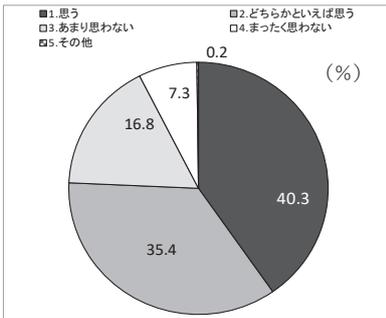


小学校 第5学年

同学年経年比較

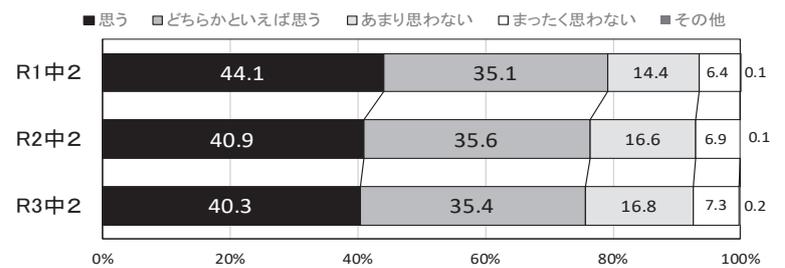


R3年度調査結果



中学校 第2学年

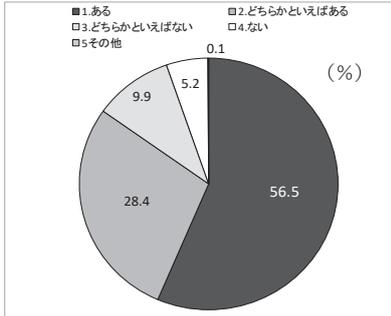
同学年経年比較



50/51

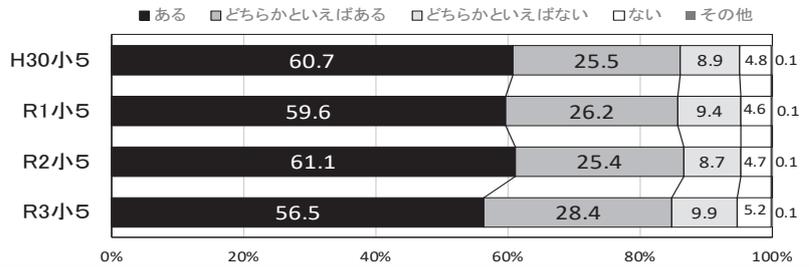
学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか。

R3年度調査結果

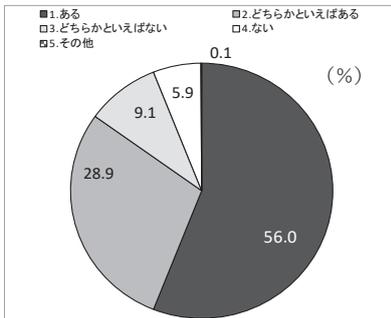


小学校 第5学年

同学年経年比較

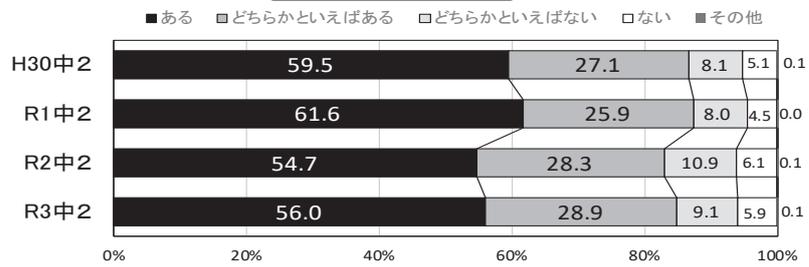


R3年度調査結果



中学校 第2学年

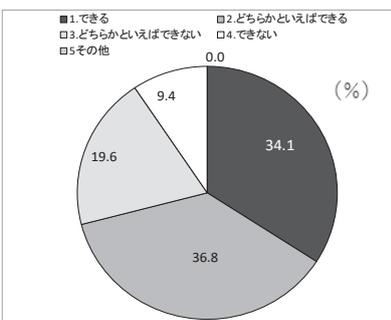
同学年経年比較



51/52

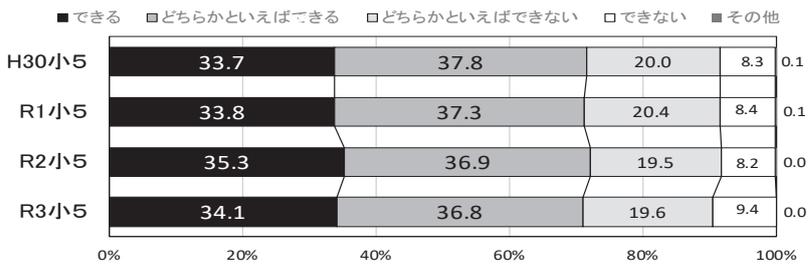
学級では、安心して自分の意見を言うことができますか。

R3年度調査結果

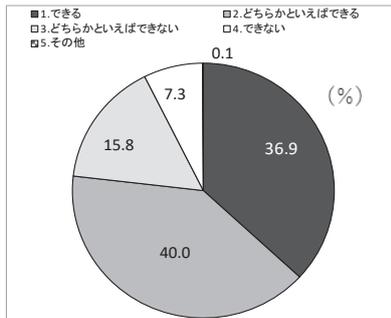


小学校 第5学年

同学年経年比較

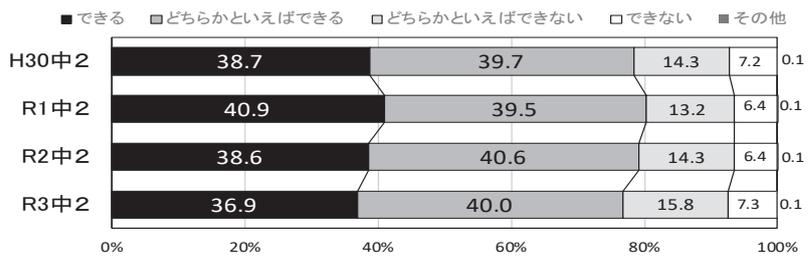


R3年度調査結果



中学校 第2学年

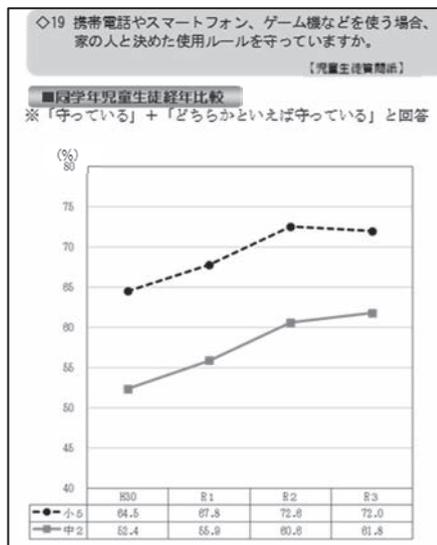
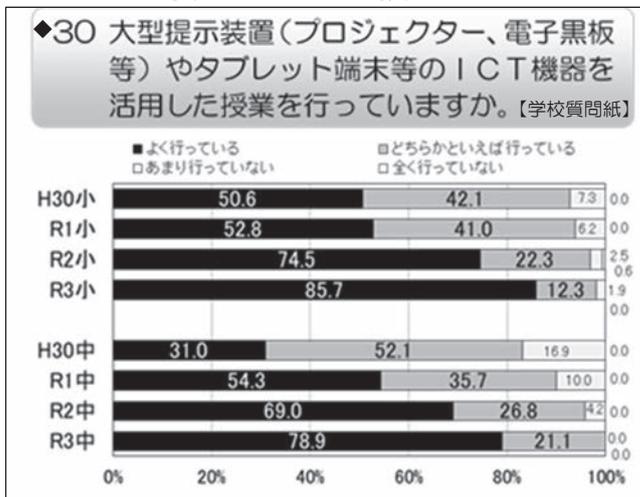
同学年経年比較



健康に配慮した ICT 端末の利用

本年度から小・中学校で「1人1台端末」の本格的な活用が始まりました。香川県学習状況調査の質問紙の結果からは、ICT 機器利用の現状と今後の課題が見て取れます。

ICT 機器を活用した授業の増加



◆30の質問に対して、約80%の小・中学校が「よく行っている」と回答しており、ICT 機器が授業で活用されていることが伺えます。この状況から今後、ICT 端末を授業のみでなく家庭に持ち帰って使用する機会の増加が想定されます。ICT 端末は、集中して使っていると長時間の使用につながることがあります。長時間の使用は、心身に影響を及ぼすおそれがあります。家庭で ICT 端末を使う際には、使う時間や場所などについて児童生徒と一緒に考える場をもってから使い始めることが大切です。

しかし、◇19の質問に対して、「家の人と決めた使用ルールを守っている」と肯定的に回答している児童生徒が昨年度までは大きく伸びていましたが、この一年で使用ルール遵守に対する意識の薄れを感じます。

家庭に ICT 端末を持ち帰らせる際には、健康のためにも以下の資料を参考に、ICT 端末を使うときの約束を学校で一度共有してからにしましょう。

児童用

タブレットを使うときの5つのやくそく

- タブレットを使うときは姿勢よくしよう
・タブレットを見るときは、目から30cm以上はなして見よう。
- 30分に1回はタブレットから目をはなそう
・30分に1回はタブレットの画面から目をはなして、20秒以上、遠くを見よう。
- ねる前はタブレットを使わないようにしましょう
・ぐっすり寝るために、ねる1時間前からはデジタル機器を使わないようにしましょう。
- 自分の目を大切にしよう
・時間を決めて遠くを見たり、目がかかないようにまばたきをしたりして、自分の目を大切にしよう。
- ルールを守って使おう
・分使ったら1回休み、学校のタブレットはばんきょうに関係のないことに使わないなど、学校やうちのルールを守って使おう。

生徒用

タブレットを使うときの5つの約束

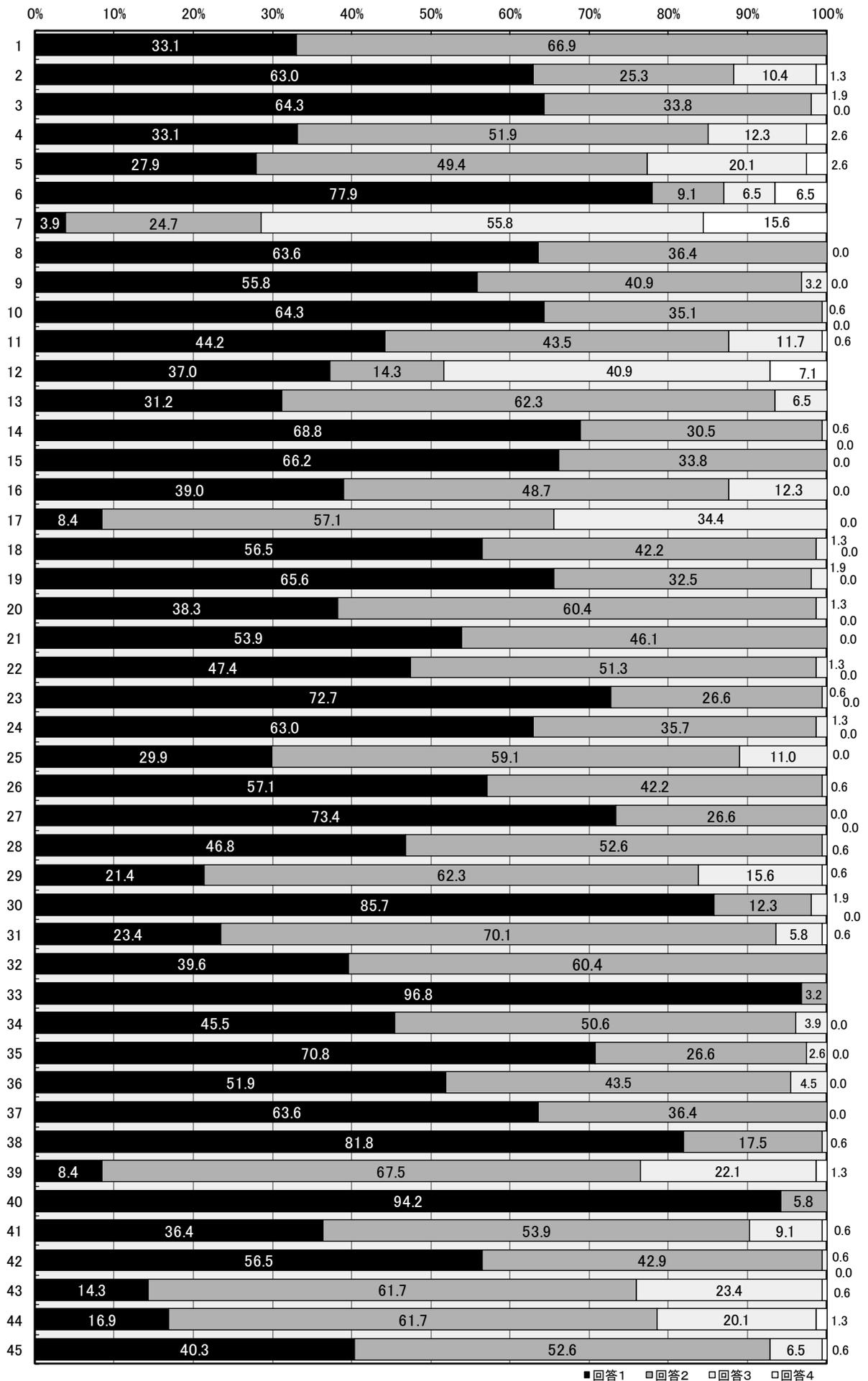
- タブレットを使うときは姿勢よく
・タブレットを見るときは、目を30cm以上、離しましょう。
- 30分に1回はタブレットから目を離す
・30分に1回はタブレットの画面から目を離して、20秒以上、遠くを見ましょう。
- 寝る前にはタブレットは使わない
・ぐっすり寝るために、寝る1時間前からはデジタル機器の利用は控えましょう。
- 自分の目を大切に
・時間を決めて遠くを見たり、目がかかないようにまばたきをしたりして、自分の目を大切にしましょう。
- ルールを守って使う
・分使ったら1回中断する、学校のタブレットは学習に関係のないことに使わないなど、学校や家庭のルールを守って使しましょう。

※文部科学省「端末利用に当たったの児童生徒の健康への配慮等に関する啓発リーフレットについて」より

2 学校質問紙調査結果

(1) 小学校調査結果一覧

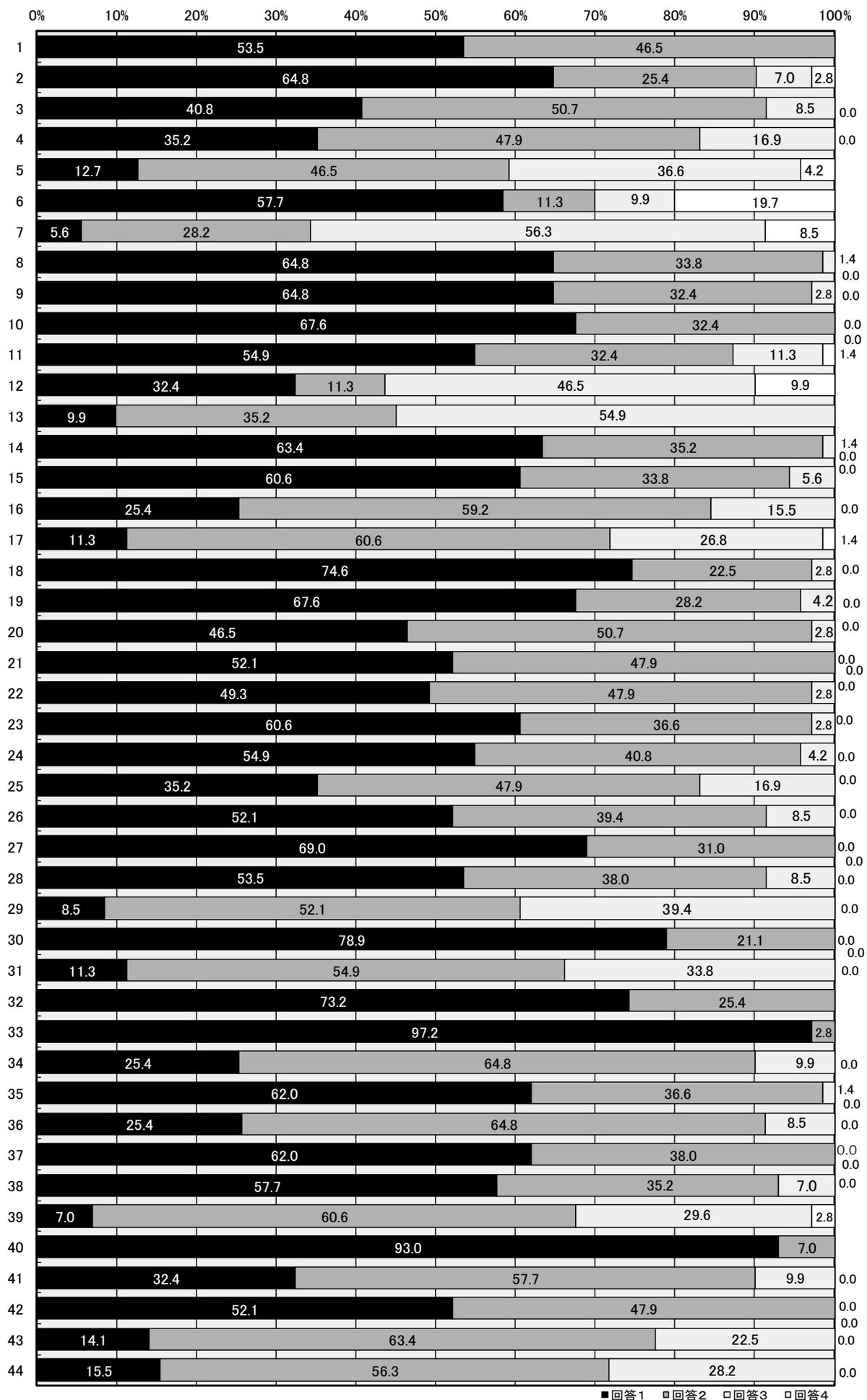
番号	分類	質問項目	回答1	回答2	回答3	回答4
1	1 家庭・地域との連携	地域の人が自由に授業参観などができる学校公開日を設けていますか。	はい	いいえ		
2		ホームページを更新し、学校の教育活動について情報提供を行っていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	よく行っていない、または開設していない
3		PTAや地域の人が学校の諸活動にボランティアとして参加してくれますか。	よく参加してくれる	参加してくれる	あまり参加してくれない	全く参加してくれない
4		いじめ、暴力行為が発生した時の対応マニュアルについて、保護者等へ情報提供を行っていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
5		地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、保護者や地域の人の協働による活動を行いましたか。	よく行った	どちらかといえば行った	あまり行っていない	全く行っていない
6		「ネット・ゲーム依存予防対策学習シート」は、活用していますか。	学活等で指導した	1に加え懇談会で活用した	2に加え事後指導した	配布したが活用していない
7		いじめの認知件数や学校いじめ対策組織の構成員を保護者等へ積極的に情報提供していますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
8	2 社会性・道徳性の育成	児童生徒が学級や学校全体で目標を持って取り組んだり挑戦したりする活動を取り入れていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
9		学級活動や児童会・生徒会活動は、児童生徒による自発的・自治的な取り組みが推進されるよう指導・支援を行っていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
10		学校生活の中で、児童生徒一人一人のよさを見付け、児童生徒や保護者に伝えるなど、積極的に評価していますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
11		児童生徒によるボランティア活動を実施していますか。（特別活動に位置付けられている幼児・高齢者等との触れ合い活動や、あいさつ運動、奉仕活動、防災活動等も含む）	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
12		児童生徒が、ネットの望ましい利用について自ら話し合い、ルールを作成していますか。	作成済	作成中	検討中	予定なし
13		保護者などに道徳の授業を公開しましたか。（本年度の予定を含む）	全学級で行った	一部の学級で行った	していない	
14	3 基礎的・基本的内容の定着と思考力・判断力・表現力等の育成の両立	国語の指導として、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行っていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
15		算数（数学）の指導として、計算問題などの反復練習をする授業を行っていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
16		昼休みや放課後の時間等を利用した補充的な学習サポートを実施していますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
17	より困難、より高度な課題に挑戦するなど、それぞれの教科の知識・技能を活用する発展的な学習活動を行いましたか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない	
18	4 指導方法等について	学習規律（私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をするなど）の維持を徹底していますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
19		学習方法（適切にノートをとる、テストの間違いを振り返って学習するなど）に関する指導をしていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
20		児童生徒の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
21		児童生徒の発言や活動の時間を確保して授業を進めていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
22		単元や授業で身に付けさせたい力を明らかにした上で、授業の計画を立てていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
23		授業で目標を児童生徒に示す活動を計画的に取り入れていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
24		授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
25		授業において、児童生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
26		普段の授業で、児童生徒の学び合う場を取り入れていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
27		普段の授業で、児童生徒が安心して発言できる雰囲気づくりに取り組んでいますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
28		普段の授業で、児童生徒が話し合う活動を通して、考えを広げたり深めたりする機会を設けていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
29		新聞や学校図書館等を活用した授業を行っていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
30	大型提示装置（プロジェクター、電子黒板等）やタブレット端末等のICT機器を活用した授業を行っていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない	
31	「ふるさと教材」等を活用した、ふるさとの素晴らしさを実感させる授業を行っていますか。（社会科や道徳科等での、ふるさとや身近な地域・郷土に関する授業も含む）	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない	
32	外国語活動（小5・6年外国語を含む）の授業について、校内研修を実施しましたか。	はい	いいえ			
33	小・中が連携し、小学6年生の児童に対して、中学校への進学に対する不安をなくすための取組を行いましたか。（予定を含む）	はい	いいえ			
34	5 家庭学習	保護者に対して児童生徒の家庭学習を促すような働きかけを行っていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
35		児童生徒に与えた家庭学習の課題について、評価・指導を行っていますか。（長期休業期間中の課題は除く）	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
36		家庭学習の取組として、学校では、児童生徒に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えるようにしていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
37	6 学校経営他	学校の教育目標やその達成に向けた方策について、全教職員の間で共有し、取組に当たっていますか。	よくしている	どちらかといえばしている	あまりしていない	全くしていない
38		模擬授業や研究授業、事例研究など、実践的な研修を行っていますか。	よくしている	どちらかといえばしている	あまりしていない	全くしていない
39		現職教育等で「さぬきの授業 基礎・基本〔改訂版〕」を活用していますか。	よくしている	どちらかといえばしている	あまりしていない	全くしていない
40		前年度、国や県の調査結果を分析し、具体的な教育活動の改善に取り組んだり次年度の指導計画に反映させたりしましたか。	はい	いいえ		
41		ノー会議デーやノー残業デーの設置等、教職員が定時に退勤しやすい職場環境づくりに取り組んでいますか。	よくしている	どちらかといえばしている	あまりしていない	全くしていない
42		積極的に校務の改善に取り組んでいますか。（会議の合理化や工夫など、以前からの取組の継続も含む）	取り組んでいる	どちらかといえば取り組んでいる	あまり取り組んでいない	全く取り組んでいない
43		校務の改善に取り組んだり、学級規模が縮小されたりした結果、ゆとりをもって児童生徒に向き合ったり、校務や授業づくりに取り組んだりできていますか。	できている	どちらかといえばできている	あまりできていない	できていない
44		校務の改善に取り組んだり、学級規模が縮小されたりした結果、教職員の退庁時刻は早くなっていますか。	早くなっている	どちらかといえば早くなっている	あまり早くなっていない	早くなっていない
45		幼稚園等と小学校が就学前教育と小学校教育の接続の視点から、連携した取組を行っていますか。（予定を含む）	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない



IV 学校質問紙調査
調査結果・経年比較

(2) 中学校調査結果一覧

番号	分類	質問項目	回答1	回答2	回答3	回答4
1	1 家庭・地域との連携	地域の人が自由に授業参観などができる学校公開日を設けていますか。	はい	いいえ		
2		ホームページを更新し、学校の教育活動について情報提供を行っていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない、または開設していない
3		PTAや地域の人が学校の諸活動にボランティアとして参加してくれますか。	よく参加してくれる	参加してくれる	あまり参加してくれない	全く参加してくれない
4		いじめ、暴力行為が発生した時の対応マニュアルについて、保護者等へ情報提供を行っていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
5		地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、保護者や地域の人との協働による活動を行いましたか。	よく行った	どちらかといえば行った	あまり行っていない	全く行っていない
6		「ネット・ゲーム依存予防対策学習シート」は、活用していますか。	学活等で指導した	1に加え懇談会で活用した	2に加え事後指導した	配布したが活用していない
7		いじめの認知件数や学校いじめ対策組織の構成員を保護者等へ積極的に情報提供していますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
8	2 社会性・道徳性の育成	児童生徒が学級や学校全体で目標を持って取り組んだり挑戦したりする活動を取り入れていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
9		学級活動や児童会・生徒会活動は、児童生徒による自発的・自治的な取組みが推進されるよう指導、支援を行っていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
10		学校生活の中で、児童生徒一人一人のよさを見付け、児童生徒や保護者に伝えるなど、積極的に評価していますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
11		児童生徒によるボランティア活動を実施していますか。（特別活動に位置付けられている幼児・高齢者等との触れ合い活動や、あいさつ運動、奉仕活動、防災活動等も含む）	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
12		児童生徒が、ネットの望ましい利用について自ら話し合い、ルールを作成していますか。	作成済	作成中	検討中	予定なし
13	保護者などに道徳の授業を公開しましたか。（本年度の予定を含む）	全学級で行った	一部の学級で行った	していない		
14	3 基礎的・基本的内容の定着と思考力・判断力・表現力等の育成の両立	国語の指導として、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行っていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
15		算数（数学）の指導として、計算問題などの反復練習をする授業を行っていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
16		昼休みや放課後の時間等を利用した補充的な学習サポートを実施していますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
17		より困難、より高度な課題に挑戦するなど、それぞれの教科の知識・技能を活用する発展的な学習活動を行いましたか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
18	4 指導方法等について	学習規律（私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をするなど）の維持を徹底していますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
19		学習方法（適切にノートをとる、テストの間違いを振り返って学習するなど）に関する指導をしていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
20		児童生徒の様々な考えを引き出ししたり、思考を深めたりするような発問や指導をしていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
21		児童生徒の発言や活動の時間を確保して授業を進めていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
22		単元や授業で身に付けさせたい力を明らかにした上で、授業の計画を立てていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
23		授業で目標を児童生徒に示す活動を計画的に取り入れていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
24		授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
25		授業において、児童生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
26		普段の授業で、児童生徒の学び合う場を取り入れていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
27		普段の授業で、児童生徒が安心して発言できる雰囲気づくりに取り組んでいますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
28		普段の授業で、児童生徒が話し合う活動を通して、考えを広げたり深めたりする機会を設けていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
29	新聞や学校図書館等を活用した授業を行っていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない	
30	大型提示装置（プロジェクター、電子黒板等）やタブレット端末等のICT機器を活用した授業を行っていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない	
31	「ふるさと教材」等を活用した、ふるさとの素晴らしさを実感させる授業を行っていますか。（社会科や道徳科等での、ふるさとや身近な地域・郷土に関する授業も含む）	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない	
32	小学校外国語活動（小5・6年外国語を含む）の実施状況を把握して外国語教育における小中連携を実施しましたか。	はい	いいえ			
33	小・中が連携し、小学6年生の児童に対して、中学校への進学に対する不安をなくすための取組を行いましたか。（予定を含む）	はい	いいえ			
34	5 家庭学習	保護者に対して児童生徒の家庭学習を促すような働きかけを行っていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
35		児童生徒に与えた家庭学習の課題について、評価・指導を行っていますか。（長期休業期間中の課題は除く）	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
36		家庭学習の取組として、学校では、児童生徒に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えるようにしていますか。	よく行っている	どちらかといえば行っている	あまり行っていない	全く行っていない
37	6 学校経営他	学校の教育目標やその達成に向けた方策について、全教職員の間で共有し、取組に当たっていますか。	よくしている	どちらかといえばしている	あまりしていない	全くしていない
38		模擬授業や研究授業、事例研究など、実践的な研修を行っていますか。	よくしている	どちらかといえばしている	あまりしていない	全くしていない
39		現職教育等で「さぬきの授業 基礎・基本〔改訂版〕」を活用していますか。	よくしている	どちらかといえばしている	あまりしていない	全くしていない
40		前年度、国や県の調査結果を分析し、具体的な教育活動の改善に取り組んだり次年度の指導計画に反映させたりしましたか。	はい	いいえ		
41		ノー会議デーやノー残業デーの設置等、教職員が定時に退勤しやすい職場環境づくりに取り組んでいますか。	よくしている	どちらかといえばしている	あまりしていない	全くしていない
42		積極的に校務の改善に取り組んでいますか。（会議の合理化や工夫など、以前からの取組の継続も含む）	取り組んでいる	どちらかといえば取り組んでいる	あまり取り組んでいない	全く取り組んでいない
43		校務の改善に取り組んだり、学級規模が縮小された結果、ゆとりをもって児童生徒に向き合ったり、校務や授業づくりに取り組んだりできていますか。	できている	どちらかといえばできている	あまりできていない	できていない
44		校務の改善に取り組んだり、学級規模が縮小された結果、教職員の退庁時刻は早くなっていますか。	早くなっている	どちらかといえば早くなっている	あまり早くならない	早くならない



IV 学校質問紙調査
調査結果・経年比較

(3) 質問内容一覧

学校質問紙調査は、各学校の各種教育活動の取組状況を把握し、児童生徒に対する教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを目的とし、質問項目は全国学力・学習状況調査や県教育基本計画との関連を考慮して設定している。

*R3結果一覧は P68～P71に掲載

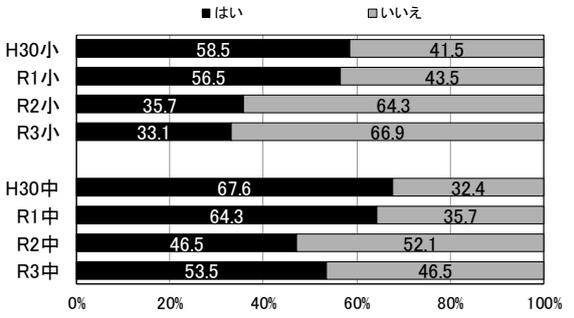
学校質問紙 質問項目		全国 関連	基本 計画 指標	掲載P 経年 比較
■1 家庭・地域との連携				
1	地域の人が自由に授業参観などができる学校公開日を設けていますか。	-		73
2	ホームページを更新し、学校の教育活動について情報提供を行っていますか。	-		
3	PTAや地域の人が学校の諸活動にボランティアとして参加してくれますか。	-		
4	いじめ、暴力行為が発生した時の対応マニュアルについて、保護者等へ情報提供を行っていますか。	-		
5	地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、保護者や地域の人との協働による活動を行いましたか。	83	●	
6	「ネット・ゲーム依存予防対策学習シート」は、活用していますか。	-		
7	いじめの認知件数や学校いじめ対策組織の構成員を保護者等へ積極的に情報提供していますか。	-		
■2 社会性・道徳性の育成				
8	児童生徒が学級や学校全体で目標を持って取り組んだり挑戦したりする活動を取り入れていますか。	(9)		74
9	学級活動や児童会・生徒会活動は、児童生徒による自発的・自治的な取組みが推進されるよう指導、支援を行っていますか。	-		
10	学校生活の中で、児童生徒一人一人のよさを見付け、児童生徒や保護者に伝えるなど、積極的に評価していますか。	(11)		
11	児童生徒によるボランティア活動を実施していますか。(特別活動に位置付けられている幼児・高齢者等との触れ合い活動や、あいさつ運動、奉仕活動、防災活動等も含む)	-		
12	児童生徒が、ネットの望ましい利用について自ら話し合い、ルールを作成していますか。	-		
13	保護者などに道徳の授業を公開しましたか。(本年度の予定を含む)	-		
■3 基礎的・基本的内容の定着と思考力・判断力・表現力等の育成の両立				
14	国語の指導として、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行っていますか。	-		74
15	算数(数学)の指導として、計算問題などの反復練習をする授業を行っていますか。	-		
16	昼休みや放課後の時間等を利用した補充的な学習サポートを実施していますか。	-		75
17	より困難、より高度な課題に挑戦するなど、それぞれの教科の知識・技能を活用する発展的な学習活動を行いましたか。	-		
■4 指導方法等について				
18	学習規律(私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をするなど)の維持を徹底していますか。	-		75
19	学習方法(適切にノートをとる、テストの間違いを振り返って学習するなど)に関する指導をしていますか。	-		
20	児童生徒の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしていますか。	-		
21	児童生徒の発言や活動の時間を確保して授業を進めていますか。	35		
22	単元や授業で身に付けさせたい力を明らかにした上で、授業の計画を立てていますか。	-		
23	授業で目標を児童生徒に示す活動を計画的に取り入れていますか。	-		
24	授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れていますか。	-		76
25	授業において、児童生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現などの学習活動を取り入れていますか。	34		
26	普段の授業で、児童生徒の学び合う場を取り入れていますか。	-		
27	普段の授業で、児童生徒が安心して発言できる雰囲気づくりに取り組んでいますか。	-		
28	普段の授業で、児童生徒が話し合う活動を通して、考えを広げたり深めたりする機会を設けていますか。	(32)		
29	新聞や学校図書館等を活用した授業を行っていますか。	-		
30	大型提示装置(プロジェクター、電子黒板等)やタブレット端末のICT機器を活用した授業を行っていますか。	(66)		
31	「ふるさと教材」等を活用した、ふるさとの素晴らしさを実感させる授業を行っていますか。(社会科や道徳科等での、ふるさとや身近な地域・郷土に関する授業も含む)	-		
32	[小]外国語活動(小5・6年外国語を含む)の授業について、校内研修を実施しましたか。	(62)		77
33	[中]小学校外国語活動(小5・6年外国語を含む)の実施状況を把握して外国語教育における小中連携を実施しましたか。	-		
33	小・中が連携し、小学6年生の児童に対して、中学校への進学に対する不安をなくすための取組を行いましたか。(予定を含む)	-		
■5 家庭学習				
34	保護者に対して児童生徒の家庭学習を促すような働きかけを行っていますか。	-		77
35	児童生徒に与えた家庭学習の課題について、評価・指導を行っていますか。(長期休業期間中の課題は除く)	-		
36	家庭学習の取組として、学校では、児童生徒に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えるようにしていますか。	-		
■6 学校経営他				
37	学校の教育目標やその達成に向けた方策について、全教職員の間で共有し、取組に当たっていますか。	-		78
38	模擬授業や研究授業、事例研究など、実践的な研修を行っていますか。	(23)		
39	現職教育等で「さめきの授業 基礎・基本[改訂版]」を活用していますか。	-		
40	前年度、国や県の調査結果を分析し、具体的な教育活動の改善に取り組んだり次年度の指導計画に反映させたりしましたか。	(88-91)		
41	ノー会議デーやノー残業デーの設置等、教職員が定時に退動しやすい職場環境づくりに取り組んでいますか。	(16)		
42	積極的に校務の改善に取り組んでいますか。(会議の合理化や工夫など、以前からの取組の継続も含む)	(16)		
43	校務の改善に取り組んだり、学級規模が縮小された結果、ゆとりをもって児童生徒に向き合ったり、校務や授業づくりに取り組んだりできていますか。	(16)		
44	校務の改善に取り組んだり、学級規模が縮小された結果、教職員の退庁時刻は早くなっていますか。	(16)		
45	幼稚園等と小学校が就学前教育と小学校教育の接続の視点から、連携した取組を行っていますか。(予定を含む)	-		

※全国学力・学習状況調査と同一の質問項目については、質問番号(小の番号/中の番号)を、類似の質問項目については質問番号に()を付けて、全国関連の欄に表記している。

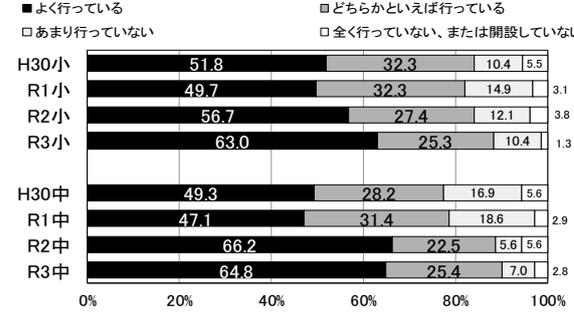
(4) 調査結果経年比較

1 家庭・地域との連携

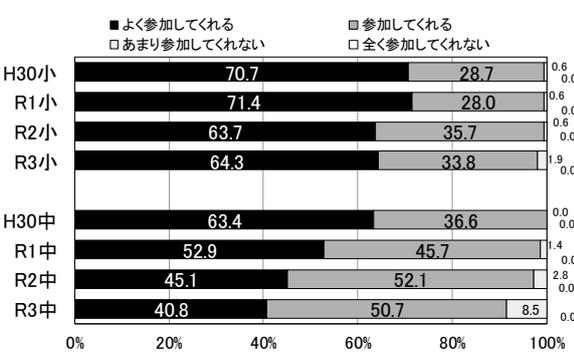
1 地域の方が自由に授業参観などができる学校公開日を設けていますか。



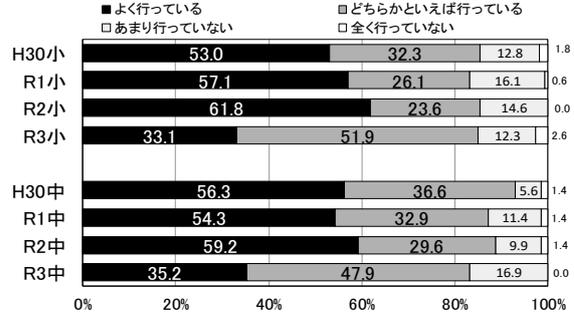
2 ホームページを更新し、学校の教育活動について情報提供を行っていますか。



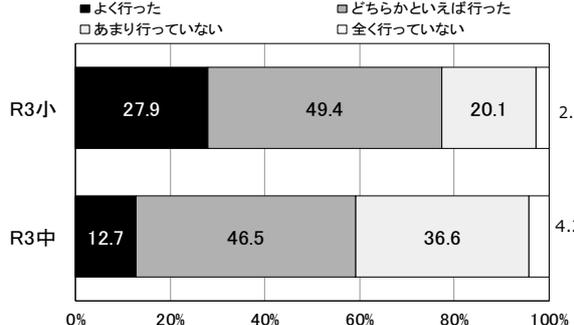
3 PTAや地域の方が学校の諸活動にボランティアとして参加してくれますか。



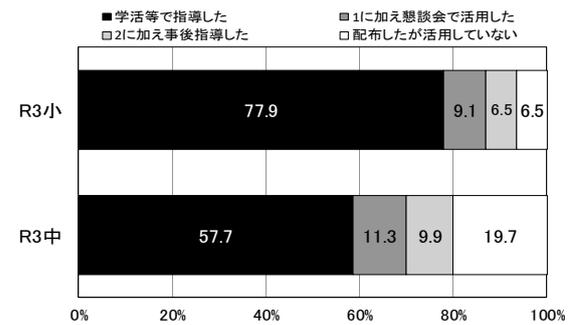
4 いじめ、暴力行為が発生した時の対応マニュアルについて、保護者等へ情報提供を行っていますか。



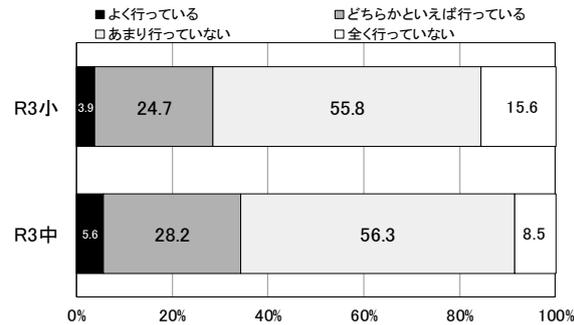
5 地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、保護者や地域の人との協働による活動を行いましたか。



6 「ネット・ゲーム依存予防対策学習シート」は、活用していますか。



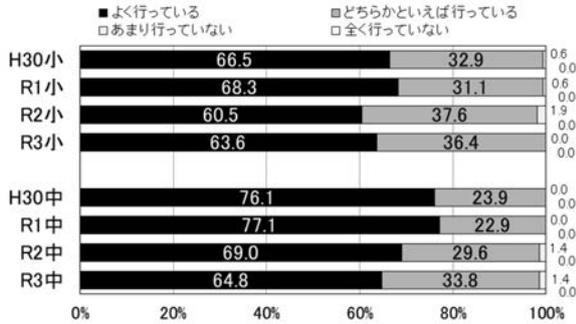
7 いじめの認知件数や学校いじめ対策組織の構成員を保護者等へ積極的に情報提供していますか。



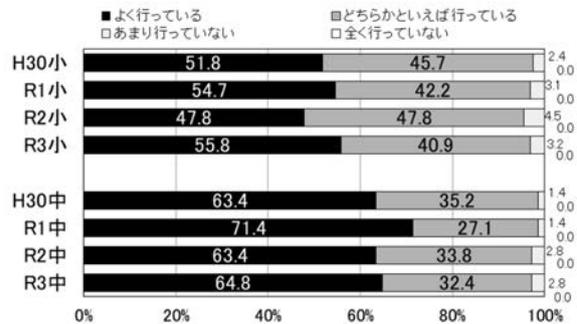
IV 学校質問紙調査
調査結果・経年比較

2 社会性・道徳性の育成

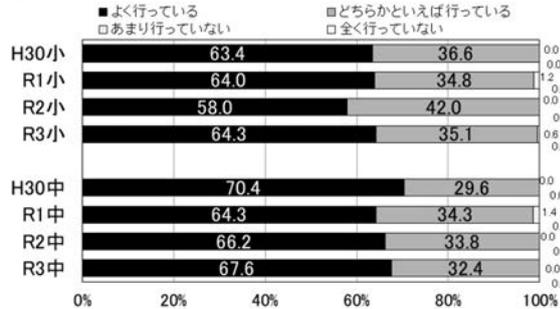
8 児童生徒が学級や学校全体で目標を持って取り組んだり挑戦したりする活動を取り入れていますか。



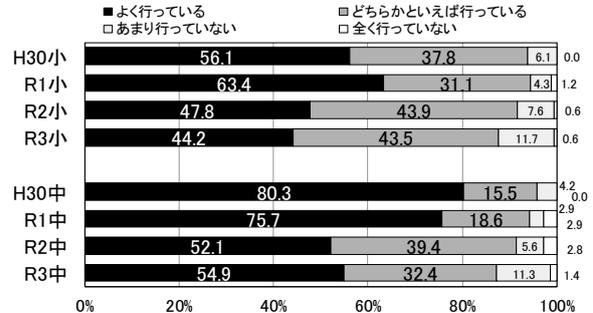
9 学級活動や児童会・生徒会活動は、児童生徒による自発的・自治的な取組みが推進されるよう指導、支援を行っていますか。



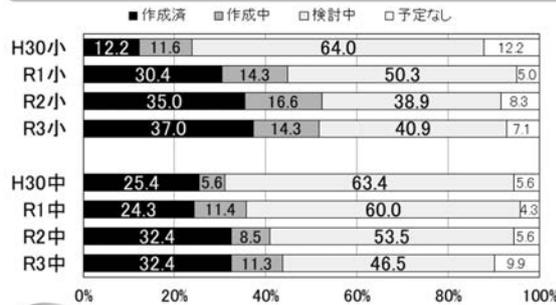
10 学校生活の中で、児童生徒一人一人のよさを見つけ、児童生徒や保護者に伝えるなど、積極的に評価していますか。



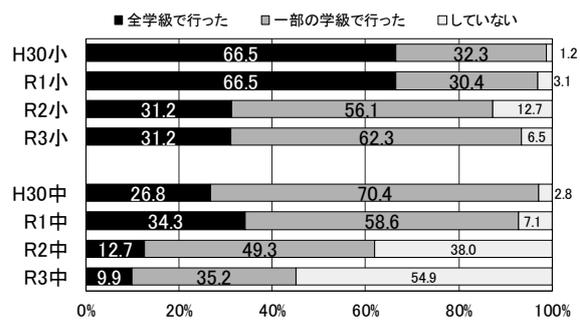
11 児童生徒によるボランティア活動を実施していますか。



12 児童生徒が、ネットの望ましい利用について自ら話し合い、ルールを作成していますか。

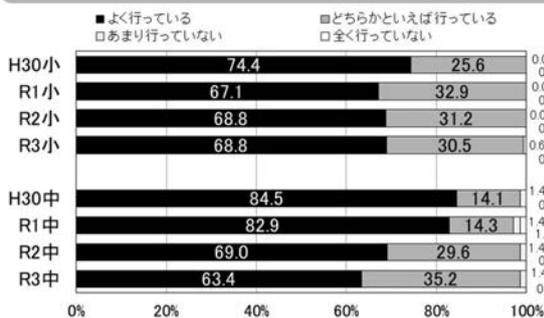


13 保護者などに道徳の授業を公開しましたか。(本年度の予定を含む)

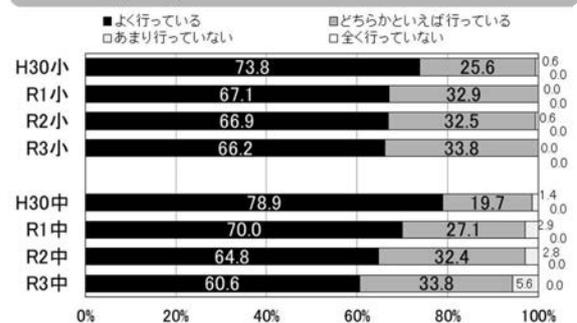


3 基礎的・基本的内容の定着と思考力・判断力・表現力等の育成の両立

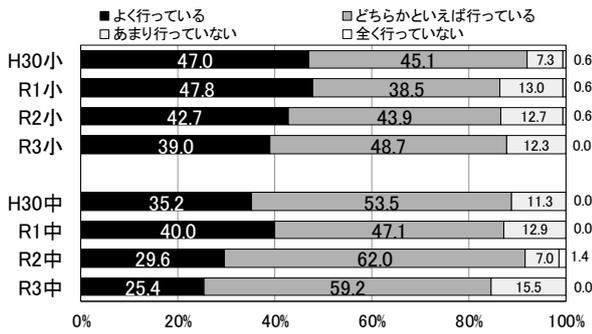
14 国語の指導として、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行っていますか。



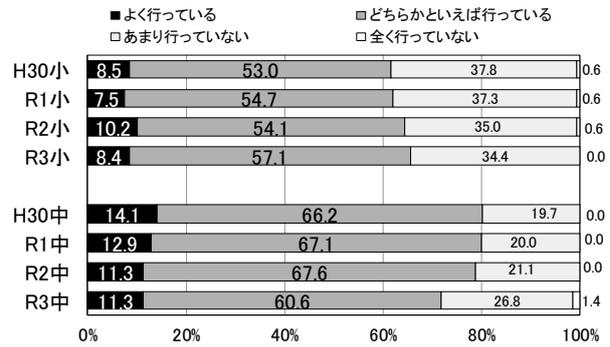
15 算数(数学)の指導として、計算問題などの反復練習をする授業を行っていますか。



16 昼休みや放課後の時間等を利用した補足的な学習サポートを実施していますか。

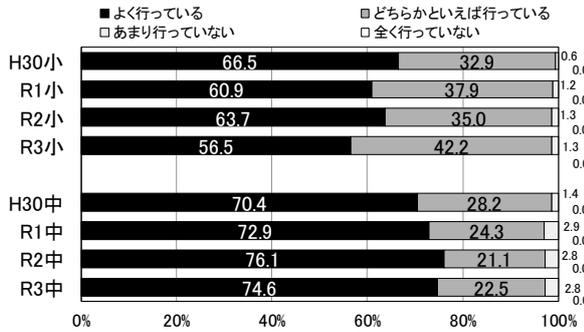


17 より困難、より高度な課題に挑戦するなど、それぞれの教科の知識・技能を活用する発展的な学習活動を行いましたか。

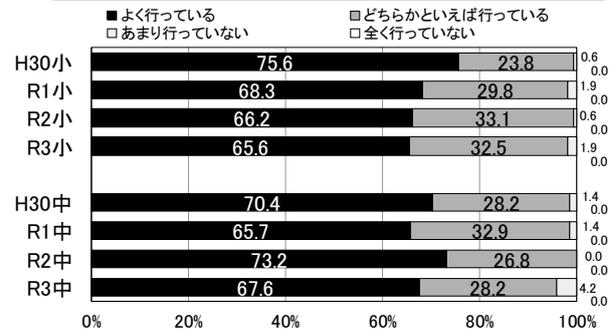


4 指導方法等について

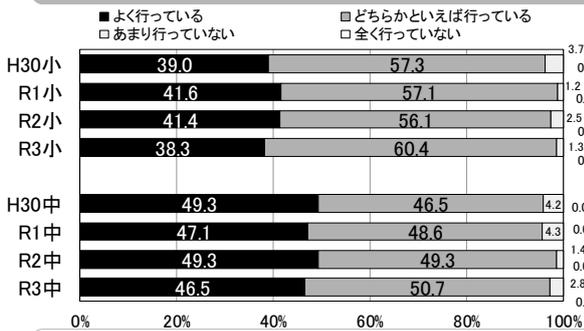
18 学習規律（私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をするなど）の維持を徹底していますか。



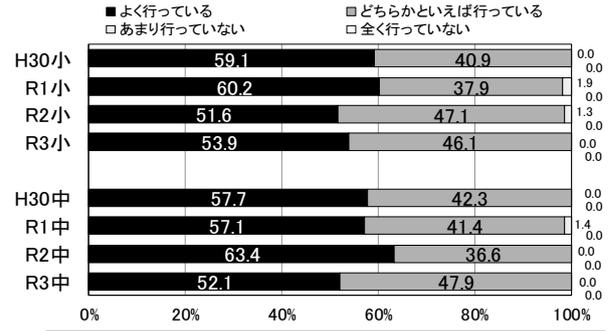
19 学習方法（適切にノートをとる、テストの間違いを振り返って学習するなど）に関する指導をしていますか。



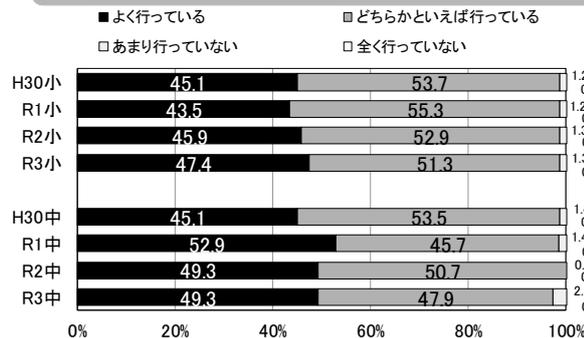
20 児童生徒の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしていますか。



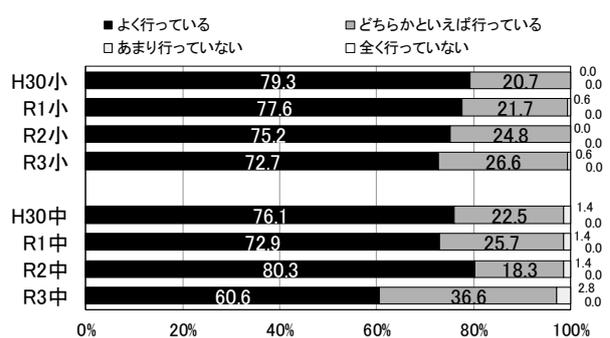
21 児童生徒の発言や活動の時間を確保して授業を進めていますか。



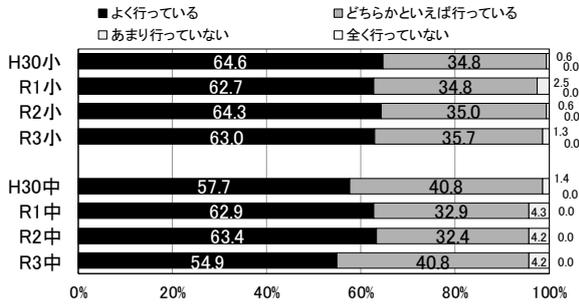
22 単元や授業で身に付けさせたい力を明らかにした上で、授業の計画を立てていますか。



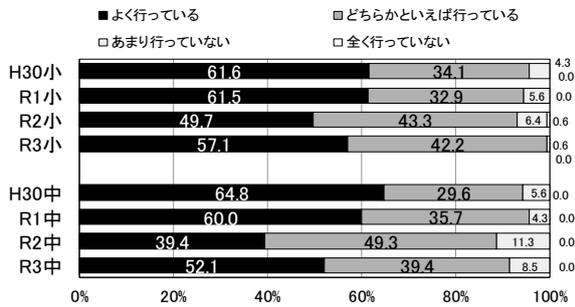
23 授業で目標を児童生徒に示す活動を計画的に取り入れていますか。



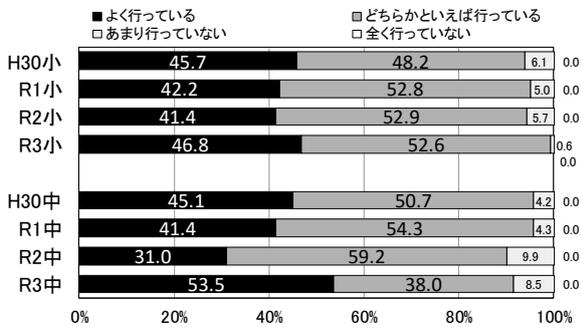
24 授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れていますか。



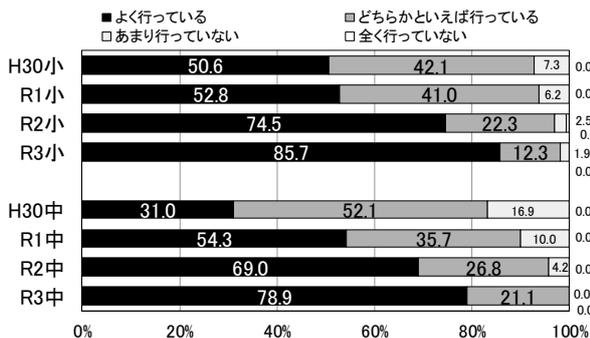
26 普段の授業で、児童生徒の学び合う場を取り入れていますか。



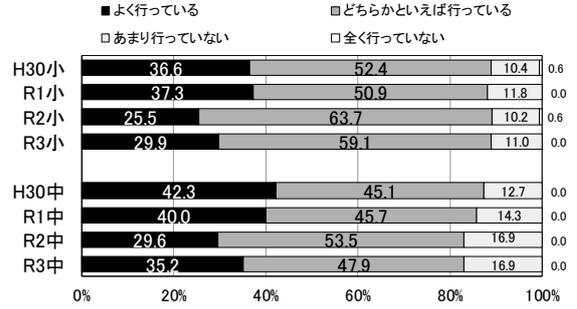
28 普段の授業で、児童生徒が話し合う活動を通して、考えを広げたり深めたりする機会を設けていますか。



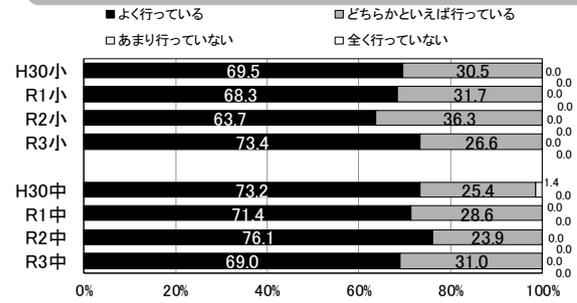
30 大型提示装置（プロジェクター、電子黒板等）やタブレット端末等のICT機器を活用した授業を行っていますか。



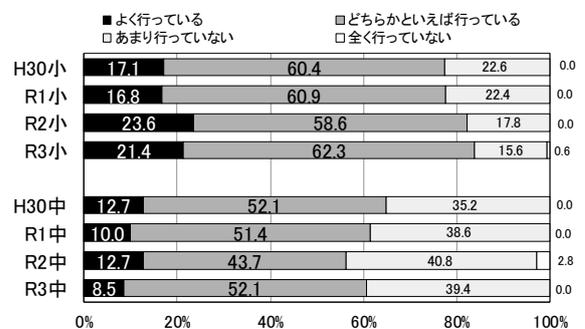
25 授業において、児童生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れていますか。



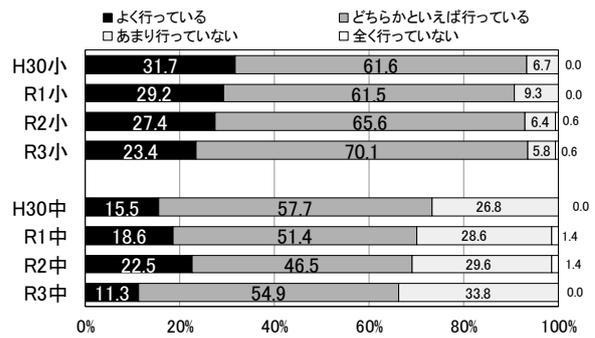
27 普段の授業で、児童生徒が安心して発言できる雰囲気づくりに取り組んでいますか。



29 新聞や学校図書館等を活用した授業を行っていますか。

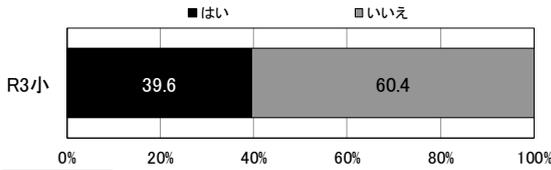


31 「ふるさと教材」等を活用した、ふるさとの素晴らしさを実感させる授業を行っていますか。



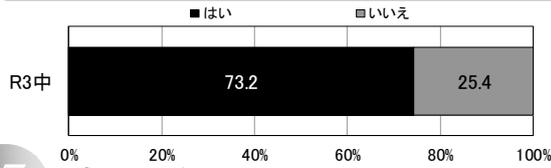
小学校

32 外国語活動（小5・6年外国語を含む）の授業について、校内研修を実施しましたか。

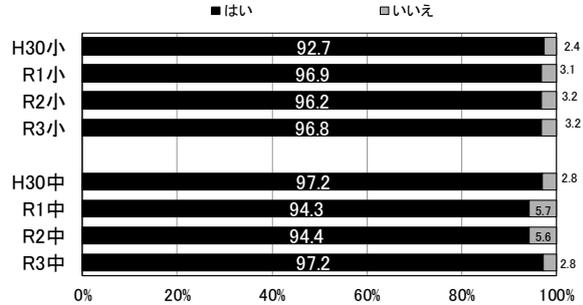


中学校

32 小学校外国語活動（小5・6年外国語を含む）の実施状況を把握して外国語教育における小中連携を実施しましたか。

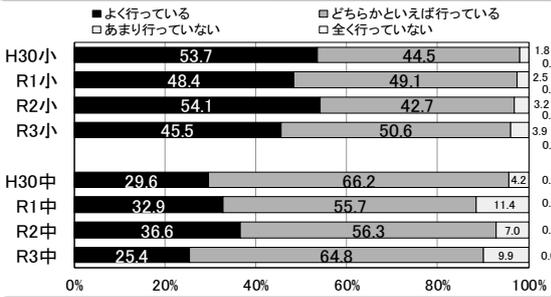


33 小・中が連携し、小学6年生の児童に対して、中学校への進学に対する不安をなくすための取組を行いましたか。

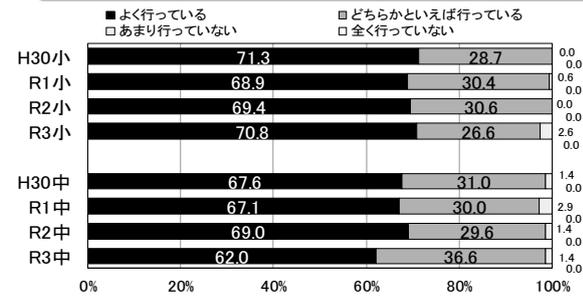


5 家庭学習

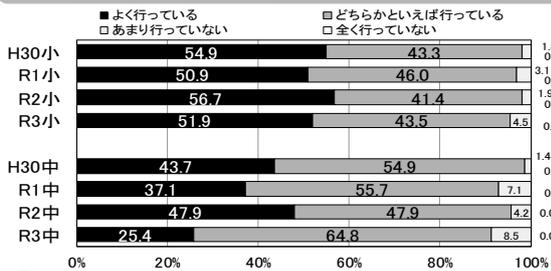
34 保護者に対して児童生徒の家庭学習を促すような働きかけを行っていますか。



35 児童生徒に与えた家庭学習の課題について、評価・指導を行っていますか。

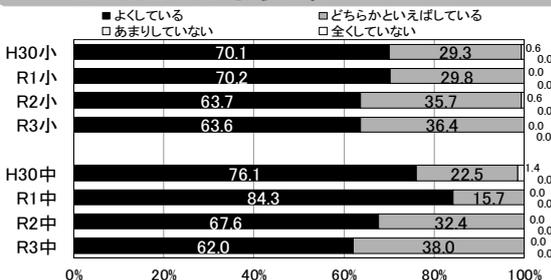


36 家庭学習の取組として、学校では、児童生徒に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えるようにしていますか。

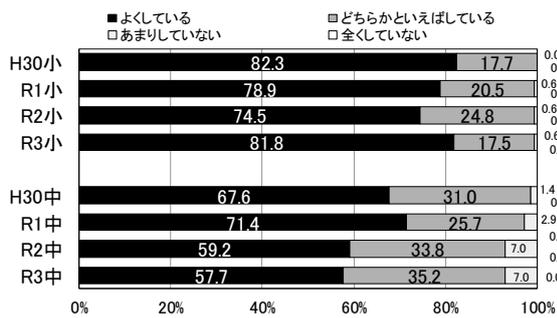


6 学校経営他

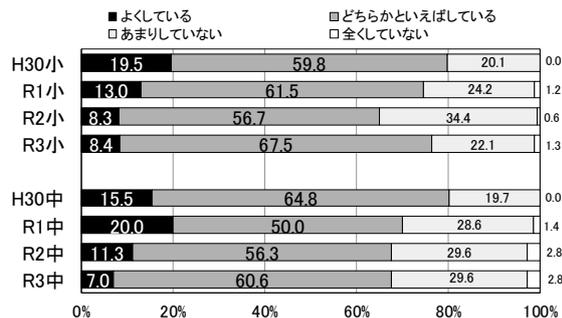
37 学校の教育目標やその達成に向けた方策について、全教職員の間で共有し、取組に当たっていますか。



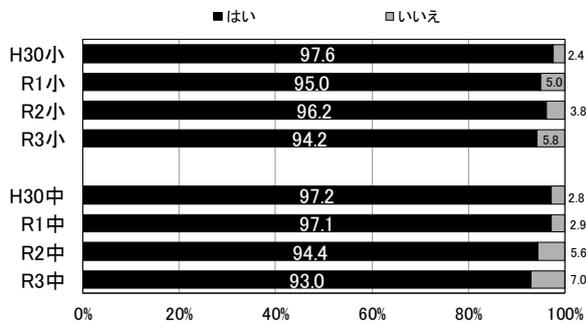
38 模擬授業や研究授業、事例研究など、実践的な研修を行っていますか。



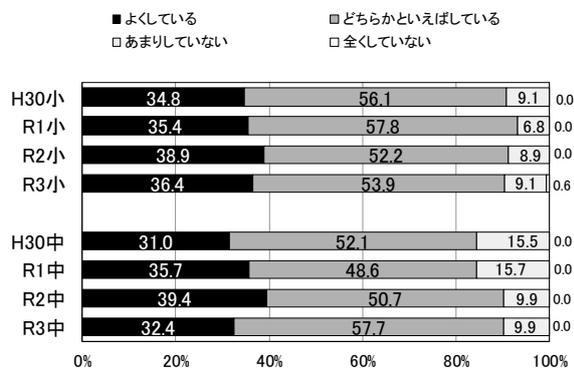
39 現職教育等で「さぬきの授業 基礎・基本〔改訂版〕」を活用していますか。



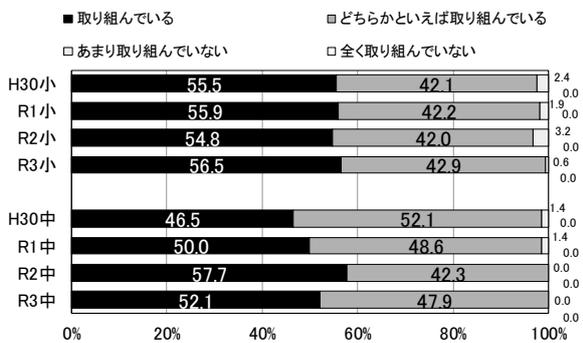
40 前年度、国や県の調査結果を分析し、具体的な教育活動の改善に取り組んだり次年度の指導計画に反映させたりしましたか。



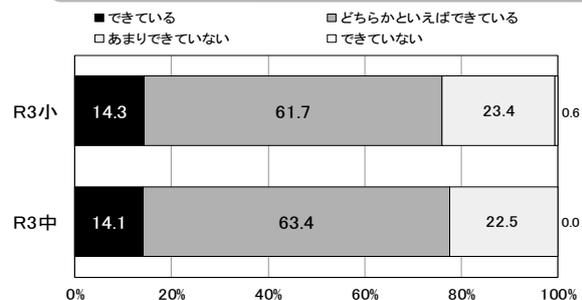
41 ノー会議デーやノー残業デーの設置等、教職員が定時に退勤しやすい職場環境づくりに取り組んでいますか。



42 積極的に校務の改善に取り組んでいますか。(会議の合理化や工夫など、以前からの取組の継続も含む)

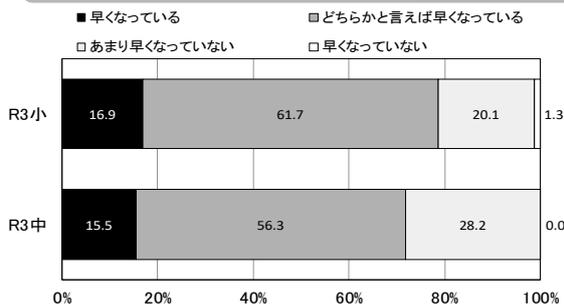


43 校務の改善に取り組んだり、学級規模が縮小されたりした結果、ゆとりをもって児童生徒に向き合ったり、校務や授業づくりに取り組んだりできていますか。



小学校

44 校務の改善に取り組んだり、学級規模が縮小されたりした結果、教職員の退庁時刻は早くなっていますか。



45 幼稚園等と小学校が就学前教育と小学校教育の接続の視点から、連携した取組を行っていますか。

